

地域に生き、世界に伸びる



熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

2025 University Guide
大学案内

「未来のわたし」を創る場所

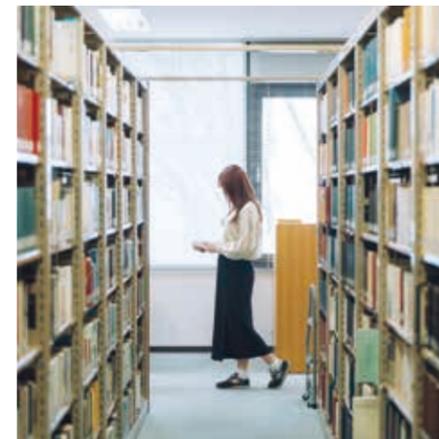
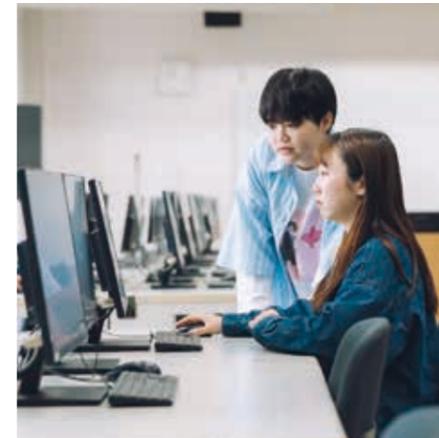


熊本から世界へ羽ばたく

熊本県立大学は、文、環境共生、総合管理の3学部3研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系の3つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。

また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、地域課題解決と教育を結び付けた「もやいすと」育成プログラムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

この大学に学び、地域に根ざし世界に向かって羽ばたこうとする知的探究心旺盛な学生を求めています。



■熊本県立大学の〈理念〉

総合性への志向

本学は、人文・社会・自然の学問の三分野から成る大学として、学際的な方法を重視しつつ、総合的な知の形成を目指す。

地域性の重視

本学は、「地域に生き、世界に伸びる」を標榜し、地域社会に開かれた大学として、当面する諸問題を分析し解決すること、地域の知的創造の拠点となることを目指す。

国際性の推進

本学は、グローバル化に対応して、アジアをはじめ世界の多様な文化を学びつつ、諸外国の人々との交流を進め、国際的・多元的な文化の創造を目指す。

■熊本県立大学の〈目的〉

熊本県立大学は、豊かな教養と高度な専門性を有し、総合的な知識と実践力、創造力を備えた有為な人材を育成するとともに、研究成果を社会に還元し、教育研究資源を地域に提供することを通じて、熊本県ひいては国際社会の発展に寄与することを目的とする。

Contents

大学の理念・目的	2
理事長・学長メッセージ	4
学部教育の特長	6
特色ある教育	7
地域に生きる	10
世界に伸びる	16
共通教育センター	21

文学部	24
日本語日文学科	26
英語英米文学科	30
環境共生学部環境共生学科	34
環境資源学専攻	36
居住環境学専攻	40
食健康環境学専攻	44
総合管理学部総合管理学科	48

大学院	56
教員一覧	58
キャリアサポート・学修支援	60
学生生活	67
キャンパスマップ	74
キャンパス周辺情報	76
学費・奨学金・経済支援	77
入試情報	78

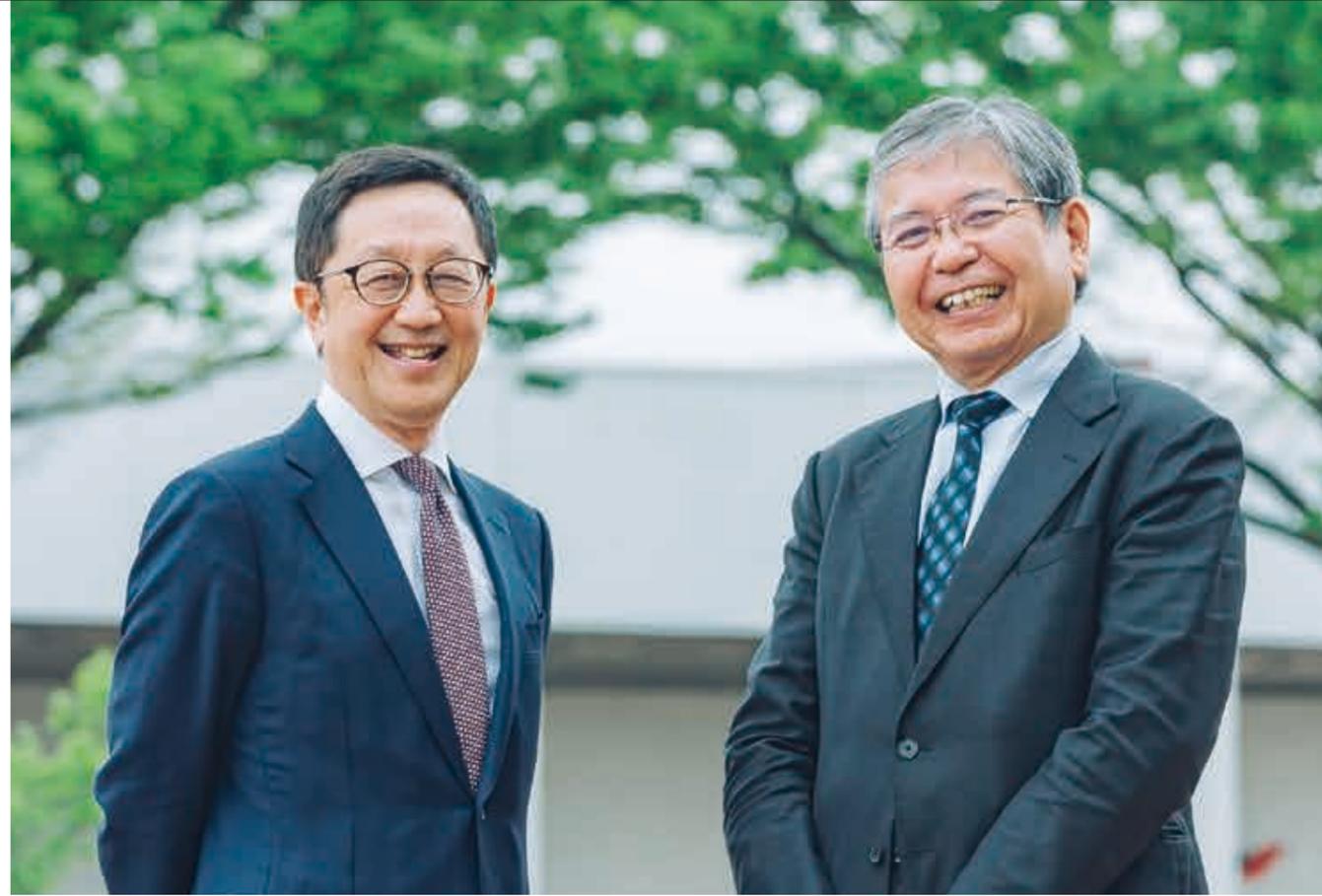
Message

九州は昔から東洋・西洋を問わず、日本における国際関係の発展の地でした。福岡の大宰府、長崎の出島、鹿児島の高古集成館など、各地にその時々の日本における国際関係を推進してきた名跡が残っています。

そしてこれからは、熊本県が日本の国際関係における大変重要な拠点となってゆきます。世界一の半導体製造企業、TSMCの熊本進出はみなさんもお存じだと思います。熊本は東京、北京、ソウル、台北など重要な都市の中間に位置しており、また半導体製造技術を持つ企業群が根付いている土地です。そのような背景もあり国際的に今熊本が注目をされているのです。

また国際関係が発展する一方で、半導体をはじめとするテクノロジーの発達は物理空間と仮想空間を融合させ社会や街を作ってゆきます。テレビなど家電の発達は物理空間を豊かにしました。パソコン・スマホの発達は仮想空間を生み出し、持ち運べるようにさせました。これからはAIやロボットの発達によって物理空間と仮想空間が高度に融合された社会になります。それは移動・物流・サービスから医療・介護・エンタメまでを一新するでしょう。

「地域に生き、世界に伸びる」それが本学のスローガンです。みなさんにはこれから、国際的な交流を行うと同時に最先端の科学技術に直に触れ理解していく生活を送っていただきたいと思えます。そのためのチャンスが数多く提供されている場が本学です。



公立大学法人熊本県立大学

理事長 **黒田 忠広** 博士(工学)
Kuroda Tadahiro

熊本県立大学

学長 **堤 裕昭** 博士(理学)
Tsutsumi Hiroaki

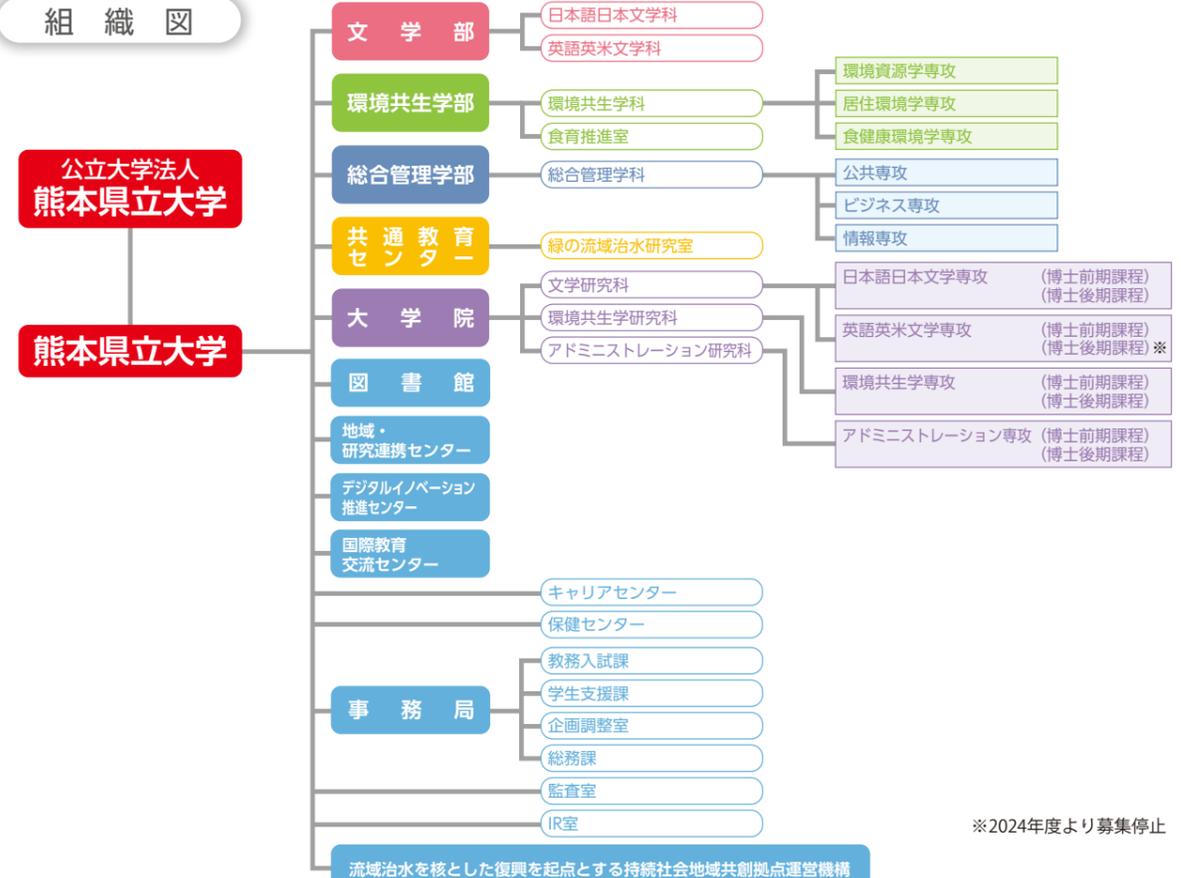
Message

本学は「地域に生きる」「世界に伸びる」を教育研究のスローガンに、その実現に向けて様々な取り組みを行い、その進展を目指して日々努力を続けています。将来にわたりより良く「地域に生きる」ためには、地域の課題を学習し、それらの解決策を考えていく必要があります。熊本の地を題材として、地域の未来を見つめていきましょう。ただし、その地域という地理的区分をどのように捉えるのか、インターネットの急速な普及とともに難しくなっています。また、飛行機をはじめとする交通手段の発達により、人々の移動距離が飛躍的に伸びて、熊本でも観光やビジネスで外国からの訪問者数が急増しています。熊本で作られた製品や産物を直接外国と取引したり、日々の生活や仕事に必要な資材や製品を直接輸入することも普通のことになってきました。このボーダレス化の中で、我々には世界共通語である英語の運用能力の修得が不可欠となっています。英語でコミュニケーションを取り、熊本の地を共有して生活したり、ビジネスを進めたり、外国に出かけるまでもなく、インターネットを通して情報を入手し、発信し、話し合う時代が来ています。本学では「世界に伸びる」の進展のために英語のe-learningシステムを導入し、いつでもどこでも英語を学べる環境を整備し、海外との様々な交流プログラムを始めています。学生諸君が地域と世界を見つめた大学教育を修めて近未来の社会へ羽ばたき、個々の幸福を得ることと社会の発展に貢献することを祈念し、その実現のためにこの瞬間も自己と向き合い、真摯に努力する姿にエールを送ります。

沿革

1947(昭和22)年	4月	熊本県立女子専門学校創立(熊本城内)	2000(平成12)年	4月	アドミニストレーション研究科(博士課程)設置
1949(昭和24)年	4月	熊本女子大学開学 学芸学部/文学科、生活学科	2003(平成15)年	4月	環境共生学研究所(修士課程)設置
1950(昭和25)年	6月	熊本市大江渡鹿に校舎移転(現:東立劇場敷地)	2005(平成17)年	4月	環境共生学研究所(博士課程)設置
1953(昭和28)年	4月	文家政学部/文学科(国文学専攻、英文学専攻)、家政学科に名称変更	2006(平成18)年	4月	公立大学法人熊本県立大学設立(法人化) 地域連携センター、学術情報メディアセンター設置
1960(昭和35)年	4月	文学科→英文学科、国文学科に分割改組	2008(平成20)年	4月	文学研究科/日本語日本文学専攻(博士課程)設置 環境共生学部学科を改組し3学科体制となる
1963(昭和38)年	4月	家政学科→家政学科、食物学科に分割改組	2009(平成21)年	4月	学生支援組織改組 キャリアセンター、保健センター設置
1980(昭和55)年	4月	熊本市健軍町水洗(現:月出)に移転 文学部と生活科学部の2学部制とし学科改組 文学部/国文学科、英文学科、 生活科学部/食物栄養学科、生活環境学科、 生活経営学科	2010(平成22)年	4月	文学研究科/英語英米文学専攻(博士課程)設置
1991(平成3)年	4月	外国語教育センター設置	2013(平成25)年	4月	地域連携センターを地域連携・研究推進センターに改組
1993(平成5)年	4月	文学研究科/日本語日本文学専攻(修士課程)、 英語英米文学専攻(修士課程)設置	2014(平成26)年	4月	全学教育推進センター設置
1994(平成6)年	4月	名称を熊本県立大学に変更、男女共学化 国文学科→日本語日本文学 英文学科→英語英米文学科に名称変更 総合管理学部/総合管理学科を設置	2019(平成31)年	4月	環境共生学部学科を改組し現在の1学科3専攻となる 環境共生学部 環境共生学部に食育推進室を設置 地域連携・研究推進センターを地域連携政策センターに改組
1998(平成10)年	4月	アドミニストレーション研究科(修士課程)設置	2020(令和2)年	4月	国際教育交流センター、IR室を設置
1999(平成11)年	4月	生活科学部を環境共生学部に改組 環境共生学部/環境共生学科/生態・環境資源学専攻、 居住環境学専攻、食・健康環境学専攻	2021(令和3)年	4月	全学教育推進センターを共通教育センターに改組 同センター内に緑の流域治水研究室設置
			2022(令和4)年	4月	デジタルイノベーション推進センターを設置 地域連携政策センターを地域・研究連携センターに改組
			2024(令和6)年	4月	総合管理学部総合管理学科に専攻制を導入 総合管理学科/公共専攻、ビジネス専攻、情報専攻

組織図



※2024年度より募集停止

『地域に生き、世界に伸びる』

Think Globally, Act Locally

熊本県立大学は、創立から77年の歴史と伝統を礎に、新しい時代の要請にこたえる教育を展開し、あなたの持つ知的好奇心を満たし、時代を拓くたくましい想像力を育みます。そして、地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献できる人材にあなたを育成します。

学部教育の特長

熊本県立大学は、豊かな教養を備え、21世紀の地域社会ひいては国際社会の発展に貢献できる創造性豊かな人材を育成します。

特に、学部教育においては、次の目標を掲げ、教育の充実に力を注いでいます。

- 1 幅広い知識・教養に基づき学問の意義を理解し、自己を認識して、将来を構想できる人材
- 2 多角的視点を備え、自ら課題を抽出し、論理的、分析的に思考して、総合判断ができる人材
- 3 地域社会及び国際社会に興味・関心を有し、異質性を認めることができる人材
- 4 積極性、自律性及び行動力を身につけ、社会状況の変化に柔軟に対応でき、社会において協調し協働できる人材
- 5 他者と理解しあい、共生していく上に必要なコミュニケーション能力がある人材

全学(学士課程)の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)より



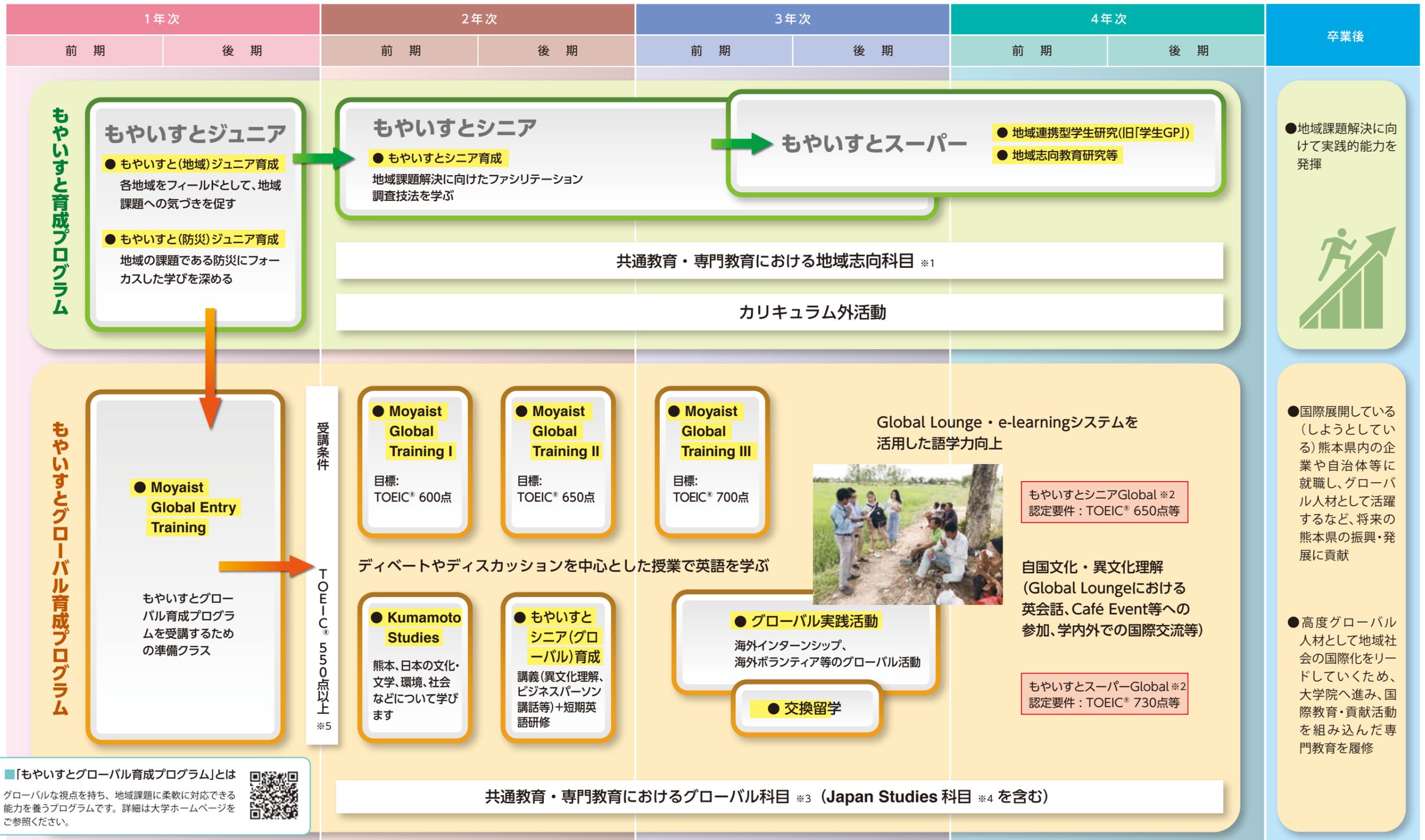
特色ある教育

- 地域に生き、世界に伸びる
Think Globally, Act Locally



「もやいすと育成システム」イメージ

■「もやいすと」とは 本学では、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに掲げ、地域に根ざしながら世界を見据える人材の育成に努めています。その人材養成の目的を表す概念として、「もやいすと」という用語を用いています。この「もやいすと」の「もやい(舳い)」とは、もともと船を相互に繋ぐことを意味し、人と自然と地域社会とを再構築する「もやい直し」という言葉に由来しています。その「もやい」と「～する人」の「-ist」から、地域づくりのキーパーソンを「もやいすと」と呼んでいます。



■「もやいすとグローバル育成プログラム」とは
 グローバルな視点を持ち、地域課題に柔軟に対応できる能力を養うプログラムです。詳細は大学ホームページをご参照ください。



※1 地域志向科目…熊本に関する内容(文化、自然、社会等)を含む科目、地域課題を内容として含む科目のいずれか一つ、もしくは複数に該当する科目
 ※2 「もやいすとシニアGlobal」・「もやいすとスーパー Global」…もやいすとグローバル育成プログラムにおける活動を一定の基準に沿って評価、認定します
 ※3 グローバル科目…外国語能力の向上や国際理解・異文化理解を深める科目

※4 Japan Studies科目…日本や熊本の文化、文学、環境、社会等に関する内容を英語で学ぶ科目
 ※5 「もやいすとグローバル育成プログラム」に参加するためには、2年生前期までにTOEIC®550点以上を取得している必要があります

地域に生きる

もやいすと育成プログラム

“地域づくりのキーパーソン”を育成する教育プログラム

このプログラムでは、熊本の自然や文化、社会に対する理解に立ち、専門の枠を超えて自ら課題を認識・発見し、地域の人々と協働して課題の解決に取り組む人材（もやいすと）の育成を目指します。

ジュニア、シニア、スーパーの3段階で実施しております。1年生から卒業まで「地域づくりのキーパーソン」としての素養を段階的に養成していくプログラムです。

県内各所へのフィールドワークや災害に備えるためのワークショップなどを通じて地域への理解や防災に対する意識を高め、グループワークを通じて合意形成能力やファシリテーターとしてのスキルを向上していきます。

もやいすと育成での学びや地域活動を積極的に行う学生には「もやいすとスーパー」として評価し認定する独自の評価制度を設け、卒業後も地域課題解決に向けて実践的能力を発揮する人材を育成しています。

もやいすとジュニア育成

1年生全員が受講する必修科目です。「地域」か「防災」、どちらかを選択します。「地域」・「防災」ともに、フィールドワークやワークショップを終えた後はグループワークを行い、学部を交えたチームのメンバーと共に課題を見つけ、その解決策をまとめて成果発表を行います。

地域

地域への気付きを促す導入科目です。熊本県内の対象地域へのフィールドワークや地域課題発見と、解決へ向けたワークショップなどを行います。

防災

地域課題である「防災」にフォーカスした導入科目です。被災時に役立つ実践的なワークショップを行いながら防災意識を高め、災害が起きた時にどう対応をすべきか、また被災した地域をどのように復興していくかを学びます。



阿蘇の輪地切り活動 (2019年度撮影)



グループワークの様子 (2021年度撮影)



救命装置AEDの講習 (2019年度撮影)

もやいすとシニア育成

「もやいすとジュニア育成」を受講した2年生を対象にした選択科目です。

地域リーダーに要求される基礎的なスキル、「リーダーシップと合意形成能力」を養成します。また、熊本県内各所へのフィールドワークを通して、聞き取り調査スキルや分析力などの調査技法のスキルを養い、ジュニアに対するファシリテーターとしての授業サポートを通じて「地域課題解決に向けたファシリテーションスキル」を養います。



八代市坂本町の駅さかもとのそばを流れる球磨川を眺めながら (2022年度撮影)



人吉市川村駅の被災現場視察とくま川鉄道永江社長の講話 (2022年度撮影)

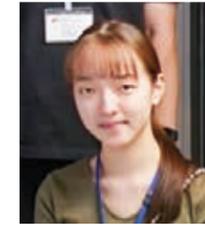


人吉市青井阿蘇神社周辺散策 (2023年度撮影)



フィールドワーク後の振り返り (2023年度撮影)

もやいすとスーパーの声



2023年度認定

総合管理学部 総合管理学科
4年
村田 和泉 さん
(熊本学園大学付属高等学校出身)

1年次に参加した総合管理学部のプロジェクト活動「KUMAJECT」では五木村班に所属し、五木村が抱える課題に対して、現地の地域リーダーの方とのミーティングや道の駅などでヒアリング調査を行い、課題解決案を観光面からアプローチし提案することができました。また、2年次に受講したもやいすとシニアの授業では、座学やフィールドワークを通して、令和2年7月豪雨災害の創造的復興について学ぶことができました。

地元熊本に貢献したいという思いから、1年次から学内外を問わず、多くの地域活動に参加してきましたが、これまでの活動がこのような形で認定して頂けてとても嬉しく思います。これからも、沢山の地域に足を運び、知識を広げていきたいです。



2023年度認定

総合管理学部 総合管理学科
4年
森本 桜唯 さん
(熊本県立水俣高等学校出身)

1年次の必修科目であるもやいすとジュニア(地域)育成の他にも、もやいすとの授業を受講したいと思い、もやいすとシニア育成を受講しました。もやいすとシニアでは、令和2年7月豪雨災害地域へのフィールドワークに参加し、現地の方々から話を伺い、復興の現状や課題について学びました。また、もやいすとジュニアのSA(Student Assistant: 授業支援等を担う学生)を複数回務め、グループワークのサポートを通して、ファシリテーターとしてのスキルを学ぶことができました。この他にも学内での地域に関わる活動に参加してきたことが評価され、もやいすとスーパーに認定されました。私自身、もやいすと育成プログラムを通して、地域活動に必要な力を成長させていくことができたと思います。

もやいすと育成プログラムの詳細は
大学ホームページをご参照ください。



新熊本学

「熊本」を学ぶ、「地域」に学ぶ

熊本で学ぶことの意義、それはここ熊本でしか学べないことを学ぶこと。本学では、このような「熊本」にこだわった授業を全学共通科目の中で展開しています。それが、「新熊本学」。「熊本」という地域に、様々な角度からアプローチしていきます。

〈開講科目〉

- 「新熊本学:ことば、表現、歴史」
- 「新熊本学:熊本の生活と環境」
- 「新熊本学:地域のビジネスリーダーに学ぶ」
- 「新熊本学:地域社会と協働」



「新熊本学」の講義風景 NPO法人熊本DARCセンター長 田邊忠司氏

フィールドワーク

現場に学び、実践力を得る

より具体的で深い問題意識や学修意欲を高めるため、現場での学修体験を重視しています。それがフィールドワークです。本学では、このフィールドワークの手法をカリキュラムの中に積極的に取り入れています。

例：文学部

- 「徳富蘆花所縁の地探訪」
- 環境共生学部
- 「干潟の環境と生物群集」
- 総合管理学部
- 「湯布院温泉に観光促進を学ぶ」



「維和島農泊観光コンテンツ開発」中の空き家活用

協力講座

社会の第一線で活躍する人から学ぶ

「協力講座」とは、大学と協定を締結した企業の第一線で活躍する人たちから学べるオンリーワンの授業です。各授業のテーマについて学ぶだけでなく、社会で求められている知識や技能とは何か、また、大学で学ぶ理論、知識が実際の社会の中でどのように役立てられるかなどを、企業の持つ実践的知識をもとに「理論」と「実践」を学びます。

〈協定企業と開講科目〉

- 熊本日日新聞社……………「マスメディア論」
- 九州電力熊本支社……………「エネルギーと社会」
- NTT西日本熊本支店……………「情報と社会」



熊本日日新聞社協力講座「マスメディア論」講義の様子



NTT西日本熊本支店協力講座「情報と社会」講義の様子

地域連携型学生研究制度

学生研究を企業や社会と連動させたプログラム

地域連携型学生研究制度とは、地域企業・地域社会から研究テーマを募集し、それを学生が地域連携型学生研究として取り組むものです。

学生は、地域が抱える問題に取り組むことで、社会人としての演習の場になり、実社会における知識活用のあり方、コミュニケーション力、問題分析・解決力などを会得していきます。



公開審査会

2024年度地域連携型学生研究制度一覧

	連携先企業・団体	研究テーマ	学部	担当教員
1	公益財団法人熊本県移植医療推進財団	地域における臓器提供意思表示向上に向けた普及啓発活動	環境共生学部	吉田 卓矢
2	宇城市役所	空き家所有者への効果的な意識改革に関する研究	環境共生学部	佐藤 哲
3	一般財団法人熊本市国際交流振興事業団	外国につながる子どもたちを対象とした地域の日本語教室における取り組みの改善と支援者ネットワークの構築	文学部	秋葉 多佳子
4	一般財団法人熊本県スポーツ振興事業団	熊本県民総合運動公園の利用者増加策についての研究	総合管理学部	小園 和剛
5	熊本県東北広域本部阿蘇地域振興局	阿蘇の草原で整う。～草原の心理的・身体的効用を活用した草原セラピーの可能性の研究～	環境共生学部	松本 直幸
6	天草市役所	SNSを活用したローカル・コミュニティの活用策	総合管理学部	井寺 美穂
7	山鹿市役所	やまが和菓の知名度向上に関する研究	総合管理学部	井寺 美穂
8	宇土市役所	宇土市網田地区における将来ビジョンの策定と実施	環境共生学部	柴田 祐
9	一般財団法人熊本市国際交流振興事業団	熊本市に於ける国際化・多文化共生社会推進に向けての新規事業調査及び構築	総合管理学部	宮園 博光
10	天草市役所	地域コミュニティの再構築を軸とした空き家を利活用する方策	総合管理学部	飯島 賢志
11	宇城市役所	宇城市の魅力発掘とその効果的な発信について	総合管理学部	飯島 賢志



県大マルシェの様子



制作したポタリングマップ



バスツアー型企業説明会の様子

「緑の流域治水」に関する研究活動

令和2年7月豪雨の発生後、熊本県からの要請を受け、学内に「緑の流域治水研究室」を設置しました(令和3年4月)。令和3年10月からは、J S T (国立研究開発法人科学技術振興機構)の採択を受けた研究プロジェクト(「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点)を開始。本学は、このプロジェクトの代表機関であり、地域に生きる大学として、被災地の復興と球磨川流域の持続的発展に寄与していきます。

球磨川流域の持続的発展を目指す研究開発課題

この研究プロジェクトは、「緑の流域治水を核とした、大災害後も安全・安心に住み続けられ、豊かな環境と若者が残る集う、持続可能な地域の実現」を地域ビジョンとして掲げ、以下の4つをターゲットとする6つの研究課題を設けて研究活動を行っています。



流域治水を核とした復興を起点とする持続社会 地域共創拠点

ビジョン

流域治水を核とした大災害後も安全・安心に住み続けられ、豊かな環境と若者が残る集う持続可能な地域の実現

研究ターゲット

水害に安全・安心な地域

豊かな環境と恵みのある暮らし

若者が残り集う地域

多世代共創による「緑の流域治水」の推進

研究開発課題

研究開発課題0
総合マネジメント

研究開発課題1
流域治水技術の開発

研究開発課題2
流域治水×環境再生/
森林マネジメント

研究開発課題3
流域治水×IoT/DX

研究開発課題4
流域治水×産業創生

研究開発課題5
パートナーシップによる推進手法

「緑の流域治水」とは？

流域全体を対象に、ハード面だけでなく、ソフト面での対策も充実させる治水対策を「流域治水」といいます。流域内のすべての場所を対象とするため、地域との協働により実施することが求められます。「緑の流域治水」は、この対策に環境的な観点を盛り込み、持続的な地域づくりや環境保全にもつなげる治水対策です。



県立南校高校に整備した雨庭



県立大学内に整備した国内最大級の実験水路



中学生を対象とした勉強会



地域共創拠点ホームページ

世界に伸びる

国際教育(学部生対象)

もやいとグローバル育成プログラム

グローバルな視点を持ち、地域課題に柔軟に対応できる能力を養うプログラムです。1年次から4年次までの体系的な学びとグローバルな視点を持つため海外留学等を促進し、世界でも活躍できる学生を育成します。本プログラムの参加学生には、英語で熊本や日本について学ぶ「Kumamoto Studies」、海外インターンシップやボランティア等を行う「グローバル実践活動」等のユニークな専用科目が用意されており、これらの科目を履修することで、自国文化・異文化に対する理解を深め、英語運用能力の向上を目指すことができます。

もやいとスーパーGlobalとして 令和5年度(2023年度)に認定を受けた学生からのコメント



総合管理学部総合管理学科4年
徳永 咲希さん
(熊本県立熊本高等学校出身)

このプログラムで身に付けた主体性と行動力は一生ものだと自負しています。このプログラムに参加した目的は、外国人の友達を作るためでした。3年間で得た経験の中で、海外インターンでの国際協力活動や他国大学との交流、世界で活躍されている方々による参加型の講義が殊に学びの多い時間でした。プログラムで得た知見を生かし積極的に国際交流や海外渡航に挑戦する中で、言語上達には外国語コミュニケーションを楽しむことが一番だと実感しました。私の成長の端緒となったこのプログラムを強くおすすめします。



文学部英語英米文学科4年
東 梨乃さん
(鹿児島県立加治木高等学校出身)

私は大学生活において、座学だけでは学べない実践的な英語を習得したいと思い、このプログラムに参加しました。プログラム内の様々な授業やカンボジアでのインターンシップを通して、主体性やチャレンジ精神を身につけることができたと実感しています。特に、カンボジアに約1ヶ月滞在して行ったインターンシップでは、現地の方々と英語でコミュニケーションをとりながら、国際交流に携わることができ、貴重な経験になりました。

Intensive English

英語運用能力を高めることを目的に、英語漬け環境で短期集中的に英語を学びます。期間中は英語のみを使用するルールのもと、学内学修と留学生を加えて行う合宿形式の学修とを組み合わせで行っています。講義やディスカッションだけでなく、留学生と一緒にゲームやパフォーマンスなど、異文化理解を深めながら、楽しみながら学べる内容になっています。



TOEIC® IP (団体特別受験制度) 2年生全員受験の実施

本学では、各団体が日程や場所を自由に設定して試験を行うことができるTOEIC® (Test of English for International Communication) の団体特別受験制度 (TOEIC® IP) について、後援会と共催で実施している任意受験を年に2回、全学部2年生を対象とした全員受験を年に1回実施しております。

2023年度から実施している全員受験については、大学が受験費用を全額負担するため、学生は受験料の負担なく受験できます。

国際教育(大学院生対象)

高度グローバル人材育成 (大学院教育)

2019年度において、JICAと熊本県が締結した「熊本県と独立行政法人国際協力機構との連携協定」に県の発展に貢献する人材の育成が盛り込まれたことなどを踏まえ、本学ではグローバル人材育成を積極的に推進し、学部教育だけでなく、大学院教育においても、海外体験 (国際協力・貢献活動) と大学院の専門教育を実施し、熊本のグローバル化に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。

2019年度に概ね2年間の国際協力・貢献活動がある方のための入試制度として、社会人特別選抜 (国際協力枠) を創設しました。また、2020年度に大学院在学中に1年間の国際協力・貢献活動を体験する大学院教育を制度化し、2022年度に海外での活動に関しJICAとの覚書を締結し、2023年度にはこの覚書に基づき、1名の大学院生がインドネシアにおいて青年海外協力隊員として活動を開始しました。

現在4名の大学院生が在籍し、専門分野の研究に取り組んでいます。大学院終了後は、熊本県内の企業、行政機関等において、熊本のグローバル化をリードする人材として活躍してほしいと考えています。



1996年生活科学部 (現環境共生学部) 卒業

赤星 亜朱香さん

2013年7月~2015年10月 青年海外協力隊 東ティモール派遣 職種: 栄養士
2016年7月~2018年7月 シニア海外ボランティア ミクロネシア連邦派遣 職種: 栄養士
2018年10月~ JICA 熊本県国際協力推進員
2021年1月~ JICA 企画調査員 (ボランティア事業) ザンビア共和国派遣

熊本県立大学を卒業後、京都府立大学大学院に進学しました。修士課程修了後、母校で栄養士・管理栄養士の養成に従事していく中で、自分の将来について考えた時に「私にも栄養士としての経験が欲しい」と思い、開発途上国で活動する青年海外協力隊に栄養士として参加することを決めました。

日本とは異なる文化や習慣の中での活動は、一筋縄ではいかないものばかりでしたが、改めて日本や家族について考える機会にもなりました。途上国の人たちから学ぶことも多く、「幸せ」や「生きること」に対する考え方や価値観は大きく変わりました。また、先進国を目指す発展ではなく、各々の国に合った開発や発展、未来づくりがあるのではないかと考えるようになり、国際協力の奥深さや面白さに興味を持つようになりました。

今後は、自分の専門や経験を生かしながら、様々な国の国づくりに貢献していきたいと考えています。

国際交流

短期語学研修団の受入れ

祥明大、モンタナ州立大学ピリングス校、カセサート大学等から語学学習と文化体験を目的とした研修団を受け入れています。これまでに多くの学生がホストファミリーとして協定校からの学生を受け入れ、家庭の中での国際交流を実践しています。



祥明大からの研修団



モンタナ州立大学からの研修団



タイ・カセサート大学からの研修団

学部生・大学院生等の受入れ

これまで、米国・韓国・中国・インドネシア・台湾・ベトナム・タイ・タンザニア・ブラジル・モンゴル・ガーナ・ミャンマー・スーダンからの留学生を学部生、大学院生、研究生、特別聴講生 (交換留学生) として受け入れてきました。

	学部	大学院	研究生	特別聴講生	計
留学生数	2	12	1	6	21

(2024年5月1日現在)

学術交流協定校・機関

海洋大 (韓国)、ワライラック大学 (タイ)、広西大学 (中国)、国立台北科技大学 (台湾)、開南大学 (台湾)、ソウル市立大学 (韓国)、カセサート大学 (タイ)、モンタナ州立大学ボーズマン校 (米国)、ブラウイジャヤ大学 (インドネシア)、中原大学 (台湾)、チャタム大学 (米国)、海南省疾病预防控制中心 (中国)、モンタナ大学 (米国)
※デラサール大学CIESOL (フィリピン) (ESLプログラム)

海外留学・研修

学生交流協定締結校

1997.9 韓国・祥明大専校（1989.10に姉妹提携）
1998.5 米国・モンタナ州立大学ビルングス校

祥明大専校には10か月間、モンタナ州立大学ビルングス校には9か月間、単位互換及び授業料相互不徴収の留学制度で交換留学生を派遣しています。



韓国・祥明大専校



米国・モンタナ州立大学ビルングス校



モンタナ州立大学ビルングス校への交換留学生

文学部英語英米文学科4年

山内 麻名さん

(熊本県立熊本北高等学校出身)

私はモンタナ州立大学ビルングス校に交換留学生として在籍しています。課題などは言語の壁を感じることもあり大変さがありますが、英語を日常的に使うことによってさまざまな英語スキルの上昇が見込めます。この大学の最大の魅力は、授業の幅が広く、細分化されている点です。自分の興味のある分野を新しく学んだり、専門的に学んだりするにぴったりな場所だと思います。また、他国から来た学生と交流する機会も多く、新しい言語や文化を学ぶことで自分の関心や知見を広げることができます。



祥明大専校への交換留学生

総合管理学部総合管理学科4年

森 涼桜さん

(熊本信愛女学院高等学校出身)

私は韓国の祥明大専校天安キャンパスに交換留学生として在籍しました。様々な授業を履修し、以前から関心があった南北統一問題や日韓関係問題について理解を深めることができました。日々の留学生生活を過ごす中で語学力も向上し、留学中にTOPIK(韓国語能力試験)6級も取得しました。また、海外で10か月過ごしたことで、度胸や挑戦する力も身に付きました。初めての韓国渡航だったので不安もありましたが、周りの人たちにも恵まれ、また、大学からのサポートも手厚く、充実した留学生活を送ることができました。

短期語学研修

学生の海外留学に係る選択肢を広げ、留学を促進するため、2022年7月に、フィリピン・デラサール大学の付属機関と英語学習プログラムに係る覚書を締結しました。2023年9月には2名の学生がオンライン留学プログラムに参加しました。

モンタナ州立大学ビルングス校には4週間の語学学習と文化体験を目的とした研修団を派遣しています。2024年2月には10名の学生が参加しました。



モンタナ州立大学での短期英語研修



デラサール大学

留学支援

- オフィスアワー (P66) を利用して、留学経験のある教員に留学等の相談をすることができます。
- 協定校への留学を希望する学生に対し、留学制度や奨学金の説明会を実施しています。留学経験のある学生に話を聞くこともできます。
- 留学を希望している学生に対し、海外の大学での授業や生活についてのアドバイス等を行う「留学対策講座」を開講しています。
- 学生交流に関する協定に基づき、派遣される交換留学生については「短期派遣留学生支援奨学金」を、文学部英語英米文学科の一定期間以上の留学・研修を行う学生に「小辻梅子奨学金」を支給しています (P77)。
- 海外への留学・研修を行う学生 (後援会会員のみ) に、期間に応じた助成金を支給しています。



留学相談会

語学教育支援

Global Lounge

Global Loungeでは、楽しみながら英語を学ぶことができます。国際教育交流コーディネーターが常駐しており、英会話やディスカッションを行ったり、英語のチュータリングを受けたりすることができます。また、語学学習に役立つ様々な教材 (iPad、DVD、書籍、雑誌、ボードゲーム等) の利用もできます。

● Café Event

Global Loungeでは国際教育交流コーディネーターがアレンジするGlobal Lounge Café Eventを年間を通して行っています。留学生による出身国の紹介、留学生への日本についての紹介、世界で活躍する著名人の講演など、国際的なビジョンが広がるようなイベントを開いています。留学生と交流する機会もあり、多くの学生が参加しています。



● 英語のチュータリング

国際教育交流コーディネーターとマンツーマンで1セッション30分の英語のチュータリングを予約制で実施しています。チュータリングの内容は、英会話の練習を始め、論文や学会発表の原稿、英文履歴書など留学や就職活動に必要なもの、日記やメール等の英作文のアドバイス、英語によるプレゼンテーションの練習、語学学習アドバイス等です。対面またはオンラインで受講できます。



国際教育交流コーディネーター
Viorel Ristea

There is something special in all of us, regardless of age, gender or nationality, but somehow most of us are not aware of, or are having a hard time identifying our strongest points. The sooner we are aware of our strengths, the greater the chances of achieving success.

It is my goal to help you find the best in you and to support you in building your own path to success.

英語のe-learningシステム

本学では、学生のみさんの英語能力の向上を図るため、英語学習ができるe-learningシステム (NetAcademy NEXT・EnglishCentral) を導入しています。英語のリスニング力強化や読解力強化に役立てることができます。

国際教育交流センター

国際教育交流センター概要

国際教育交流センターは、国際教育、国際交流及び語学教育支援等に関する業務をワンストップで実施する組織として、グローバル人材の育成に取り組んでいます。

主な所管業務

● 国際教育の企画・調整

- ・学 部 もやいすとグローバル育成プログラム等の実施支援
- ・大学院 高度グローバル人材育成のための国際協力・貢献活動を終えた者の受入れ支援及び国際教育・貢献活動を組み込んだ大学院教育の実施支援

● 国際交流の推進

- ・海外協定校との交流
- ・学生の留学及び受入れ留学生の支援 等

● 語学教育の支援

- ・Global Loungeの運営 等



共通教育センター

Center for General Education

文学部

Faculty of Letters

- 日本語日本文学科 Department of Japanese Language & Literature
- 英語英米文学科 Department of English Language & Literature

環境共生学部

Faculty of Environmental & Symbiotic Sciences

- 環境共生学科環境資源学専攻 Division of Environmental Resources, Department of Environmental & Symbiotic Sciences
- 環境共生学科居住環境学専攻 Division of Human Habitat, Department of Environmental & Symbiotic Sciences
- 環境共生学科食健康環境学専攻 Division of Food & Health Environmental Sciences, Department of Environmental & Symbiotic Sciences

総合管理学部

Faculty of Administrative Studies

- 総合管理学科 Department of Administrative Studies



共通教育センター



「人文科学、自然科学、社会科学の集約型大学」である
熊本県立大学の特色を生かした共通教育で、
「地域に生き、世界に伸びる」人材の育成をめざします。

共通教育は、基盤科目と教養科目の2つのカテゴリーから成っています。基盤科目としては「外国語(英、独、仏、中、韓)」、「情報処理とデータサイエンス」、「キャリアデザイン」、「健康スポーツ科学」、「地域理解とリーダーシップ」の分野を用意し、大学そして社会で行動していくための基礎能力の育成を行います。現代社会は複雑・多様化しています。教養科目では「人文科学」、「自然科学」、「社会科学」が集約された本学の特長を生かし、それぞれの学問分野から多くの授業を開講しています。これらを共通教育を通して市民性の涵養を図るとともに、現代社会をとらえる見方や考え方の育成をめざします。

細分化が進む現代社会だからこそ、豊かな人間性と物事を的確に判断する能力が求められています。本学では複雑化した現代社会を見る豊富な科目で「地域に生き、世界に伸びる」人材を育成します。

共通科目群

基盤科目

外国語

本学の外国語教育では、国際共通語としての英語の実践的側面に力を入れ、国際共通語としての英語の運用能力の向上を目標としています。また、初修外国語として「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」の科目を開講し、聴き、話し、読み、書く総合力を養成し、外国の書籍を読み、それらの持つ豊かな内容の理解を目指します。



- 科目：英語／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語

情報処理とデータサイエンス

近年の情報ネットワークシステムの基本構成や使用法、その使用にあたっての情報モラルやセキュリティについて学び、情報機器の基本的な操作を学習します。また、様々な場面でデータに基づく意思決定ができる基礎的な能力を養うこと、すなわちデータ思考の基礎を涵養することを目指します。



- 科目：情報処理入門／データサイエンス入門／データサイエンス演習

キャリアデザイン

大学で何をいかに学ぶか、その姿勢や方法を学ぶとともに、自己のキャリアを継続的にデザインし続けていく能力を育成します。

- 科目：プレゼミナール／キャリア形成論／キャリア体験演習

健康スポーツ科学

運動・スポーツ活動の健康に対する有用性について理解を深め、将来にわたって心身ともに健康な生活の設計と実践ができる能力を育成します。



- 科目：健康の科学／生涯スポーツ実習

地域理解とリーダーシップ

地域の抱える課題に関心を持ち、地域の人々と協働して課題解決の方策を考える、地域づくりのキーパーソンを育成します。「もやいす」と育成システムもこの分野で展開します。また、授業によっては、地元企業の経営者や熊本県庁職員等多くの外部講師を招へいし、地域社会の今を紹介します。

- 科目：もやいすジュニア・シニア育成／新熊本学：ことば、表現、歴史／新熊本学：地域のビジネスリーダーに学ぶ など

共通科目群

教養科目

人間と文化

人間の感情や判断は、その人が育った時代や地域の文化の影響を強く受けています。思想、宗教、歴史、芸術、文学、言語などを学びつつ、人間の思考がいかに形成され、表現されてきたのかを考察し、その考察を通して人間の本質への洞察力を高めることを目指します。



●科目：科学の思想／現代世界と歴史／人間と芸術／心理学入門 など

自然と環境

現代の基礎科学に関する知識を修得し、それが先端技術として生活にどのように利用され、今後どのように活用されていくのかを考えます。また、現代社会が抱える環境問題について、多角的に考察します。



●科目：環境と生物圏／エネルギーと社会／環境と生きる／住まいと地域環境／食と健康など

社会と世界

法律、政治、経済、情報等様々な要因から規定されている社会が我々の生活にどのように関わっているのかを学び、社会が抱えている課題とその解決策を考察します。また、グローバル化が進化する現代世界における経済問題・国際関係についての理解を通し、我が国の国際的位置付けや役割等について考察し、国際人としての見識を養います。



●科目：生活と憲法／現代社会と企業／情報と社会／マスメディア論／世界の経済／国際協力論 など

キャリアデザイン科目

プレゼминаール

大学で学ぶ楽しさと難しさに触れる

大学で何をいかに学ぶかという学び方や大学生活の過ごし方を、演習を通して学ぶ「プレゼминаール」を1年次前期の必修科目として開講しています。

10名程度の少人数のゼミ形式で実施され、学生同士、あるいは教員と学生がお互いに考えていることや感じていることを述べあい、刺激あふ、切磋琢磨しあう場として、大学教育への一般的な案内、導入～図書館等の施設の利用法～レポート/論文の書き方、グループワーク、プレゼンテーションなどを学んでいきます。

キャリア体験演習

企業・自治体等の現場で実際の仕事を体験する

キャリアデザイン科目の一つとして、通常の講義では得られない実践的な教育プログラム「キャリア体験演習(全学共通、自由科目)」を用意しています。本授業は、大学と地域の企業や自治体が協働し、学生の希望とマッチングして実施するものです。事前ガイダンス～インターン実施～レポート作成を通して就業観を醸成していきます。

※本授業以外に、企業等主催の公募型インターンシップ等についても、キャリアセンターで紹介しています。



グループワークを実践する学生



キャリア体験演習ガイダンス

キャリア形成論

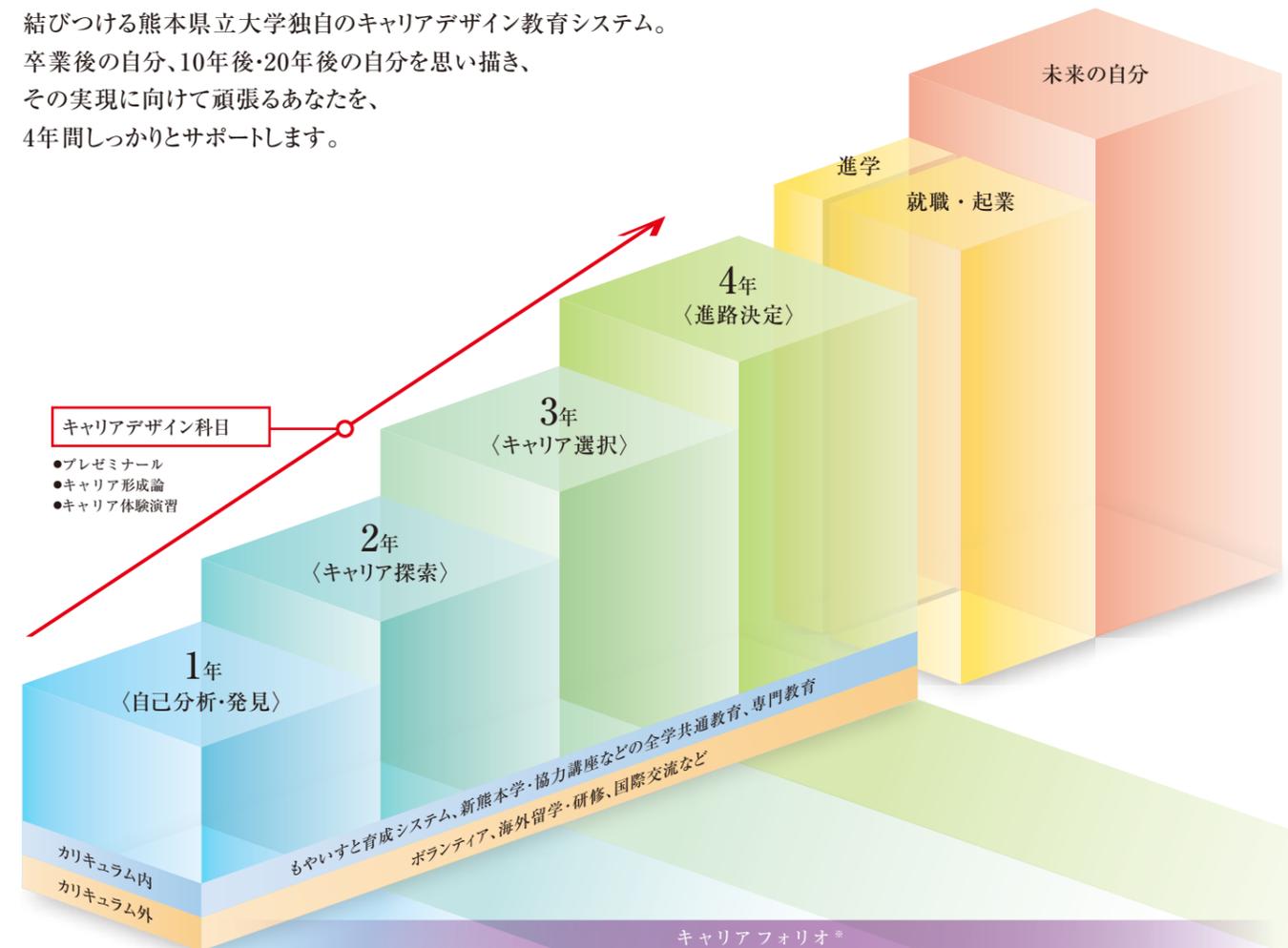
将来を見据えたキャリアの考え方、作り方を学ぶ

多様化複雑化する社会の中で自己の望む人生や仕事をイメージし、自己のキャリアを継続的にデザインし続けていく能力の育成を学ぶ「キャリア形成論」を1年次前期の必修科目として開講しています。

学長/学部長講話、ライフデザイン概論、キャリアデザイン概論、上級生や卒業生による体験談、汎用的技能テストなどを通して、キャリアデザインの必要性や自己を客観的に分析する能力を身に付け、これからの学生生活へ生かしていく素地を養います。

キャリアデザイン教育システム

充実した共通教育・専門教育のカリキュラムと様々な就職支援・資格試験対策などのプログラムを中心としたキャリアサポートとを、キャリアフォリオ*を活用して有機的に結びつける熊本県立大学独自のキャリアデザイン教育システム。卒業後の自分、10年後・20年後の自分を思い描き、その実現に向けて頑張るあなたを、4年間しっかりとサポートします。



キャリア形成 就職支援	1年	キャリア入門	2年	キャリア体験演習 公務員ガイダンス	3年	キャリア体験演習 就職セミナー 企業・公務員説明会	4年	個別企業説明会 就職セミナー
	進路・就職相談							
	資格等	教員免許	文学部 【日文】中学(国語)、高校(国語) 【英文】中学(英語)、高校(英語)	環境共生学部 中学(理科)、高校(理科) 中学(家庭)、高校(家庭) 高校(農業)、栄養教諭 ※食のみ		総合管理学部 中学(社会)、高校(公民) 高校(情報)、高校(商業)		
		受験資格 任用資格 取得可能資格 など	【日文】日本語教員養成課程(主専攻) 【英文】日本語教員養成課程(副専攻)	【居住】一級建築士、二級建築士 一級建築施工管理技士、二級建築施工管理技士 【食】栄養士、管理栄養士 食品衛生監視員および食品衛生管理者		社会福祉主事 社会調査士		
受験対策実施		【英文】TOEIC*、TOEFL*	【資源】環境計量士					
支援機関	キャリアセンター	図書館	デジタルイノベーション推進センター	国際教育交流センター				

※熊本県立大学では、学修履歴の記録を「キャリアフォリオ」と呼んでいます。

文学部

Faculty of Letters

「人間」の生き方と文化について深く考える

文学部は、言語、文学、歴史、思想等にわたる人文的教養の基礎に立ち、日本語、日本文学、日本語教育、あるいは英語、英米文学、英語教育を専門的に教育・研究します。

[アドミッション・ポリシー] ~文学部はこのような人を求めています~

わたしたち人間が作り上げてきた様々な文化を探究し、これから作り上げるべき文化のあり方を考えていく、それが文学部の使命です。古今東西の様々な文献を読むことで、それぞれの時代の人々の考え方を理解し、ことばによるコミュニケーションを通して人や社会との着実な関係を作り上げることに取り組んでいきます。

日本語とはどのような言語なのだろうか、日本語を歴史的にあるいは客観的に学ぶとはどういうことなのだろうか、英語を正しく理解し表現する力を身に付けるにはどうすればよいのだろうか、日本の文学や英語圏の文学を深く理解したい、そして、より広い世界の文学、言語、歴史、思想を学んでみたい、このような問題意識や希望を持つ人に文学部は応えていきます。ことばと人間に関心を持ち、意欲をもって探究のできる人、そんな人を文学部は求めています。



日本語日本文学科

- ① ことばや文学作品が持っている、人間を動かす力のみならずを探究しようとする人(「現代文」「古典」を履修していることが望ましい)
- ② 日本語や日本文学が、時代とともにどのように移りかわってきたかを学ぼうとする人(「日本史」を履修していることが望ましい。また、日本文学史について一定の知識を持っていることが望ましい)
- ③ 日本語や日本文学についての知識や技術を、社会・地域の中で積極的に活かしていこうと志す人(現代社会の動向・要請について常に關心を持って欲しい)
- ④ 特に、中学校・高等学校の国語教員、もしくは外国人に日本語を教える日本語教師を目指す人

英語英米文学科

- ① 世界に広く目を向け、国際的に交流し活動していきたい人
- ② 言語、文学、文化に関心を持ち、英語学・英米文学・英語圏文化について理解を深め、研究したいと考えている人
- ③ 英語教員を志望する人

大学院(文学研究科)については→P56

●2025年度入学定員及び募集人員

文学部	入学定員	募集人員							
		一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜			留学生・帰国生徒 社会人	
		前期	後期		学校推薦型選抜		全学で 2名以内		
日本語日本文学科	45名	30名	10名	—	校内	全国		公募推薦型選抜	—
英語英米文学科	45名	28名	10名	—	7名	—	—	—	若干名

文学部 4年間の学び

4年間を通じて、文学・言語を中心とした人文学の基礎的知識を身につけ、併せて全学共通科目及び学部共通科目により総合的な素養を身につけることで、幅広い知見と判断力を養い、広く多角的に物事をとらえ思考できるよう、両学科ともカリキュラムを編成しています。

文学部の「専門科目群」は、「人文基礎」、「主要科目」、「学部共通科目」、「演習」、「特殊研究」、「卒業論文」から構成されます。

1・2年次では、両学科の学生が「人文基礎」や「学部共通科目」群の科目で、「主要分野」や「人文学」を支える基盤的知識を身につけます。同時に、1年次から4年次にかけて、順次「主要科目」、「学部共通科目」、「演習」、「特殊研究」というように、知識、方法論、読解技能、並びに発表技術を積み上げ、学士課程の最終成果である「卒業論文」を執筆します。

区分	1年	2年	3年	4年
共通科目群	基盤科目 外国語 / 健康スポーツ科学 / 情報処理とデータサイエンス / キャリアデザイン / 地域理解とリーダーシップ		教養科目 人間と文化 / 自然と環境 / 社会と世界	※詳細はP21
専門科目群 日本語日本文学科 …P26 英語英米文学科 …P30	人文基礎 歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
	主要科目 [日本語日本文学科] 日本語学 / 日本文学 / 日本語教育 / 関連分野 [英語英米文学科] 現代英語運用 / 英語学 / 英米文学 / 英語教育 / 留学			
			学部共通科目 地域文化研究 / 人文学(歴史学 / 心理学 / 中国文化論 / 異文化コミュニケーション / 比較文学)等	
			演習	
			特殊研究	
				卒業論文

※演習は日本語日本文学科では2年次から、英語英米文学科では3年次から開講 ※特殊研究は日本語日本文学科では3年次から、英語英米文学科では4年次から開講

[学部長からのメッセージ]

言語や文学には人間の心や身体性、文化、歴史が反映されています。文学部は言語と文学を通して人間の思考方法とそれを表現する方法を学ぶ学部です。その先にあるのは人間、あるいは人間と社会のあり方の本質を探究することです。

人間は捉えている同一の対象が違う見え方をしているにも関わらず同じように見ているような錯覚を持ちます。同じものを見ていても見ている人の背景(思想、文化、歴史、経験、立場など)が異なれば必ず見え方は変わってきますが、なかなかそれに気付かないものです。

現代社会の様々な変化にまどわされることなく、特定の基準に囚われず多様な視点から本質を見ることを忘れない姿勢が重要です。文学部では日本語や英語を通して言語や文学ひいては文化の研究をすることで様々な視点から物事を捉える力を養成します。

このような視点から学生の一人一人がそれぞれの魅力に応じて個性を発揮し、皆が大学の中で「生きる場」を見つけ、能力を伸ばし、社会に出てからも自分の居場所を自身で開拓していけるような力を身に付けてほしいと思います。これから我々人間が作り上げていく文化のあり方を決めていくのは若き学生諸君です。

文学部長
村尾 治彦



MESSAGE
from
the Dean

日本語日本文学科

Department of Japanese Language & Literature



[学科の特色]

日本語日本文学科は、基本的に日本文学・日本語学・日本語教育学の3つの領域で構成され、日本の文学作品やことばの研究を通して、文化の継承性を問い、深く人間を見つめていく力を養成する学科です。日本の古代から近代に至る文学作品、古代語から現代語までを対象に、歴史的・文化的背景をも視野に入れて、読解・分析の能力を育成するために、文学・語学とも各時代・分野をカバーできるスタッフを擁し、系統立ったカリキュラムを組んでいます。

本学科では、上記3領域の学修を基礎とした上で、卒業論文に向け、特に熊本・九州その他の地域文化を研究対象に選んだり、歴史・思想など隣接する領域と関連づけた研究や異文化との比較研究もできるようになっています。

少人数での演習や特殊研究によって学生個々の問題意識に合わせた指導が展開されることに加え、各地の方言や古典籍・近代文学資料の調査、国内外での日本語教育活動等、学外での実践的な取組が活発なことも特色の一つです。

■ 詳しくは学科ホームページをご覧ください。
<https://jll.pu-kumamoto.ac.jp/>

[日本語日本文学科 4年間の学び]

1年次

将来のキャリア形成に関する意識を醸成し始め、各種の「概論」「基礎論」を通して、日本語学・日本文学研究のための基礎的な知識を身につけます。併せて各時代の「文学史」や「講読」により、文学・語学研究に用いる資料への関心を喚起します。また、歴史・言語・思想の面から、広く人文学にわたる基礎的な知識と思考法を身につけ、ことばと作品を扱うための基盤を養います。

2年次

各分野の知識を補いつつ、「演習」により、知識の応用と思考・判断、資料操作と発表の経験を積み重ねます。この経験を通して、文章を正確に読解しまとめる力と、自らの考えを精緻かつ効果的に伝える表現力を養います。これらの力の育成に特化した「アカデミックスキル」の受講も有効です。なお、研究力をバランスよく身につけるため、「演習」は語学・文学の両分野からそれぞれ1科目を必修としています。

3年次

各自の関心に合わせた卒業論文の執筆を見ずして、「特殊研究」の分野を選択します。人文学分野を含む「演習」による訓練も継続しながら、テーマに応じた問題の切り口を探し、分析と論述の実践を重ねていきます。併せて、関心を内面的なものに留めず、外に向けて論理的に発信しようとする態度を身につけます。

4年次

1~3年次での学修成果の集大成として、卒業論文に取り組みます。また学生各自の必要に応じ、知識や思考、技能のための科目を補完的に履修することができます。卒業論文への取り組みを通じ、日本語・日本文学に関する自発的な関心をもとに、それまで得た知識と分析力を駆使し、論理的に考えをまとめる力を育みます。併せて、社会生活に必要な思考力・判断力・表現力を体得します。

[開講科目(専門科目)]

区分	1年	2年	3年	4年
人文基礎	歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
日本語学	日本語学概論	日本文法 / 方言学基礎論 現代日本語の分析	日本語史 / 日本語学史	
主要科目	文献学基礎論 / 文学研究法基礎			
	古典文学史 / 近代文学史 / 古代文学講読 中世文学講読 / 近世文学講読 / 近代文学講読			
	地域文献講読			
	漢文学史			
日本語教育	日本語教授法			
関連分野	地域踏査演習	アカデミックスキル		
	書道(講義) / 書道(実技)	古典文化研究 / 言語文化研究 近代文化研究 / 近代地域文化研究 / 日本古典文化論		
学部共通科目	情報処理発展 / 日本文化論 / 西洋文化史 / 地域文化研究 / 文化人類学 / 歴史学講義 / 日本文化史講義 / 中国文化論 思想史講義 / 比較文学講義 / 中国文学史 / 日中比較文学 / 日本語教育教材研究 / 日本語教育評価法 心理学講義 / 英文法 / 英米文学通史講読 / 英語学概論 / 英米詩概論 / 英語史 / 異文化コミュニケーション論 / Junior Seminar			
演習	日本語学 / 日本文学 / 日本語教育 / 複合			
	人文学(歴史学、思想史、中国文化論 日本文化論、異文化コミュニケーション)			
特殊研究	日本語学 / 日本文学 / 日本語教育			
	人文学(歴史学、思想史 中国文化論、日本文化論、 異文化コミュニケーション)			
卒業論文				卒業論文

取得資格

教職課程の履修により、中学校・高等学校教諭一種免許状(国語)を取得できます。



文学部日本語日本文学科4年 吉田 祐紀乃 さん (熊本県立熊本高等学校出身)

私は読書が趣味で、日本の文学作品を学びたいと考えたため、日本語日本文学科に進学しました。現在は卒業論文の執筆に向け、谷崎潤一郎や太宰治、三島由紀夫など近代文学を専攻しています。

本学科の特徴は、文学・語学・歴史など幅広い分野を扱っていることです。入学当初、私は語学に苦手意識を持っていましたが、講義を通してその面白さを知ることができました。例えば必修科目の「日本文法」では、中学校、高校で習った係結びの法則について理解を深めたことが印象に残っています。

授業外の学生生活では、書評同好会の活動を楽しんでいます。同好の友人たちと一つの本についてとことん話す時間は、私にとってかけがえのないものです。

本学に入学してから、以前よりも自分の意見を言うことを恐れなくなりました。特に日本語日本文学科には、発言内容にじっくりと耳を傾けてくれる先生や学生が沢山います。私自身、自分の意見を上手く言語化できず、悔しい思いをすることが何度もありました。しかし、もがきながらも何とか言い表そうとする過程こそが、言葉に向き合う本学科の学びなのだと思います。みなさんも日本語日本文学科で、言葉を追究する4年間を過ごしてみませんか。



複合演習



インドネシア ブラウウィジャヤ大学での日本語教育実習

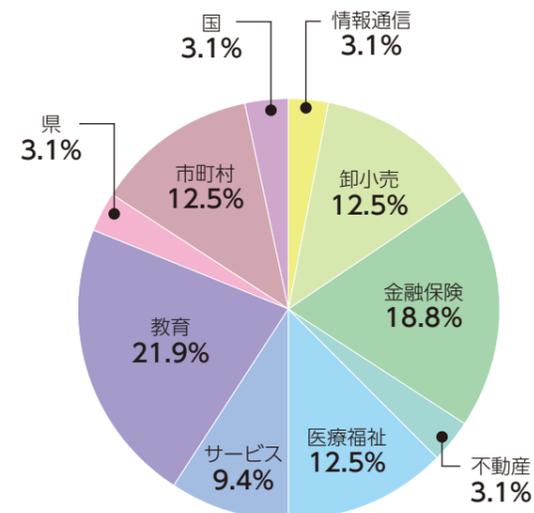


日本語学特殊研究

[卒業後の進路]

民間企業や事務系の公務員、国語科教員や日本語教師が考えられます。民間企業では学科で培った問題解決能力やコミュニケーション能力を生かし、教育や出版関係をはじめ幅広い職種での活躍が期待されます。もちろん大学院への進学も可能です。

業種別就職状況(2022年度)



主な進路一覧(2020~2022年度)

● 就職

- 【建設】富士古河E&C、グッドハート、リブワーク
- 【製造】再春館製薬所、村岡総本舗、小川珈琲
- 【電気・ガス・水道】大谷商会
- 【情報通信】ATJIC、KIS、アドバンティブ、エコ電子工業、熊本日日新聞、テクノアート、西日本映像、九州デジタルソリューションズ
- 【卸小売】インホールディングス、菊鹿資材、コスモス薬品、スズキ自販熊本、ダイレックス、鶴屋百貨店、DNS、天水総合カンパニー、同仁堂、フードウェイ、フタバ、ブックオフグループHD、村田園、ゆめマート熊本、ヨネザワ、ワールドストアパートナーズ
- 【金融保険】大分銀行、大分県信用組合、熊本銀行、日本生命保険、肥後銀行、広島銀行、福岡信用金庫、豊和銀行、宮崎銀行
- 【不動産】大東建託リーシング
- 【医療福祉】熊本赤十字病院、済生会熊本病院、桜十字病院、杉村病院、桜が丘病院
- 【サービス】JT、アイオ、エイジェック、NPK、F&Bシモカワ、オフィス寺島、九州産業交通HD、グッド・クルー、熊本消毒ホールディングス、ケイミックスパブリックビジネス、サイエンスSARU、サニーライフ、CENTRIC、トランスコスモス、Hub craft inc、ピーエルディウエディングス、肥後葬祭、ベルクリック、星野リゾートマネジメント
- 【教育】アイオ、英進館、大分県教育委員会、鹿児島県教育委員会、九州学院高等学校、熊本市教育委員会、熊本県教育委員会、京都教育大学、熊本大学、熊本国府高校、佐賀県教育委員会、尚綱学園、東京都教育委員会、富山県教育委員会、福岡市教育委員会、宮崎県教育委員会
- 【県】熊本県、長崎県
- 【市町村】宇城市、唐津市、北九州市、熊本市、七尾市、益城町
- 【国】熊本東税務署、海上自衛隊

● 進学

- 熊本大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化コース
- 熊本県立大学大学院文学研究科日本語日本文学専攻



【勤務先】
北九州市教育委員会

2021年3月
文学部日本語日本文学科卒業

木部 綾音 さん
(自由ヶ丘高等学校出身)

私は幼い頃から、日本の文学作品やことばに関心があったため、これらについて深く研究できる本学科に魅力を感じて進学を決めました。

在学中は、各々の研究に対して意見交換を行い新たな気付きを得たり、学科生の参加する日帰り研修や卒業論文発表会を企画したりするなど、尊敬できる友人と研究に励むだけでなく、サークル活動や学生会活動にも打ち込み、非常に有意義な4年間を過ごすことができました。

現在は、北九州市役所で事務職員として勤務しています。行政の業務は多岐にわたりますが、本学科で培った、様々な視点から物事を見つめ、その本質を捉える力は、市民の方との対話はもちろん、施策等の立案に至るまで、現在の職務に広く深く活かしています。

文学部というと、就職に不安を抱く方も少なくないと思います。確かに、本学科での研究内容が直接的に業務に繋がるとは限りませんが、本学科での研究を通して身につけた思考力や分析力、文章力は、現代のどのような職種においても求められるものです。

また、即物的で有用なものが正とされがちな昨今ですが、文学作品やことば、歴史を通して、人間の営みを深く見つめ、研究することは、自身の人生の意義を考えていく力を磨くことに繋がると、私は思っています。

4年間は、長いようであっという間に過ぎてしまいます。様々なことを学び経験して、今の皆さんしか得ることができない財産をたくさん掴んでください。

皆さんにとって、本学科で過ごす大学生生活が充実し素晴らしいものになるよう、心から願っています。

英語英米文学科

Department of English Language & Literature



[学科の特色]

英語英米文学科は、英語を通して人間と世界を理解することを目標としています。英語によるコミュニケーション能力を高め、言語・文学・文化を深く理解し、国際的視野をもって活躍できる人材を養成しています。現代英語運用科目においては、CLIL: Content and Language Integrated Learning(内容言語統合型学習)を取り入れた「読む・書く・聞く・話す」の4技能の連携を図りながら批判的思考能力や問題発見解決能力を涵養する科目を導入しています。このディスカッションを中心とした少人数セミナー制の科目とレベル別、スキル別に分けた科目を1年次から4年次までバランスよく配当し、総合的な英語運用力の基盤が形成可能な形態となっています。また、学修到達の測定のため、TOEIC® IPテストを入学時から4年次まで毎年1度受験することで英語力の伸長を測り、英語学習へのインセンティブを高めています。CLILによって身に付けた能力を基盤に、4技能を駆使して学問的専門領域の内容を学修し、英語での卒業論文執筆へと結実させます。

卒論履修分野として「英語学」「英文学」「米文学」「英語教育」「人文学」の5分野が開かれています。英語学では英語の構造や意味を論理的かつ体系的に分析したり、英語母語話者の認知の仕方に基づく表現の特徴を分析したりします。英文学・米文学においては、作家や作品、批評理論だけでなく、文化、歴史、社会思想についても考察します。英語教育では、英語を教えるための方法論や英語の効果的な学習法などを学ぶことができます。

また併せて日本語教員養成課程(副専攻)を履修することもできます。

■ 詳しくは学科ホームページをご覧ください。
<https://ell.pu-kumamoto.ac.jp/>

[英語英米文学科 4年間の学び]

1年次	2年次	3年次	4年次
2年次以降の英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識を身につけるための基盤となる「読む・書く・聞く・話す」の英語コミュニケーション能力の基礎を形成します。また、1,2年次にわたって、専門領域の基盤となる歴史、言語、思想、文学の基礎的知識・思考法を身につけ、主体的学修を促します。同時に、英米文学の講読授業や英文法の講義等により、英語の仕組みや英語圏の文学や文化、思想への関心を喚起します。	口頭による英語プレゼンテーション能力を強化しつつ、4技能のバランスの取れた英語コミュニケーション能力を伸長します。また、英語という言語や英語で書かれた文学作品を学術的に分析する知識と方法論を学び、異文化を深く理解すると同時に自国の文化を相対化できる能力を身につけます。また、全学共通科目、学部共通科目との連携の上に、コア領域を軸としつつも様々な言語、文化に広く展開し、多角的に関心を広げ、知識を得ていきます。	学術的な活動あるいは社会に出たときに広く使える実践的な言語運用能力を身につけます。また、「特殊研究(卒論)」の領域を考慮した「演習」科目によって、英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識、論理的な考察能力を身につけ、修得した英語・日本語等の言語運用能力に基づいて、自己の考えや主張を正確に表現して発信できる能力を修得します。	1~3年次までに学んだ各領域の知見を発展させ、自身の関心のあるテーマに結びつけ、深く探求する力を身につけます。問題発見、解決のための計画を立案・実行し、卒業論文として正確に記述できるようにします。さらに、英語・日本語等の言語運用能力を駆使して得られた知見をまとめ、発信します。

[開講科目(専門科目)]

区分	1年	2年	3年	4年
人文基礎	歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
現代英語運用	Seminar for Cultural Literacy Seminar for Critical Thinking	Seminar for Core Subjects	Research Writing 言語表現と翻訳技法	
	Reading & Writing		Advanced Academic Skills	
英語学	英語音声学 / 英文法	英語学概論	英語史	
	英語学特別講義			
英米文学	英米文学通史講読 / 英米文学多読入門	英米文学通史講読 / 英米文学発展講読	英語圏文学講読	
	英文学特別講義 / 米文学特別講義 / 英米詩概論			
英語教育		英語教育講義		
	英語教育特別講義			
留学		Studying Abroad		
学部共通科目	日本文化論 / 中国文学史 / 日中比較文学 / 地域文化研究 / 西洋文化史 / 歴史学講義 / 心理学講義 / 日本文化史講義 中国語論 / 比較文学講義 / 異文化コミュニケーション論 / 文化人類学 / 現代日本語の分析 日本語教育教材研究 / 日本語教育評価法 / 日本語学概論 / 日本語史 / 日本文法 / 日本語教授法 / 情報処理発展 歴史学演習 / 思想史演習 / 日本文化論演習 / 中国語論演習 / 心理学演習 / 日本語教育演習 / 異文化コミュニケーション演習			
演習			Junior Seminar	
特殊研究				Senior Seminar
卒業論文				卒業論文

取得資格

教職課程の履修により、中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)を取得できます。



文学部英語英米文学科4年 岩本 愛優美 さん (熊本県立玉名高等学校出身)

私は高校時代に英語でのディベート大会に出場した経験から、さらに英語を多角的・理論的に学びたいと考え、英語英米文学科を選択しました。また、熊本県立大学では熊本について学ぶ講義が多いという点にも魅力を感じました。

現在は米文学や異文化コミュニケーション分野に興味を持っており、文学作品から分かる女性の生き方の変化や現代社会におけるジェンダー課題について学んでいます。「国際協力論」では実際に青年海外協力隊で活動された方の「現場の声」を聴くことができ、視野が広がりました。「英米文学通史講読Ⅱ」ではBreakfast at Tiffany's(『ティファニーで朝食を』)を通して、当時のアメリカにおける女性の生き方を読み解きました。

授業以外では、ELLA(英語英米文学会)の委員長を務めています。学生同士の繋がりを深めるイベントや留学生との交流会に力を入れています。また、大学生は比較的自由な時間も多いため、アルバイトで貯金をして国内外(広島や沖縄、韓国など)に旅行に行っています。

高校までとはひと味違う、自分が興味のある分野について専門的に学ぶことが出来るという点が大学進学の魅力だと感じます。また、この学科を選んだからこそ、国籍や人種を越えた出会いが沢山あります。受験期は大変なことも多いですが、その先には必ず楽しいことが待っています！皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。“All our dreams can come true, if we have the courage to pursue them.” by Walt Disney



異文化コミュニケーション演習



言語学演習

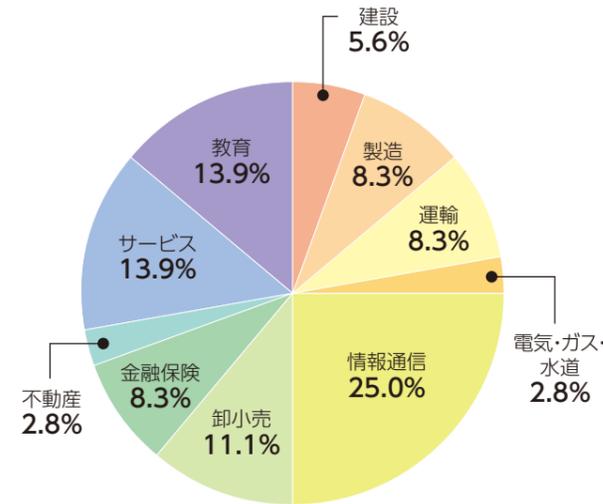


英語教育演習

[卒業後の進路]

英語運用能力を生かし、中学校・高等学校の教員や外資系企業、旅行代理店、航空会社、ホテルなどのサービス業のほか、様々な分野での活躍が期待されます。通訳や翻訳の仕事に進むことができます。もちろん大学院への進学も可能です。

業種別就職状況(2022年度)



主な進路一覧(2020~2022年度)

- 就職
 - 【建設】松栄パナホーム
 - 【製造】再春館製菓所、平田機工、堀場エステック、リョーユーパン
 - 【運輸】日本郵便
 - 【情報通信】KIS、KKTイノベート、アドバンサー、イセス、九州デジタルソリューションズ、ウィップシステム、熊本日日新聞社、ジャパンネットワークグループ、日本テレメッセージ、楽天グループ
 - 【卸小売】青山商事、アンドセル、イオン九州、エバーライフ、コスモス薬品、コム・デ・ギャルソン、住商ファーマインターナショナル、鶴屋百貨店、ハウディ、富士薬品、フレイン、丸菱ホールディングス、リコージャパン、ローソン、ワールドストアパートナーズ
 - 【金融保険】熊本銀行、熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、第一生命保険、肥後銀行、三井住友信託銀行
 - 【医療福祉】社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
 - 【不動産】コスギ不動産
 - 【サービス】アールエスエス、キューネット、共栄総合サービス、熊本ホテルキャッスル、翼、西鉄エアサービス、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン、ラウンドワン
 - 【教育】アイトップス、英進館、大分県教育委員会、学校法人大阪YMCA、熊本学園大学附属高等学校・中学校、熊本国府高等学校、熊本大学、公立大学法人熊本県立大学、熊本県教育委員会、佐賀県教育委員会、ベルリッツ・ジャパン
 - 【市町村】宇城市、熊本市
 - 【国】鹿児島地方方法務局、熊本労働局

- 進学
 - 熊本大学社会文化学教育部文化学専攻英語教育専門職コース、熊本県立大学大学院文学研究科英語英米文学専攻、CPA 会計学院



【勤務先】
熊本日日新聞社

2023年3月
文学部英語英米文学科卒業

草野 太一 さん
(熊本県立阿蘇中央高等学校出身)

私は入学当時、英語教員を目指していたので「英語教育」に関心がありましたが、入学してすぐに英語の分野の広さに驚きます。「英語科教育法」「音声学」「英語史」「英米文学」「異文化コミュニケーション」等、履修した授業をばっと思っただけでもこんなにあるのです。思い返すと、高校時代に触れていた英語という科目がいかにも限定的なものだったかを痛感します。

入学してからは自分の知らなかった英語の世界にわくわくしたのを覚えています。社会や歴史、思想や文化を知ってから読む小説や文学作品は作者の意図がより深く見えます。異文化を知ることで世界にはこんな考え方をしている人がいるのかと驚いたり、自分の視野の狭さを実感したりすることもあります。英語を通して、さまざまな事象に対して本質を見極めようとする「批判的思考(クリティカルシンキング)」の重要性を学ぶことができます。

私は今、新聞記者をしています。前述した「批判的思考」が不可欠な仕事です。熊本県は今まさに変化の途中。県内地域によって抱える問題も様々です。これから、県民の様々な声に反応しながら、世界から熊本がどう見えているのか、県を多角的に見ていかなければなりません。これから入学・受験される皆様はぜひ、見える世界を広く、多角的に捉えられる視野を身に付け、世界と日本をつなぐ架け橋になってほしいと思います。

環境共生学部

Faculty of Environmental & Symbiotic Sciences

環境共生型社会の創造に貢献する人材を育てる

環境共生学部は、環境共生に係わる諸問題を総合的に捉え、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全しつつ、持続的に利用し、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念とし、自然環境と人間活動との共生のあり方について教育・研究することを目的とします。

[アドミッション・ポリシー] ~環境共生学部はこのような人を求めています~

本学部は、私たちと自然が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念として設置され、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻、食健康環境学専攻の3専攻で教育研究を行っています。本学部は以下のような能力を持つ学生を求めています。

- ① 環境共生学にかかわる様々な課題に関心を持つ学生
- ② 科学的、論理的思考能力を有している学生
- ③ 高等学校における教科に関してバランスのとれた基礎学力を有している学生
- ④ 理科の科目について十分な学力を有している学生
- ⑤ 英語について幅広い素養を備えている学生

さらに、入学後は、国際的な視野と自然科学・健康科学に係る高度な知識をもとに、人間活動と自然環境との共生にかかわる地域あるいは地球規模の諸問題を総合的に対処できる能力を自ら積極的に学修することによって身につけようと考えている学生を求めます。



環境資源学専攻

- ① 自然環境や生態系の保全について学ぶ意欲を持つ学生
- ② さまざまな環境問題に興味がある学生
- ③ 環境にかかわる専門家をめざす学生

居住環境学専攻

- ① 自然を利用し、人と地球にやさしい環境をつくる技術を開発したい学生
- ② にぎわいに満ちた元気な“まち”、自然豊かで美しい“むら”をつくりたい学生
- ③ 快適な住まいや公共の建築物などの設計をめざしたい学生
- ④ 地震に強く美しい木造建築物・環境に配慮した建築物をつくりたい学生
- ⑤ 建築士として働きたい学生

食健康環境学専攻

- ① 食・健康・環境等の分野に強い関心を有し、将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生
- ② 社会で活躍する土台となるコミュニケーション能力を持ち、自己のコミュニケーション能力の向上に熱心な学生
- ③ 様々な課題のよりよい解決に向け、自ら問題を発見しようとする探求心とその解決を図るための豊かな想像力を有する学生
- ④ 高等学校卒業レベルの十分な基礎学力を持つとともに、理科学科(化学および生物)に対して興味や関心を持つ学生
- ⑤ 最新の科学的知見を得る上で重要となる英語について幅広い素養を備えている学生

大学院(環境共生学研究所)については→P57

◎2025年度入学定員及び募集人員

環境共生学部 環境共生学科	入学定員	募集人員						
		一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜			留学生・帰国生徒 社会人
		前期	後期		学校推薦型選抜		くまもと夢実現	
環境資源学専攻	15名	12名	—	県内	全国	3名*		若干名
専攻 居住環境学専攻	110名	20名	12名	4名	4名	—	—	全学で2名以内
食健康環境学専攻	28名	8名	—	4名	—	—	—	若干名

*うち2名以上は熊本県内高等学校卒

環境共生学部 4年間の学び

環境共生学部の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

自然と人間が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念とし、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻及び食健康環境学専攻の3専攻を設けています。

全学共通教育に加え専門科目として、学部共通教育及び各専攻の専門領域の教育を通して、環境共生型社会の創造に貢献する人材の育成を目指し、環境共生にかかわる諸問題と環境共生の理念を理解するため、フィールドワークを含む「導入科目」、自然科学の知識と理解力を養成する「基礎科目」並びに各専攻の専門的な能力を養成する「展開科目」を講義、演習、実習、実験などの順次性に配慮し、体系的に配置しています。

区分	1年	2年	3年	4年
共通科目群	基盤科目 外国語／健康スポーツ科学／ 情報処理とデータサイエンス／ キャリアデザイン／地域理解とリーダーシップ		教養科目 人間と文化／自然と環境／ 社会と世界	※詳細はP21
専門科目群 環境資源学専攻 …P36 居住環境学専攻 …P40 食健康環境学専攻 …P44	学科共通科目 導入科目 「環境共生論」 「現代生活と環境問題」 「居住環境を創る」 「食と環境」 「フィールドワーク」			
	「情報処理実習」		「環境共生総合演習」	
	専門科目 環境資源学領域 居住環境学領域 食健康環境学領域		基礎科目	展開科目

[学部長からのメッセージ]

MESSAGE
from
the Dean

環境共生学部は「環境の世紀」と位置づけられる21世紀を目前にした1999年4月、わが国で初めて「環境共生」を冠する学部として1学科3専攻でスタートし、2024年4月に創立25周年を迎えました。環境共生学研究所は2003年には修士課程を、2005年には博士後期課程を設置するとともに、修士課程を博士前期課程としました。

開設時より、環境共生に係わる諸問題を総合的に捉え、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全しつつ、持続的に利用し、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念として、自然環境と人間活動との共生のあり方について教育・研究を行っています。

世界はいま、貧困、紛争、気候変動、感染症など、かつてないほどの多くの課題に直面しています。これらの課題を統合的に解決し、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために示されているのが、SDGs(持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals)です。

環境共生学部は環境資源学専攻、居住環境学専攻、食健康環境学専攻の3専攻を設けています。学科という垣根をなくし、専門的かつ学際的な領域の教育・研究および地域・国際貢献活動を通じてSDGsの達成、すなわち持続可能な社会の構築に貢献します。

新型コロナウイルスパンデミックは、これまでの私たちの社会生活を一変させる事態となりました。加えて数十年に一度といわれるような大きな自然災害も毎年のおこっています。未曾有の危機が突然到来するような難しい時代だからこそ、環境共生学部・研究所では持続可能な社会の構築にリーダーシップを発揮できる人材を育成していきたいと考えています。

環境共生学部長
白土 英樹



環境資源学専攻

Division of Environmental Resources,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences



[専攻の特色]

環境科学を実践的に学ぶ

教室で行う講義に加えて、現場での各種フィールドワーク、沿岸域環境、森林環境、水産環境、植物生産環境に関する4つのアセスメント実習や環境分析化学実験、大気環境学実験、高分子化学実験などの科目において、環境共生にかかわる諸問題の原点である現場での実証的な作業やその実験、実習を体験し、環境問題の複雑さを学び、知識の応用能力を養います。

情報発信能力を養成する

多数の情報処理機器を学生が自由に利用できる体制が整備されており、情報処理に関する演習科目や各実験・実習・演習科目において得られた結果を処理・分析し、レポート作成、結果発表（プレゼンテーション）する能力を養成します。さらに、環境分野においては英語によるコミュニケーションが不可欠になってきているため、ネイティブスピーカーの教員の指導により英会話のみならず環境分野での英語による海外への情報発信能力を養成します。

[環境資源学専攻 4年間の学び]

環境資源学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

- 1 環境共生に関わる諸問題を科学的に解明し対処するための基礎的な自然科学の知識と理解力を養成し、併せて、環境の成り立ちや生態系の仕組みを理解し、人間活動が環境資源に及ぼす影響を調査、解析、評価する能力を養成するために「専攻専門科目」を置き、環境資源の保全と適正利用による、持続可能な生物資源の生産技術並びに社会発展のための方策について教育します。
- 2 「基礎科目」では、基礎的な自然科学の知識と理解力を幅広く養成するために、理科全般(物理学・化学・生物学・地学)、数学、統計学及び情報処理に関する科目を設置しています。
- 3 「展開科目」では、生態、生物資源、物質環境、環境計画の4分野に関する調査・分析能力を養成するために、各分野の講義科目及び実験・演習科目に加えて、環境評価をフィールドにおいて実践的に体験する4つの環境アセスメント実習(沿岸域環境アセスメント実習、森林環境アセスメント実習、水産環境アセスメント実習、植物生産環境アセスメント実習)を設置しています。
- 4 生態関係科目では、海洋及び森林の生態系の構造と機能、保全と利用のための方策を学ぶ科目を、生物資源関係科目では、海洋及び陸上で生産される生物資源の特性と機能、栽培・増殖法、生産環境、生産物の利用法を学ぶ科目を、物質環境関係科目では、環境における物質循環に関する化学的、物理的な知識と環境への影響評価手法を学ぶ科目を、環境計画関係科目では、環境資源の保全と恒久的利用、持続可能な社会発展に必要な計画論、法規、政策、制度について学ぶ科目を、それぞれ設置しています。
- 5 国境を越え、広域化、国際化する環境に関わる諸問題に対応する能力を養成するために、共通科目群基盤科目の英語科目に加えて、専門科目群専攻専門科目基礎科目に英語科目(Science English)を設置しています。

[開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学科 共通 科目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
		情報処理実習		環境共生総合演習	
専門 科目 (環境 資源学 領域)	基礎科目	生物学I・II / 生物学実験 基礎化学 / 有機化学 化学実験 / 物理学I・II / 数学I・II	統計学 / 統計学演習 物理学実験 / 環境情報処理実習	Science English I・II 地学I・II / 地学実験I・II 応用情報処理演習	
	生態		森林生態学 / 森林資源学 / 森林環境アセスメント実習 海洋生態学 / 沿岸環境保全論 / 沿岸域環境アセスメント実習 海藻学 / フランクトン学		
	生物 資源		作物生産学 / 植物食資源学 / 植物生産環境アセスメント実習 水産環境学 / 水産環境アセスメント実習 / 海洋微生物学 魚類環境生理学 / 食資源開発学		
	展開 科目 物質 環境		環境分析化学 / 水環境科学 / 環境分析化学実験 I・II 環境素材学 / 高分子化学 / 高分子化学実験 大気環境学 / 大気環境学実験 / エネルギー環境学 環境衛生科学 / 生物濃縮論 / 環境計量演習 食品分析学 / 食品安全性学		
	環境 計画		環境経済学 / 環境関連法規 / 農山村域計画学 都市計画 / 地域景観計画学 / 都市居住政策学		
卒業研究					卒業論文

取得資格

教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)が取得できます。また、環境計量士や公害防止管理者の受験に対応しています。



環境共生学部環境共生学科環境資源学専攻4年 **高野 なごみ** さん (熊本県立熊本北高等学校出身)

私は化学や生物、数学などの理系の科目が好きで、理系科目を幅広く学んでみたいと考え環境資源学専攻を選択しました。実際に、本専攻では、化学や生物、物理や地学など、様々な分野の理系科目を学ぶことができ、実験やフィールドワークなどを通して、自然環境や環境問題についても様々な体験をしながら学ぶことができます。将来やりたいことや夢が決まっていなくても、この専攻では理系科目を幅広く学ぶことができるため、学びながら興味のあることを探求していくことができると思います。

また、私は大学で何か挑戦したいと考え、理科の教員免許取得を目指しています。他の人より授業のコマ数が多くて大変だと感じる時もありますが、普段できない体験や新しい学びを得ることができ、将来のことについて深く考える良い機会にもなっています。

学業以外では、アルバイトや趣味の時間を大切にしています。大学生になると自由な時間が増えるため、アルバイトなど新しいことに挑戦して社会性や自己管理能力などを身につけ、充実した生活を送っています。様々な資格取得のため、スキルアップのために勉強することも有効な時間の使い方だと思います。

大学受験は自分の思うようにいかず不安になることもあると思いますが、その努力や経験は決して無駄にはなりません。後悔の無いように、大学生活を楽しみましょう！



物理学実験



沿岸域環境アセスメント実習

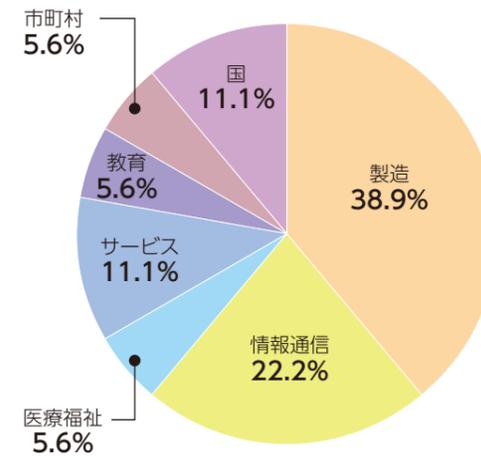


森林環境アセスメント実習

[卒業後の進路]

環境アセスメントにかかわる専門家、地域の発展を環境の面から支えていく公務員、環境のより専門的な分野を掘り下げていく研究者（大学院への進学など）、環境についての次の世代を育てていく教育者への道が拓かれています。

業種別就職状況(2022年度)



主な進路一覧(2020~2022年度)

- **就職**
 - 【建設】九電工、シアーズホーム、西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
 - 【製造】KMバイオロジクス、木村、熊本森永乳業、熊本ニチアス、熊本県果実農業協同組合連合会、再春館製菓所、JCU、資生堂、博多まるきた水産
 - 【情報通信】事業組合システムバンキング九州共同センター、SYSKEN、ソフトウェアビジョン、メンバーズ
 - 【卸小売】加藤産業、コスモス薬品、ジョウツウ、リコージャパン
 - 【金融保険】熊本銀行
 - 【医療福祉】熊本市医師会、託麻台リハビリテーション病院
 - 【サービス】IBJ、アウトソーシングテクノロジー、アドバンテック、生活協同組合くまもと、タケエイ、肆方山弦楽堂
 - 【教育】熊本大学、山川塾
 - 【県】熊本県、長崎県、福岡県
 - 【市町村】熊本市
 - 【国】熊本国税局、林野庁

- **進学**
 - 熊本県立大学大学院環境共生学研究科



〔勤務先〕
KMバイオロジクス株式会社

2021年3月
環境共生学部環境資源学科卒業

牧 隆成 さん
(熊本県立第二高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

海や川、山などの自然が好きだった私は、自然環境について学びたいと思い本学科へ進学しました。本学科の特徴は、教室での講義だけではなく、フィールドワークを通して直接自然と触れ合いながら学ぶことができる点です。大木を切り倒したり、船で無人島に行き地質調査をしたりと大変貴重な経験ができました。泊まりがけの実習も多く、実習後は皆で夕食を作るなど、ちょっとした修学旅行のようでどれもいい思い出です。実験・実習が多いため、目的と仮説を持って実験し、その結果を分析してレポートにまとめるという機会も多いです。その中で、得られた結果の妥当性、失敗の原因、次にどう生かすかを考える力が養われました。また、卒業研究を仲間と助け合いながらやり遂げることができた経験があるからこそ、現在の職場においても、人とのコミュニケーションや助け合いを大切にしながら良い人間関係の元で仕事ができています。本学科はこのような社会人になっても必要とされる力を養える場所だと思います。

大学時代の学生生活、サークル活動、アルバイトなど全ての経験が今の自分の考え方や行動に繋がっていると思います。是非、大学生活の中で様々なことに挑戦してみてください。

居住環境学専攻

Division of Human Habitats,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences



[専攻の特色]

居住環境学専攻では、「地域に密着した題材を通して、従来の建築学科の枠を超える教育・研究」を行っています。近年の社会の流れを根本から転換し、「人と自然、さまざまな人々が共に生き続ける社会」=「環境共生型社会」をめざす熱い心をもち、地域文化や気候風土に根差した“すまい”・建築・都市・農山村などの「環境共生型居住環境を保全・創造する知識、能力、技術を豊富に持った人材育成」をめざしています。

新しいライフスタイルの創出を国際的視点から考える能力の養成

地球温暖化など世界的規模で生じる問題とその解決法を、グローバルに学び、地域に還元する力の養成に努めています。

少人数体制の下、実体験と現場を重視した教育

少人数制を活かして、「居住環境デザイン実習」、「CAD実習」、「居住空間構造・材料実験」などの科目で、現場体験する実践型の教育を行います。また、「フィールドワーク」、「木質材料活用論」など建築・地域などに関するさまざまな見聞を広める貴重な体験学習の科目を設けています。

総合力、構想力の養成

講義などで得た知識を統合化する設計製図などの実習を有機的に関連させたカリキュラムを組んでいます。これらの訓練を通して、構想から形を創る能力や知識を総合化する能力を養成します。

問題の認識と解決方法を深めるための歴史を重視した教育

現代の複雑な問題群を本質的に解決するには、その背景や要因を歴史的に学ぶ必要があります。歴史を通して、先人の知恵を学び、現代の問題群を根本的に理解できる教育に努めています。

[居住環境学専攻 4年間の学び]

居住環境学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

本専攻の「環境共生」の理念のもと、環境への負荷軽減、人間の健康・福祉などを重視し、住居から建築・都市・地域に至る居住環境の全体を見据え、実体験に基づいた科学的認識能力と、居住環境をまもり育てる専門的な技術をもった人材を育成します。そこで、以下のようなカリキュラムを編成しています。

- 1 本専攻は居住空間計画、都市・地域計画、環境調整・設備、構造・材料の4分野から構成され、各分野において基礎から応用まで段階的に修得できるように科目を設置しています。基礎的な科目はすべて必修科目に指定し、初年度から基礎的な実習を取り入れて主体的な学修を促します。また、実験・実習・演習の科目を多く設け、講義で得た知識を実験実習で体感し、自ら主体的に取り組み、より深く認識できる構成としています。
- 2 居住空間計画及び都市・地域計画分野では、地域の課題を浮き彫りにする内容とともに、国際的な視野で課題を考えることができる力を養うべく、多くの外国事例などをとりあげて幅広く講義する科目群を設置しています。
- 3 環境調整・設備及び構造・材料分野では、自然環境との共生と環境負荷の軽減を目指すとともに、人と地球にやさしい建材である木質材料を重視した関連科目群を設置しています。
- 4 卒業時に、一級建築士、二級建築士の受験資格が得られ、更に様々な進路も選択できるようなカリキュラム構成としています。

[開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学科共通科目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
			情報処理実習	環境共生総合演習	
専門科目(居住環境学領域)	基礎科目	数学Ⅰ・Ⅱ / 国学 / 物理学Ⅰ・Ⅱ 居住環境デザイン実習Ⅰ・Ⅱ	CAD実習Ⅰ	応用情報処理実習	
	都市・地域計画		比較都市文化論 / 都市計画 / 都市居住政策学 農山村域計画学 / 地域景観計画学 / 地域計画論		
	居住空間計画		建築史 / 住空間計画学 / インテリアデザイン論 / インテリアデザイン実習 比較住文化論 / 建築計画学 / 木質デザイン論 / 福祉住環境原論		
	環境調整・設備		建築環境工学Ⅰ・Ⅱ / 環境設備学 環境設備システム学 / 環境設備システム学演習 環境調整工学 / 居住環境調整工学実験		
	構造・材料		建築構法 / 建築構造の基礎 / 木質構造学 / 静定構造力学 / 静定構造力学演習 居住空間材料学 / 不静定構造力学 / 不静定構造力学演習 鉄筋コンクリート構造学 / 居住空間構造・材料実験 / 鉄骨構造学		
	全体共通		居住環境デザイン実習Ⅲ～Ⅵ / 木質材料活用論 / CAD実習Ⅱ / 建築施工学 環境防災・安全工学 / 建築法規 / 森林生態学 / 海洋生態学 / 地学Ⅰ・Ⅱ / エネルギー環境学 大気環境学 / 環境関連法規 / 環境経済学 / 地方自治論 / 公共政策論		
卒業研究					卒業論文

取得資格

一級建築士および二級建築士の受験資格が得られます。また、教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)が取得できます。その他、卒業後取得可能な資格として、1級建築施工管理技士及び2級建築施工管理技士があります。(1級建築施工管理技士は、卒業後3年以上、2級建築施工管理技士は、卒業後1年以上の実務経験が必要です。)在学中に取得できるものは、インテリアプランナー、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーター、カラーコーディネーター検定、色彩検定、照明コンサルタントなどがあります。



環境共生学部環境共生学科居住環境学専攻4年 松葉 優さん (熊本県立熊本北高等学校出身)

私は幼い頃からものづくりが好きで、将来は自分が作ったもので人々を幸せにしたいと思っており、その中でも建物やインテリア、街並みに特に興味がありました。しかし、具体的な職業は決まっておらず「住まい」に関する幅広い分野を学べることに魅力を感じ、この専攻を選びました。

本専攻では、建築設計、構造、建築設備、福祉住環境、都市・農村計画、インテリアなどについて学ぶことができます。デザイン実習では、その幅広い分野からの学びを活かし、自分で建物を設計します。他にも構造・材料実験、フィールドワークが授業の一環として設けられており、座学だけでは得られない知識や経験を実践的に得ることができます。また、地域の方や企業の方からお話を聞く機会もあり、現場を知ることができたり、新しい発見があったりして授業はとても面白いです。私は授業を通して、「リフォームアドバイザー」という将来の夢を見つけることができました！

普段は専攻のみんなとお喋りをして楽しく過ごしています。40人程と少人数の専攻なので、高校までのクラスのような雰囲気です。3年生になると、11月の学祭に合わせて専攻のみんなで作ったベンチなどを実際に木材でつくる中庭プロジェクトを行ったりもします。仲が良くとても楽しい専攻です！

私のように、ものづくりで人々を幸せにしたいという希望を持っていたり、建物・街並み・インテリアが好きな方は、ぜひ居住環境学専攻で楽しく充実した大学生活を送りましょう！



居住環境デザイン実習



居住環境調整工学実験

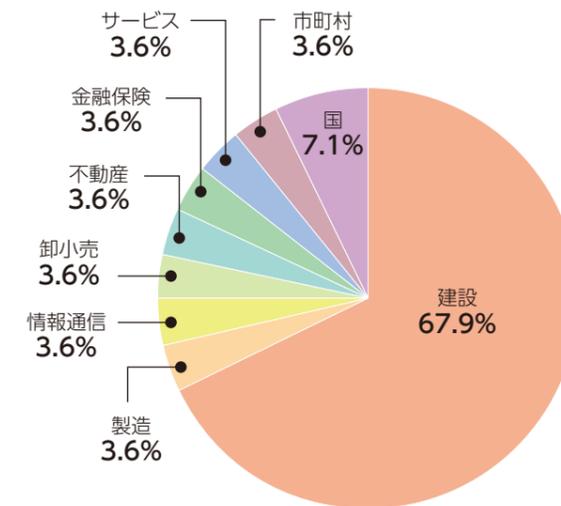


ワークショップの様子

[卒業後の進路]

建築・構造・設備各関係の設計事務所、住宅・建築・不動産開発などの会社の企画・技術者、家具やインテリア製品メーカーの企画・デザイナー、建築材料・機器メーカーや流通部門でも専門スタッフなどのほか、国・都道府県をはじめ自治体の上級・専門職への道が拓かれています。大学院進学者も多数います。

業種別就職状況(2022年度)



主な進路一覧(2020~2022年度)

● 就職

【建設】アウテリアタイガー、旭化成ホームズ、アーネストワン、アネシス、新井組、上村建設、梅林建設、エバーフィールド、オカモト、カワゴエ、グリーンライフ産業、コスモホーム、シアーズホーム、昭和、新産住拓、スペースエージェンシー、すまい工房、住友林業、積水ハウス、大和ハウス工業、タカスギ、谷川建設、東宝ホーム、ニッカホーム、ニッポン工業、日本ビルケア、PAAK DESIGN、パナソニックリビング九州、洞口ネイエ設計、ポラス、MACRI、ミサワホーム九州、水野建設、村上建築設計室、山本建設、悠々ホーム、和久田建設

【製造】コイズミスタジオ、コイズミ照明、三冷社、三友機器、日鉄鋼板

【情報通信】DYM、Qt net、ゼネラルアサヒ、KIS、TIS長野、アイ・ティー・エックス

【卸小売】アクタス、アダル、コスモス薬品、三菱電機住環境システムズ、リビングハウス

【金融保険】熊本県市町村共済組合、熊本県農業共済組合、肥後銀行

【不動産】カチタス、明和不動産、別大興産、不動産SHOPナカジツ

【サービス】UTグループ、エーワンコンサルタント、総合資格、大和リース、ツクイ、有価物回収協業組合石坂グループ

【市町村】恵那市、益城町

【国】海上保安庁、九州財務局、陸上自衛隊

● 進学

熊本県立大学大学院環境共生学部研究科、熊本大学大学院自然科学教育部土木建築学専攻、千葉大学大学院融合理工学府創成工学専攻建築学コース、ECC コンピュータ専門学校、奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科



[勤務先] 株式会社丹青社

2019年3月
環境共生学部居住環境学科卒業
2021年3月
環境共生学研究科環境共生学専攻修了
中村 きららさん
(鹿児島県立川内高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

将来建築士の資格を取りたいと思い、建築士の受験資格が取得可能である本学科に進学しました。

本学科では、建築設計だけでなく、建築を取り巻く都市環境や設備環境など、フィールドワークや実験を通して広く学ぶことができます。私は特に意匠設計に興味があったので、「居住環境デザイン実習」での設計課題を通して、自分の好きな建築を図面上で表現できることが楽しかったです。

学生生活ではサークル活動で地元のお祭りの演目でダンスをしたり、研究活動の一環で研究室の仲間たちと台湾へ行き、現地の大学生と合同フィールドワークをしたりしました。その中でも、学部3年生のときに行った白亜祭の中庭プロジェクトは、東屋やベンチを作ったり、廃材を使ってアクセサリを製作して販売したり、ものづくりの楽しさを知るきっかけとなりました。

現在はその経験から様々な空間を手掛けることのできる会社で現場管理として働いています。専門的な打ち合わせやCADでの図面作成など、講義の中で得た知識はもちろん、設計課題や研究を通して身につけたスケジュール管理や、人に言葉で伝える力は今現在とても活かされていると思います。

入学される方には、大学生活を楽しむことはもちろんですが、自由に使える時間がたくさんあるので何か一つでも資格取得のための勉強をやってみることをお勧めします。遊びでも勉強でも行動すれば何かしらの学びはあります。本学でひとつでも多くの学びがあることを願っています。

食健康環境学専攻

Division of Food & Health Environmental Sciences,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences

管理栄養士国家試験
合格率100%
(3年連続)



[専攻の特色]

“食”を通じて“健康”を、“環境”を通じて“食”を考える

食健康環境学専攻では、食品の機能、人体の構造と機能、栄養素の体内での代謝、食生活改善による生活習慣病の予防、疾病時の栄養管理、バイオテクノロジーと食品開発、食品の安全性と健康、身体活動と健康管理、食糧生産など、食料・健康・環境にかかわる諸問題を科学的に解明し対処するための知識と実践力を養います。

また、フィールドワークや多数の実験・実習科目を通して、基礎知識を確実に身につけ、さらに応用力や創造性を高めることをめざします。

高度な教育・研究の推進によって多分野で活躍できる人材を育成

本専攻では「人と社会と自然との共生」の視点から、自然環境へやさしく、地域の環境特性を反映した「食と健康」について高度な教育・研究を行い、食と健康、食料を取り巻く環境問題、生命科学、バイオテクノロジーなど、“食”を総合的かつ多面的に掘えることができる『食のスペシャリスト』を養成しています。このほか管理栄養士養成施設として、管理栄養士を養成するだけでなく、食と健康に関する高度な知識と実践の方法を学びながら、問題解決能力と研究能力を高め、応用力のある管理栄養士の輩出をめざしています。

[食健康環境学専攻 4年間の学び]

食健康環境学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より一部抜粋

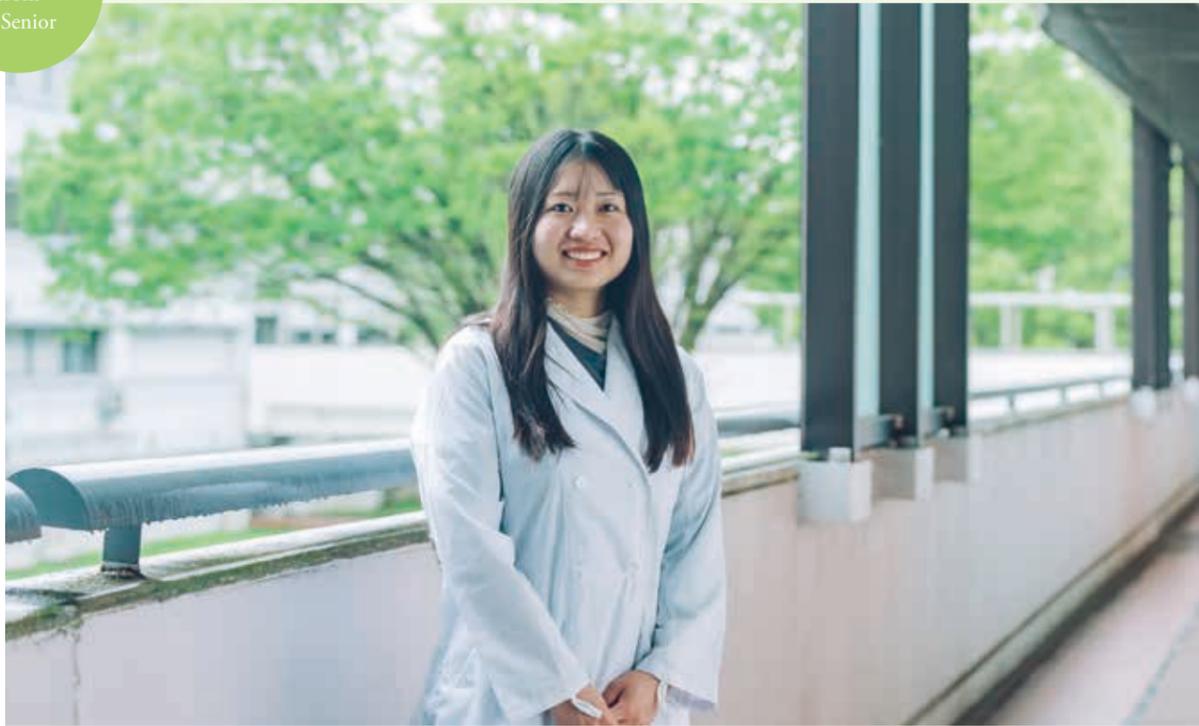
- 1 自然科学に関する基礎的知識を基にして、専門分野における知識と技術の修得が可能となる科目を、段階的に、総合的に学修できるように配置しています。特に、大学教育で得られた知識をもとに自ら考え、発展させる能力や、レポート作成、プレゼンテーション能力などを養うことを目指し、実験・実習・演習科目を重点的に配置しています。
- 2 食・健康・環境に関わる様々な問題を国際的な視野をもち、地域の立場から、自ら発見し解決する思考力・判断能力を修得するための科目を配置しています。
- 3 自然環境や地域の環境特性を反映した地域住民の健康づくり、疾病の予防・治療、食品開発などに寄与できる技術や態度を修得できるように、食品の機能、人体の構造と機能、栄養素の体内での変化、食生活と生活習慣病予防、疾病と栄養、バイオテクノロジーと食品開発、食品の安全性と健康、身体活動と健康管理、食糧生産などに関連する科目を配置しています。
- 4 基礎科目では、食品、栄養、運動および健康を学ぶための基礎となる化学と生物学に関連する科目ならびに物理学、統計学を含む科目を設置しています。展開科目の食環境関連科目では、食をめぐる環境に関し、食品の物理・化学的性質と調理・加工・流通にともなう変化ならびに食品の安全性を理解した上で、環境と共生できる食資源の開発・利用を学ぶ科目を配置しています。また、展開科目の健康環境関連科目では健康をめぐる環境に関し、食品機能・栄養化学、解剖・運動生理など、人体の構造・機能を理解した上で、食や運動を通じた健康管理・増進について学ぶ科目を配置しています。

[開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学 科 共 通 科 目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
		情報処理実習		環境共生総合演習	
専 門 科 目 群	基礎科目	生物学 / 生物学実験 / 基礎化学 化学実験 / 生命有機化学 有機化学 / 生化学 / 物理学	物理学実験 / 統計学 / 統計学演習	生化学実験 / 応用情報処理実習	
	食環境	調理学 / 調理学実習 / 食品学総論 / 食品化学 / 環境衛生学 / 作物生産学 / 食文化論 食資源開発学 / 食品学各論 / 植物食資源学 / 食品製造学 食品微生物学 / 食品分析学 / 食品分析学実験 / 食品加工学 / 食品加工学実験 / 食品バイオテクノロジー 食品バイオテクノロジー実験 / 食品衛生学 / 食品衛生学実験 / 食品保存学 / 食品安全性学			
	健康環境	解剖生理学 / 栄養教育論 / 環境生理学 / 環境生理学実習 / 栄養学総論 / 解剖生理学実験 / 栄養学実験 発育発達運動学 / 栄養生化学 / 栄養学各論 / 栄養教育論実習 / 栄養指導論 / 生体防御学 給食経営管理学 / 臨床医学概論 / 健康管理学 / 栄養運動生理学 / 栄養運動生理学実習 ライフステージ栄養学演習 / 栄養機能性学 / 給食管理実習 給食経営管理臨床実習 / 公衆栄養学 / 疾病論 / 栄養情報管理学 / 臨床栄養学実習 / 臨床栄養学実習 生活習慣病予防学 / 臨床栄養学実習 / 公衆衛生学 / 臨床治療学実習 / 臨床栄養学実習 / 臨床栄養学実習 地域栄養学実習 / 公衆栄養学実習 / 臨床外科栄養学 / 実践栄養学総合演習 臨床栄養治療学 / 臨床代謝栄養学			
卒業研究					卒業論文

取得資格

所定の科目を履修することで栄養士免許が取得でき、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。また、教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)、栄養教諭一種免許状が取得できます。食品衛生監視員及び食品衛生管理者(任用資格)の取得も可能です。



環境共生学部環境共生学食健康環境学専攻4年 村山 絢さん (宮崎第一高等学校出身)

私が高校生の頃に進路を決定する際、自分は何が好きで何に興味があるのか考えた時に、一番に「食」が思い浮かびました。私は食べることや料理をすることが好きなことに気づき、食について学び、食を通して社会貢献ができればいいなと思い、本専攻を志望しました。本専攻では、栄養や食品について、疾病・運動・バイオテクノロジー・食育等の多面的な観点から学んでいます。実習や実験も多く、座学の講義で学んだ知識を、実習や実験で実践しています。例えば、臨床栄養学の講義で、高血圧の治療食は食塩を6g/日に制限する根拠を学び、臨床治療食実習で、実際に食塩6g/日の食事を作ります。給食管理実習では、献立作成、食材発注、大量調理、提供までの一連の流れを自分たちで行い、管理栄養士としての実践力を身につけることができました。自分たちで完成させた食事を、専攻のみんなと食べることはとても楽しくやりのがありました。

また、毎年文化祭で本専攻の3年生が手作りお菓子を販売しています。私たちはイタリアのお菓子「ビスコッティ」を作って、3年生一丸となって、学内や地域の方への販売を成功させることができました。

本専攻は1学年の人数が約40名と少ないため、同学年だけでなく、先生方、先輩、後輩との距離が近く、専攻内でのつながりの強さが魅力です。昨年はバレーボール大会を実施して専攻全体のつながりが深まりました。

学業以外ではアルバイトや趣味に時間を当てています。科目数だけでなく実習や実験も多く大変なこともありますが、自由な時間も充実した大学生活を送っています。

本専攻で取得する知識や実践力を生かした管理栄養士等の職業は、人々にとって欠かせない「食事」を通して、人々の健康を支える重要な役割を担っています。皆さんも本専攻で食に関する学びを深め、様々な分野で活躍する食の専門家を目指しませんか。



生物学実験B



食品バイオテクノロジー

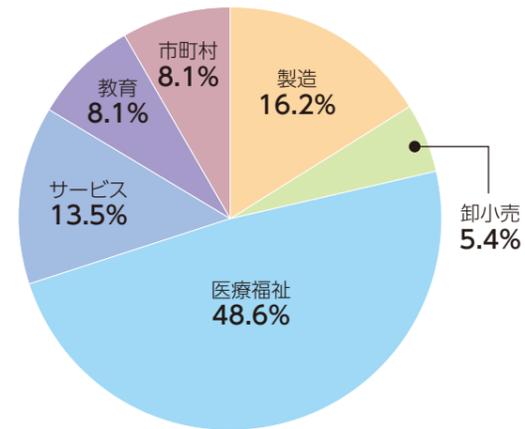


栄養運動生理学実習

[卒業後の進路]

環境共生学部の理念のもと、「食」と「健康」、そして「環境」について学んだ卒業生は、ある特定の分野に限らず、さまざまな方面で活躍しています。進路は、食品・医療・健康関連企業、病院・保健所・福祉施設・小中学校などでの管理栄養士業務や研究開発業務、行政機関（保健・福祉・食品・環境分野）、教職（理科・家庭・農業・栄養）などへの道が拓かれています。

業種別就職状況(2022年度)



主な進路一覧(2020~2022年度)

● 就職

【製造】アヲハタ、一番食品、五木食品、オオヤブデイリーファーム、カネヨウ海藻、唐十、九州乳業、久原本家グループ、熊本県酪農業協同組合連合会、熊本製粉、KMバイオロジクス、三協デリカ、シマヤ、タイヘイ、ダイショー、てまひま堂、久光製薬、フランソア、マルキン食品、山崎製パン、ヤヨイサンフーズ

【卸小売】アステム、大寫屋、大森淡水、システムワレオ、新生堂薬局、鶴屋百貨店、ドラッグストアモリ、西日本フード、西原商会グループ、ハウデイ、ヤマエ久野、ロッキー

【医療福祉】あおば歯科クリニック、朝日野総合病院、麻生飯塚病院、大林歯科小児歯科医院、鹿児島大学病院、熊本赤十字病院、熊本大学病院、熊本中央病院、熊本県総合保健センター、くまもと健康支援研究所、新東京病院、光晴会病院、済生会熊本病院、桜十字八代リハビリテーション病院、鳥根大学医学部付属病院、寿楽園、新別府病院、正勇会、スマイリング・パーク、たていけ至福の園、田主丸中央病院、たつだ保育園、土井リハビリテーション病院、永富調剤薬局、西日本病院、日本調剤、馬場病院、ユニメデイコ

【サービス】一富士フードサービス、ウィルオブ・ワーク、エームサービス、ABCクッキングスタジオ、日清医療食品、パーソナルキャリア、富士産業、モード・プランニング・ジャパン、ラヴァインターナショナル、LEOC

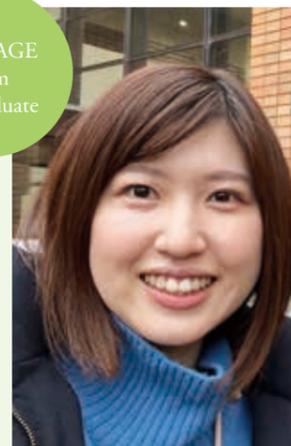
【教育】熊本中央高等学校、熊本県教育委員会

【県】愛媛県、大分県、鹿児島県、宮崎県

【市町村】熊本市、国富町、広島市、福岡市、枕崎市、山鹿市、横浜市

● 進学

熊本県立大学大学院環境共生学研究科、金沢大学大学院医薬保険学総合研究科医科学専攻、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究部



[勤務先]

株式会社タニタ

2014年3月
環境共生学部食健康科学科卒業

甲阪 絢佳さん
(鹿児島県立加治木高等学校出身)

幼い頃から食べるのが好きで、「病気を予防し、健康な人を増やすことに貢献できる仕事をしたい」という夢を叶えられる「管理栄養士」という職業に魅力を感じ、本学科に進学しました。

本学科では栄養士免許や管理栄養士の受験資格だけでなく、教員免許(理科・家庭科・栄養)や食品衛生監視員の資格を取得できます。講義だけでなくレポートや課題に追われて、勉学に苦勞した経験も多々ありますが、夢に向かって勉学に励む友人たちに刺激をもらい、充実した毎日を送れたことを覚えています。

卒業後は健康計測機器メーカーに入社し、営業や飲食店での調理・接客、政府機関への出向等、さまざまな業務を経験しました。現在は、広報業務や食品の監修・開発等を担当しています。また社内の管理栄養士・栄養士の資格を持つ仲間と一緒に、アスリートの栄養サポート、栄養に関するコラム執筆や講演などを行っています。どの仕事も本学科で学んだ知識はもちろん、教育実習や卒業研究時に培ったプレゼンテーション力等、在学時の数多くの経験が礎になっていると感じています。

学生生活での経験は、今後の皆さんの人生にとって大きな財産になるでしょう。勉学はもちろん、サークルやアルバイト、旅行、留学など、貪欲に楽しんでください。そして、それらを通して出会った仲間を大切にしたいと思っています。

総合管理学部

Faculty of Administrative Studies

行政から企業まで、活躍の場を選ばない「総合管理能力」を究める

総合管理学部は、多様化、複雑化してきた社会の諸問題を、総合的に捉え、解決していくため、社会学、行政学、社会福祉学、経営学、情報学などを統合・体系化した総合管理（アドミニストレーション）学を専門的に教育・研究することを目的とします。

[アドミッション・ポリシー] ~総合管理学部はこのような人を求めています~

総合管理学部は、社会的諸課題を正しく捉え、それを実践的に解決していくことを学ぶ社会科学系の学部です。社会的諸課題を解決していく実践的な人材養成に向けて、学部の入学受け入れ方針を次のように定めます。

- ① 社会の諸課題に興味を持ち、それを解決していこうとする意欲と態度を備えている人
- ② 課題解決のために、他者と協調的に活動していける人
- ③ 課題を正しく把握するために、多様な視点で柔軟に考えていける人
- ④ 多様な知識とスキルから成る総合管理を学ぶために、高校までの幅広い基礎学力を持っている人



総合的な学び

Basic Administrative Study

×

専門性 MAJOR

公共専攻 Division of Public Administration

これからの公務員やNPOに求められる行政、法律、政策、福祉等の知識を学び、協働的に社会的諸課題を解決する。

ビジネス専攻 Division of Business Administration

経済学や経営学の分野に軸を置きながら、多様なフィールドを多角的・学際的に捉え、イノベティブに社会的諸課題を解決する。

情報専攻 Division of Informatics

情報による社会的価値の創造を中心に最先端の原理と技術を社会に応用し、クリエイティブに社会的諸課題を解決する。

高度な課題解決人材育成

大学院
(アドミニストレーション研究科)
については→P57

◎2025年度入学定員及び募集人員

総合管理学部	入学定員	募集人員								
		一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜					
		前期	後期		学校推薦型選抜		留学生・帰国生徒 社会人			
学科	総合管理学科	280名	A方式 30名 B方式 60名	A方式 40名 B方式 50名	50名	50名	-	-	全学で2名以内	若干名

A方式：大学入学共通テスト6教科利用
B方式：大学入学共通テスト4教科利用

[学部の特色]

1 これからの時代に必要不可欠な「総合管理」、1年次から理論と実践の両輪を学ぶ

「総合管理」とは何なのか？ まずはその基礎をしっかりと学び、理解することが大切です。その土台の上に課題解決に必要な幅広い知識を修得し、実践的な演習を繰り返すことで、「総合管理能力」を発揮する人材を育成することが可能となると考えます。理論と実践、その両輪を本学では1年次から一貫して学ぶことができます。

- 1年次に「総合管理学」を設置、その体系を理解し学ぶ
- 課題解決に必要なさまざまな知識修得のための必修・選択科目群を設置

2 1年次から卒業まで一貫して、PBLなど少人数でのアクティブラーニングで実践力強化

教員からの一方的な講義で「知識」を得ることだけでなく、学生たちが主体的に参加、トライ&エラーを繰り返しながら、仲間と一緒に深く考えながら課題を解決する力を養っていくアクティブラーニング形式の演習で実践力を磨きます。PBL (Project-Based Learning: プロジェクト型学習) など、少人数での議論やグループワークでの学修に、全学生が1年次から取り組みます。

- 全学生が1年次から演習形式のアクティブラーニング
- 2年次後期から4年卒業まで各専攻のゼミに所属し、少人数で深く学ぶ

3 多様な知と実践力で公共、ビジネス、情報など360度さまざまな分野での「総合管理能力」を身につけられる

マネジメントやリーダーシップを学べる大学は他にもたくさんあるでしょう。しかしそれだけでは、ますます複雑化する世の中の課題解決には不十分です。多様な知と実践力を伴った「総合管理能力」を有した人材が切実に求められるのです。

- さまざまな分野・領域で「総合管理能力」を応用、展開
- いろいろなことを学び、「総合管理能力」で未来へ飛躍

[学部長からのメッセージ]

総合管理学部は、社会的な課題を創造的に解決し、地域社会及び国際社会への貢献を目指す人材の育成を目的としています。多くの社会的課題は、個人だけでは解決が困難であり、複数の人々や組織が協力することが不可欠です。これを達成するには、協働をうまく促進できるリーダーが必要です。そのための理論やマネジメント手法を学ぶのが「総合管理学」です。

総合管理学部では、1年次から段階的に総合管理を学べるカリキュラムが設計されています。このカリキュラムは、理論と実践のバランスを重視しており、アクティブラーニング形式の演習を通じて、実践的な状況での課題解決技法を学びます。さらに、令和6年度からは専攻制を導入しており、学生は2年生の後期から公共専攻、ビジネス専攻、情報専攻のいずれかを選択します。専攻選択後は、関連する講義や演習に加え、専門研究や同専攻の学生との共同学習の機会が増えます。

また、熊本県立大学では、全学部生に対し、情報化・国際化する社会への対応として情報通信技術や外国語の習得を必修としています。特に英語教育においては、TOEIC®受験を推進し、データ駆動型社会に向けたデータサイエンス教育にも力を入れています。

外国語、情報技術、データサイエンスのスキルを兼ね備え、総合管理の理論と実践を身につけた皆さんが、選んだ専攻を通じて社会的課題を解決するリーダーとして将来、活躍することを期待しています。熊本県立大学のキャンパスでお会いできる日を楽しみにしております。

総合管理学部長 宮園 博光



MESSAGE from the Dean

総合管理学部 4年間の学び

- 現代社会に相応しい市民性を涵養するための共通科目群と、総合管理の理論と方法の修得のための専門科目群で教育課程を編成しています。
- 専門科目群は、総合管理科目、基幹科目、展開科目、演習科目・卒業論文を体系的に配置して編成しています。

取得資格

教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状（社会）・高等学校教諭一種免許状（公民、商業、情報）を取得できます。



	1年	2年	3年	4年	
共通科目群	■基幹科目 外国語／健康スポーツ科学／情報処理とデータサイエンス／キャリアデザイン／地域理解とリーダーシップ				
	■教養科目 人間と文化／自然と環境／社会と世界				
専門科目群	総合管理を学ぶ				
	■演習科目 さまざまな知識やメソッドを活用し、自らの問題意識でテーマを設定し、課題解決に向けて取り組む				
	プレゼминаール（共通科目群）	専攻基礎演習	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ-1 専門演習Ⅱ-2	専門演習Ⅲ-1 専門演習Ⅲ-2
	■総合管理科目：総合管理の基礎を理解する 総合管理学Ⅰ／Ⅱ 総合管理学Ⅲ				
	■展開科目：所属する専攻を中心に、学生の興味や関心に応じて選択できる科目 統計学Ⅱ／社会調査法Ⅰ・Ⅱ				
	■基幹科目 総合管理を実践するスキルおよび多様な分野へと展開していく土台となる科目	公共専攻 2年次開講科目 憲法Ⅰ・Ⅱ／民法Ⅰ・Ⅱ／労働法／ビジネスと法Ⅰ／行政学Ⅰ／財政学／公共政策論Ⅰ／地方自治論／国際関係論／社会福祉学		3年次開講科目 【法律】 行政法Ⅰ・Ⅱ／民法Ⅲ／ビジネスと法Ⅱ／社会保障法／生命倫理と法 【政治・行政】 行政学Ⅱ／行政組織論／公共政策論Ⅱ／政策実践論／参加協働論／国際システム論／地域研究／比較政治論 【健康・福祉】 保健医療福祉論／家庭福祉論／福祉政策論	
	共通／必修 公共と社会／経済学／情報イノベーション学Ⅰ(現代社会と地域情報)／情報イノベーション学Ⅱ(現代社会と半導体)	情報専攻 2年次開講科目 プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ／地域と情報／データベース／情報セキュリティ基礎／情報システム		3年次開講科目 その他、指定された連携開設科目 【実践英語】 実践英語Ⅰ・Ⅱ 【人間情報】 メディア情報処理／人工知能／自然言語処理／対話情報処理 【システム情報】 通信ネットワーク／アルゴリズムとデータ構造／プログラミング演習Ⅲ／サイバーフィジカルシステム 【社会情報】 情報ネットワーク社会／情報社会と職業／データ可視化／応用情報処理実践	
	共通／選択必修（この中から3科目以上） 政治学概論／法学概論／経済学／簿記概論／情報学／統計学Ⅰ／情報処理基礎演習	ビジネス専攻 2年次開講科目 ミクロ経済学／マクロ経済学／計量経済学／金融論Ⅰ／マーケティング／人的資源論／経済戦略論Ⅰ／ビジネスマネジメント／簿記Ⅰ・Ⅱ／原価計算論		3年次開講科目 【組織・戦略】 経営戦略論Ⅱ／経営組織論／消費者行動論／社会的企業論／ベンチャービジネス論／アントレプレナーシップ 【会計・財務】 経営分析論／管理会計論／財務会計論／証券投資論／企業金融論 【経済・金融】 流通経済論／産業組織論／ビジネスデータ分析／金融論Ⅱ／公共経済学	
	コミュニケーション論／社会倫理	卒業論文			
	動きの ▲ 専攻配属 (1年次末に希望調査) ▲ ゼミ配属 (2年次後期から)				

指定された連携開設科目：インストラクショナル・デザイン基礎、デジタルマーケティング



総合管理学部総合管理学科(情報)4年 秋岡 菜々子 さん (熊本県立熊本北高等学校出身)

総合管理学部・情報分野の飯村研究室にて、「テクノロジーの力で地域や社会が抱える課題解決」に取り組んでいます。入学時、情報分野に関する知識はありませんでしたが、恵まれた環境と仲間のおかげで、日々充実し学習し続けています。

2023年には、米Appleが主催する世界中の学生デベロッパが開発したアプリを披露するコンテストに挑戦し、入賞することができました。入賞後には、米Appleのティム・クックCEOに英語でプレゼンするというグローバルな経験ができ、これらは自分自身の視野を大きく広げ、私の人生に大きな影響を与えてくれました。また、地域に根ざした研究活動にも積極的に取り組んでおり、熊本の自治体等と連携した様々なプロジェクトを企画し運営しています。これらの実践的な研究活動を通して、何事にも勇気を持って挑戦することの重要性を学びました。挑戦することで得られる経験は、自分自身の成長につながります。大学生活は自由な時間が増えるため、時間の使い方や受け身ではない主体的な行動が求められます。

そして、学習以外でもアルバイトや趣味など、今しかできない充実した生活を送っています。総合管理学部は、1・2年次に幅広い分野を学び、その後自分の興味のある分野を専攻できることが魅力だと感じています。総合管理学部で、あなたも新しい一歩を踏み出し、地域や世界を舞台に挑戦してみませんか。



総合管理学部総合管理学科(公共)4年

島津 菜々 さん

(熊本県立人吉高等学校出身)

総合管理学部では、公共、情報、ビジネスの3つの分野の学びを通し幅広い知識を得られるため、多角的な視点を持った人材になれると感じて本学部を志望しました。今は、公務員志望なので主に法学や地方自治について学んでいます。

本学には「もやいすと育成プログラム」という独自のプログラムがあります。1年次には「もやいすとジュニア育成」を受講し、「地域」か「防災」のどちらかを選択してグループワークを行います。私は「防災」を選択したのですが、令和2年7月豪雨を題材にして、災害時に発生した問題等について意見を出し、話し合って解決策を導き出すという講義内容でした。防災に関する知識を学べただけでなく、解決策を導くまでの過程自体がとても良い経験になったので、この講義はとても印象に残っています。

学生生活以外では、地域づくりに注力しており、人吉球磨地域を拠点としてイベントの開催や食育を通して地域活性化を行う団体を立ち上げて活動しています。学業との両立など大変なことも多いですが、学べる事も多くとても面白いです。

本学には、専門的な勉強ができるのはもちろんのこと、自分のやりたいことに挑戦できる時間や環境があります。本学部に入学して、やりたいことや学びたいことに全力で打ち込み、皆さんが充実した学生生活を送れることを心から願っています。



総合管理学部総合管理学科(ビジネス)3年

杉谷 美咲 さん

(熊本マリスト学園高等学校出身)

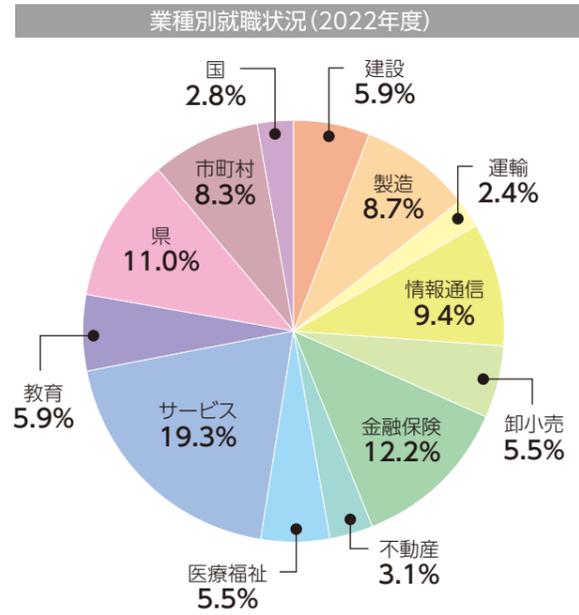
物事を多角的に捉えることが好きだった私は、幅広い分野で勉強ができる本学部を志望しました。現在は、会計の知識を使いながら経営を多面体に捉える工夫を学べる望月ゼミに所属しており、他大学との合同発表会に向けて仲間と共に企業分析に励んでいます。このように学部で専門的に学ぶと同時に、グロー

バルな視点を身につけることができる「もやいすとグローバル育成プログラム」に参加しています。熊本やその他の地域の文化、社会問題について英語で学ぶことができ、TOEIC® 対策や英語でのプレゼンテーションを重ねることで自分自身が成長していることを実感し、自信ができました。現在は、カンボジアでのインターンシップに向けて手厚くサポートして下さる教授や同じ志を持った友人と準備を重ねているところです。国際的な交流や文化交流の中でコミュニケーション能力や幅広い視野を培うことができることもこのプログラムの魅力であると感じています。学生生活では、自分のために使える自由な時間が増えるため、新しい趣味を見つけたりアルバイトをしたり、時間を無駄にしないように充実させています。

受験における不安は尽きないと思いますが、諦めず努力を継続することが大切です。明るい大学生活を送るために自信を持って受験勉強を頑張ってください。

[卒業後の進路]

国家公務員、地方公務員はもとより、民間では銀行、生保、損保、病院、旅行会社、航空会社、テレビ局、不動産、学校、メーカー、サービス、流通と就職先は多岐にわたっています。



主な進路一覧(2020~2022年度)

● 就職

【建設】一条工務店、エクシス、木村建設、九電工、九州開発エンジニアリング、共同エンジニアリング、桑畑建設、建設プロジェクトセンター、さかぐち、佐藤企業、シアーズホーム、松楽パナホーム熊本、新産住拓、すまい工房、セキスイハイム九州、大政建設、DADA建築企画研究所、電盛社、東宝ホーム、ニチレキ、NEO、ハウスインノベーション、ハウジングプラザ、原田木材、フジ化成、メタウォーター、リブワーク、ワイテック

【製造】アイリスオーヤマ、アヤボ、アントルメ果樹、F・Oインターナショナル、木村、九州オーエム、熊本県果実農業協同組合連合会、熊本酸素、熊本製粉、KMバイオロジクス、小松製作所、再春館製菓所、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing、タイヘイテクノス、津具屋製菓、東京エレクトロン九州、東京応化工業、DOUBLEK、日本リモナイト、NOK、肥後ポリエチレン、富士薬品、不二ライトメタル、フロウエル、フンドーダイ、ホーコス・アスリード、ホシザキ北九、マキタ、丸美屋、MOLDINO、安川オートメーション・ドライブ、ヤマハ熊本プロダクツ

【運輸】九州産交運輸、共同、サカイ引越センター、日本郵便

【電気・ガス・水道】日本ガス、南九州マルキ

【情報通信】RKKCS、アイソルト、ISIDインターテクノロジー、麻生情報システム、安心計画、イノス、イリオスネット、インフォセンス、ウイナス、NTTコミュニケーションズ、エヌ・ティ・ティ・データフィナンシャルテクノロジー、NIK、NSW、愛媛新聞、大分シーイーシー、オリゾンシステムズ、学映システム、カナオビ、兼松エレクトロニクス、ギミック、九州デジタルソリューションズ、九電ビジネスソリューション、共栄システムズ、熊本計算センター、くまもと経済、クラッキ、KIS、コスモネット、コマス、これから、サードウェーブ、再春館システムズ、サイジスタ、GMOインターネットグループ、シエルシステム、SYSKEN、ジョウツウ、スフィアダクロス、ソフトウェアビジョン、地方公共団体情報システム機構、TYO、TKC、D.Ace、ポート、DNS、テクノクリエイティブ、デフィダ、電盛社、東京海上日動システムズ、トヨタシステムズ、トラストリンク、ナレッジコミュニケーション、西日本電信電話、日鉄ソリューションズ、日本ユニシス、BTV、ピーテック、日立ソリューションズ西日本、FIXER、富士ソフト、富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ、フレネットシステムズ、フロイダ、ホンダコムテック、三菱電機インフォメーションシステムズ、宮崎放送、メディアサイト、RITAグループHD、ワイイーデジタル

【卸小売】愛歯、愛知日産自動車、アステム、アントルメ果樹、イオン九州、イオンリテール、ウィークス、エフ・ディ・シィフレンズ、オオバ、大葛屋、鹿児島トヨペット、鹿児島ダイハツ販売、キタムラ、木村、キャン、キャンシステムアンドサポート、九州ケーズデンキ、グッディ、クマモト敬和、熊本ダイハツ販売、熊本トヨペット、ゲオホールディングス、興農園、コスモ薬品、コネクシオ、JR九州リテール、ジャパンネットワークグループ、ジャパンネットホールディングス、ジンマー、バイオメット合名会社、生活協同組合くまもと、ダイレックス、タカミヤ、ツルハグループ&ファーマ

シー西日本、鶴屋百貨店、T-LIFE、トモズ、トライ産業、西原商会、ネクステージ、パナソニックコンシューマーマーケティング、ビッグモーター、ビックカメラ、ビバホーム、ヒラタ、フジック、フタバ、勉強堂、丸菱ホールディングス、マルキョウ、メガネの大宝堂、山崎文栄堂、ヤマダホールディングス、ユナイテッドトヨタ熊本、ヨネザワ、リコージャパン、良品計画、ロッキー、YSKホールディングス、渡邊パイプ

【金融保険】あいおいニッセイ同和損保保険、朝日生命保険、天草信用金庫、大牟田信用金庫、鹿児島信用金庫、鹿児島銀行、九州労働金庫、熊本中央信用金庫、熊本銀行、熊本県信用組合、熊本信用金庫、熊本県信用保証協会、熊本第一信用金庫、熊本県農業共済組合、熊本中央金庫、熊本県民共済生活協同組合、国家公務員共済組合連合会、全国共済農業協同組合連合会熊本県支部、ソニー損害保険、大熊本証券、第一生命保険、高本損害鑑定事務所、東京海上日動コミュニケーションズ、東京海上日動火災保険、日本生命保険、日本郵政、日本カストディ銀行、肥銀カード、肥後銀行、ペイペイカード、三井住友信託銀行、明治安田生命保険相互会社、楽天カード、りそな銀行

【不動産】AoYama、アサンテ、穴吹興産、エイブル、奥羽興産、カチタス、カーノファンティーズ、熊本地所、クレアスライフ、ケイアイスター不動産、コスギ不動産、心友不動産、すがコーポレーション、大和リビングマネジメント、T-trust、9GATES、プレミアムライフ、プロフェッションサービス機構、三井不動産リアルティ九州、明和不動産

【医療福祉】アズパートナーズ、いろどり歯科くも歯科クリニック、熊本中央病院、熊本市医師会、熊本セントラル病院、熊本赤十字病院、熊本地域医療センター、熊本県歯科医師会、高齢障害求職者雇用支援機構、国立病院機構九州グループ、くもみらいラボSAI、済生会熊本病院、再春館製菓所、慈恵病院、社会保険診療報酬支払基金、スーパー・コート、全国健康保険協会、大輪会、長野赤十字病院、熊本県赤十字血液センター、ひまわり、ヘルスケアシステムズ、くわみず病院、メディカル・データ・ビジョン、メディカル・ケア・サービス、社会福祉法人もみの木園、ゆうしん

【サービス】IQキッズ、アウトソーシング、アクセンチュア、アスパーク、阿蘇農業協同組合、阿蘇森林組合、アソウアルファ、麻生、あつまるホールディングス、アパホテル、ELJソーラーコーポレーション、石井養鶏農業協同組合、イタックス、岩崎産業、SRL、EVAND、エム・シーネットワークスジャパン、大塚商会、オートバックスセブン、オラフズ、鹿児島県土地改良事業団連合会、金井大道具、上益城農業協同組合、川六、広東 旅館みな和、九州テクニカルメンテナンス、九州産交ツーリズム、Qsol、近代経営、グッドハート、クボタ環境サービス、熊本市農業協同組合、熊本ホテルキャッスル、球磨地域農業協同組合、熊本県農業協同組合、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本学習支援センター、熊日広告社、熊本県商工会連合会、熊本国際空港、GROP、KBCメディア、コンベンションリネージュ、サーキュレーション、さくら優和パートナーズ、サントリービバレッジソリューション、シーエスエス総合舞台、JECC、スチームシップ、生活協同組合くまもと、関屋リゾート、セクラ、セルモ、総合企画、ダイナム、玉名農業協同組合、チュチュアンナ、DYM、DNS、天水総合カンパニー、トランスコスモス、トライトキャリア、ナノヒューマンプロモーション、成音、にしけい、西鉄エアーサービス、日本年金機構、日本郵政コーポレートサービス、パーソルワークスデザイン、ハイコムグループ、博報堂アイ・スタジオ、ヒューマンウェイブ、ヒューマンリソシア、ヒューマンライフ、PIKAICHI、ピラミッドフィルムクアドラ、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン、フジブラ、BOOK MARUIE、プラフィ、プレナス、ホテルジャパネスク福岡、マーキュリー、マイナビ、マイナビワークス、マッシュ、宮崎県森林林業協会、都城森林組合、ゆうプランニング、U-Tエイム、ユーコー、ライザップグループ、ライフジャパン、楽天グループ、リクルート、竜之介、理由、ルネサンス、ローカル、ワールドインテック

【教育】アイオ、英進館、愛媛県教育委員会、熊本大学、熊本市教育委員会、熊本学園大学、熊本学園大学付属高等学校、生活と教育、崇城大学、タップカンパニー、鳥取県教育委員会、長崎県教育委員会、ベッピーキッズクラブ

【県】鹿児島県、鹿児島県警察本部、京都府、熊本県、熊本県警察本部、警視庁、佐賀県、東京都消防庁、長崎県、広島県、福岡県警察本部、宮崎県【市町村】天草市、岩田市、宇城市、宇土市、大津町、小国町、上天草市、菊池市、菊陽町、北九州市、霧島市、熊本市、熊本市消防局、呉市、合志市、薩摩川内市、玉名市、津奈木町、西原村、錦町、西東市、永川町、人吉市、益城町、南九州市、宮崎市消防局、八代市、山鹿市

【国】海上自衛隊、九州農政局、九州厚生局、熊本労働局、熊本地方検察庁、熊本国税局、熊本地方財務局、国税局、国立病院機構福岡東医療センター、長崎地方財務局、長崎税関、陸上自衛隊

● 進学

熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科、熊本大学大学院教育学研究科教職実践開発専攻、熊本学園大学会計専門職大学院、熊本防災看護専門学校、東北大学大学院経済学研究科会計専門職専攻、情報セキュリティ大学院大学、日本福祉大学通信教育学部医療・福祉マネジメント学科、北陸先端技術大学院大学

MESSAGE from a Graduate



【勤務先】
熊本県

2022年3月
総合管理学部総合管理学科(公共)卒業
入田 もも さん
(熊本県立八代高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

私は、熊本県庁に入庁することを目標としていたため、県庁輩出者が多い本学部に進学しました。

本学部には元県職員の教員が多く、講義に現役の県職員を招く事もあり、学内で県職員の方と関わる機会が多いです。それらの講義や講演を通じて、県庁で働くには幅広い知識が必要だと感じたため、法律や簿記、プログラミングなど広範な講義がある中で、意識的に幅広く受講していました。

学業以外では、熊本地震に係る復興支援に携わっていました。被災された方々のメンタルケアを目的として、復興仮設団地でイベントの企画・開催をしていました。そこで被災者の現状や生の声を目の当たりにし、どうすればより良いイベントに出来るか、何度も試行錯誤をしたことで、政策の難しさや現地の声の大切さを実感できました。

卒業後は、目標としていた県職員になり、現在は本庁内で予算担当をしています。責任の重い仕事ですが、在学中に幅広く教養を得たこと、県庁や現地の全体像を知ったおかげで、前向きに働くことが出来ていると感じています。

本学部に入学された際は、ぜひ幅広く講義を受けたり、学外活動に精を出したり、思い通りの選択を全力で楽しんでみてください。

MESSAGE from a Graduate



【勤務先】

株式会社 麻生 飯塚病院
地域包括ケア推進本部
2023年3月
総合管理学部総合管理学科(ビジネス)卒業
田畑 駿樹 さん
(鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

私は高校時代に、ひとつではなく色々な学問を学びたいと考え、総合管理学部へ進学を決めました。

学生時代の大半は、コロナによってオンラインでの講義が中心となりました。その中で、友人と話し合うのではなく自身で考え課題を進める。どうしても解決できなければ自身の足で教授のところへ足を運び、教えていただく。このように自身で考え、行動することを繰り返した学生時代に得られたものは、単純な知識以外にも多くあり、とても大きな財産となっています。

しかし、やはり印象に残っているのは、対面で受講した1年次の基礎総合管理学や2年後期以降の望月ゼミでの活動です。友人とのグループワークを通して課題を完成させたり、他大学との発表大会にむけ、ゼミメンバーで話し合いながら準備したりしたことは、多くの人と関わり仕事をする社会人となった今でも役立つ経験です。

現在は病院で医師会や行政との連携を担う部署へ配属され、マネジメントから福祉、情報にまで至る幅広い学びや上記の経験を活かして業務にあたっています。

総合管理学部は、幅広い学問を学び将来の選択肢を大きく広げられる学部です。私のように色々勉強したい欲張りな学生、まだ将来の目標を明確に決め切れていない学生、ぜひ総合管理学部で4年間頑張ってみてはいかがでしょうか。きっと今とは違う自分に出会えるはずです。

MESSAGE from a Graduate



【勤務先】

浜銀総合研究所
経営コンサルティング部
2020年3月
総合管理学部総合管理学科(情報)卒業
大島 未由季 さん
(ルーテル学院高等学校出身)

卒業生からのメッセージ

私は熊本県立大学で挑戦心を身につけました。在学中は総合管理学部・森山ゼミに所属し、アプリ開発を行うべくチームを立ち上げました。今まで挑戦をしたことがなかったため、何から着手すべきか分からなかったのですが、森山先生やゼミの仲間との協力を得てプロジェクトを進めることができました。結局、アプリの完成は断念したものの、声を上げることで周囲の協力を得られたという経験が私の心となっています。

また、本学部では、法学・情報学・政治経済学等、幅広い学問について学び、一つの事象を多角的に考える力を養うことができました。

私は大学卒業後、東京大学大学院法学政治学研究科に進学し、現在は人事制度改定などを行う経営コンサルタントとして働いています。人事制度改定にあたって、経営者目線、労働者目線、法律的観点から考えて提案することが多く、大学時に身につけた多角的に考える力が活かしていると実感しています。また、社内で挑戦してみたいことは臆せず声をあげ、先輩方や同僚に協力いただきながら、実現を図っています。

本学部には視野を広げることのできる環境が整っています。ぜひ様々なことに挑戦し、実りある大学生活を送ってください。

大学院

Graduate School

各学部・学科の専門教育を基礎に発展させた、文学研究科、環境共生学研究科、アドミニストレーション研究科の3研究科をそろえています。



文学研究科

Graduate School of Language & Literature

●日本語日本文学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Japanese Language & Literature

●英語英米文学専攻(博士前期課程)

Division of English Language & Literature

文学研究科は、多様な価値観がせめぎ合う現代社会の中で、言語・文学研究の成果を人間生活の中に生かしていく方途を模索し、的確に実践していくことを理念としています。専門性を深化させ、英知を磨き、真がんと分別する洞察力を養い、以て人間文化の進展に寄与することを目指す研究の場です。



英語学特殊講義

[人材の養成の目的]

文学研究科博士前期課程では、研究領域の専門的知識を修得した高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

文学研究科博士後期課程では、地域における言語文化研究・言語教育研究の拠点としての役割を見据え、各領域の発展的知識や教育実践活動の成果を応用しながら、問題の設定から解決までを独力でできる高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
日本語日本文学専攻	博士前期課程	5名
	博士後期課程	2名
英語英米文学専攻	博士前期課程	5名
	博士後期課程	2024年度より募集停止

取得資格(博士前期課程)

- 日本語日本文学専攻 中学校・高等学校教諭専修免許状(国語)
- 英語英米文学専攻 中学校・高等学校教諭専修免許状(英語)

環境共生学研究科

Graduate School of Environmental & Symbiotic Sciences

●環境共生学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Environmental & Symbiotic Sciences

環境共生学研究科は、人間と人間を取り巻く生物学的要因・大気・水・森林・土壌・人工物などの非生物学的要因からなる環境とが共生するためのあり方、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全し利用する方法、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策などを科学的に追求することを旨とする研究の場です。



食品機能分析学

[人材の養成の目的]

環境共生学研究科博士前期課程では、環境共生学の基本的理念を基にした環境分野の専門的知識と技術を修得した高度専門職業人および環境共生学を実践できる研究者を養成することを目的とします。

環境共生学研究科博士後期課程では、自然と人間活動との共生を具体的に実現していく資源循環型社会の構築に向けて、より総合的で高い専門的知識や技術と実践的能力を併せもつ高度専門職業人および環境共生学を実践できる内外の研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
環境共生学専攻	博士前期課程	20名
	博士後期課程	3名

取得資格(博士前期課程)

- 中学校・高等学校教諭専修免許状(理科)
- 中学校・高等学校教諭専修免許状(家庭)

アドミニストレーション研究科

Graduate School of Administrative Studies

●アドミニストレーション専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Administrative Studies

アドミニストレーション研究科は、社会科学系の研究を総合的に行う大学院として、行政学・経営学・経済学・情報学・看護学などの諸学問を学際的に協働させることで社会的諸課題を解決するための理論を発展させていくことを目指す研究の場です。



情報デザイン論特殊講義

[人材の養成の目的]

アドミニストレーション研究科博士前期課程では、複雑・多様化した社会的諸課題を学際的な協働によって実践的に解決していく高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

アドミニストレーション研究科博士後期課程では、複雑・多様化した社会的諸課題を学際的知識と高度な手法を用いて創造的に解決でき、アドミニストレーションの理論の発展を担う高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
アドミニストレーション専攻	博士前期課程	12名
	博士後期課程	2名

取得資格(博士前期課程)

- 中学校教諭専修免許状(社会)
- 高等学校教諭専修免許状(公民)

教員紹介

※五十音順

文学部		日本語日本文学科	
准教授 秋葉 多佳子 <i>Akiba Takako</i> 日本語教育学	准教授 小川 晋史 <i>Ogawa Shinji</i> 社会言語学・方言学	准教授 羽鳥 隆英 <i>Hatori Takafusa</i> 日本芸能文化論	教授 山田 俊 <i>Yamada Takashi</i> 中国語・中国文化
准教授 岩田 芳子 <i>Iwata Yoshiko</i> 日本古代文学	准教授 五島 慶一 <i>Goto Keiichi</i> 日本文学	教授 半藤 英明 <i>Hando Hideaki</i> 日本語学	教授 米谷 隆史 <i>Yoneya Takashi</i> 日本語学
学科長・教授 大島 明秀 <i>Oshima Akihide</i> 歴史学	副学長・教授 鈴木 元 <i>Suzuki Hajime</i> 日本文学	准教授 真島 望 <i>Mashima Nozomu</i> 日本近世文学	

文学部		英語英米文学科	
教授 石井 佳世 <i>Ishii Kayo</i> 教育心理学	准教授 田中 和也 <i>Tanaka Kazuya</i> 英語文学	准教授 原 紘子 <i>Hara Hiroko</i> 英語・異文化コミュニケーション	准教授 吉田 希依 <i>Yoshida Kei</i> 英語文学
助教 萱嶋 崇 <i>Kayashima Takashi</i> 英語学・言語学・対照言語学	准教授 難波 美和子 <i>Namba Miwako</i> 比較文学	学部長・教授 村尾 治彦 <i>Muraō Haruhiko</i> 認知言語学	学科長・教授 レイヴン リチャード <i>Richard Lavin</i> コンピュータ支援英語教育
准教授 武上 富美 <i>Takegami Fumi</i> 英語教育	教授 西本 陽一 <i>Nishimoto Yoichi</i> 地域研究ならびに地域社会学(もやいすと)	教授 吉井 誠 <i>Yoshii Makoto</i> 第二言語習得	

環境共生学部		環境共生学科 環境資源学専攻	
教授 阿草 哲郎 <i>Agusa Tetsuro</i> 水環境科学	専攻長・教授 一宮 陸雄 <i>Ichinomija Mutsuo</i> 海洋資源学	准教授 斎藤 達也 <i>Saito Tatsuya</i> 森林資源学	教授 モロー ジェフリー スチュワート 英語教育 <i>Jeffrey Stewart Morrow</i>
教授 石橋 康弘 <i>Ishibashi Yasuhiro</i> 資源循環化学	教授 小林 淳 <i>Kobayashi Jun</i> 環境分析化学	教授 張 代洲 <i>Zhang Daizhou</i> 大気環境学	
教授 石村 秀登 <i>Ishimura Hideto</i> 教育学	准教授 小森田 智大 <i>Komorita Tomohiro</i> 海洋生態学	教授 松添 直隆 <i>Matsuzoe Naotaka</i> 植物生産学	

環境共生学部		環境共生学科 居住環境学専攻	
教授 北原 昭男 <i>Kitahara Akio</i> 木質構造学	教授 柴田 祐 <i>Shibata Yu</i> 地域計画学	教授 田中 昭雄 <i>Tanaka Akio</i> 建築設備工学・建築環境工学	教授 辻原 万規彦 <i>Tsujihara Makihiko</i> 地域環境調整工学
准教授 佐藤 哲 <i>Sato Satoshi</i> 建築計画学	教授 高橋 浩伸 <i>Takahashi Hironobu</i> 建築設計・住空間計画学	准教授 鄭 一止 <i>Cheong Ilji</i> 都市計画学	専攻長・教授 李 麗 <i>Li Li</i> 居住空間合成構造学

環境共生学部		環境共生学科 食健康環境学専攻	
教授 青木 朋子 <i>Aoki Tomoko</i> 身体運動制御学	准教授 坂本 達昭 <i>Sakamoto Tatsuzaki</i> 実践栄養教育学	准教授 田尻 美千子 <i>Tajiri Michiko</i> 家庭科教育・調理科学・食育	教授 松崎 弘美 <i>Matsuzaki Hiromi</i> 食品バイオ工学
准教授 阿南 弥寿美 <i>Anan Yasumi</i> 食品安全性学	教授 下田 誠也 <i>Shimoda Seiya</i> 臨床病態代謝学	教授 友寄 博子 <i>Tomoyori Hiroko</i> 食品栄養機能学	専攻長・教授 松本 直幸 <i>Matsumoto Naoyuki</i> 環境生理学
准教授 岸 知子 <i>Kishi Tomoko</i> 公衆栄養学	学部長・教授 白土 英樹 <i>Shiratsuchi Hideki</i> 食品分析学	助教 中下 千尋 <i>Nakashita Chihiro</i> 食健康環境学	准教授 吉田 卓央 <i>Yoshida Takuya</i> 臨床栄養学
助手 境田 奈津子 <i>Sakaida Natsuko</i> 食健康環境学	助教 田尻 絵里 <i>Tajiri Eri</i> 食健康環境学	准教授 中嶋 名菜 <i>Nakashima Nana</i> 給食経営管理学	

総合管理学部		総合管理学科 公共専攻	
教授 石黒 巳紀子 <i>Ishiguro Mikiko</i> 地方行政論	准教授 佐藤 雄一郎 <i>Sato Yuichiro</i> 憲法学	准教授 田畑 嘉洋 <i>Tabata Yoshihiro</i> 民法学	准教授 安武 綾 <i>Yasutake Aya</i> 福祉政策論
准教授 井寺 美穂 <i>Idera Miho</i> パブリック・アドミニストレーション	教授 澤田 道夫 <i>Sawada Michio</i> アドミニストレーション論	教授 中尾 富士子 <i>Nakao Fujiko</i> 看護学	
専攻長・教授 上拂 耕生 <i>Uebarai Kousei</i> 行政法	准教授 関 智弘 <i>Seki Tomohiro</i> 公共経営	准教授 西森 利樹 <i>Nishimori Toshiki</i> 社会保障法	
教授 江崎 一郎 <i>Esaki Ichiro</i> 社会倫理	教授 高埜 健 <i>Takano Takeshi</i> 国際関係論	准教授 松本 千晴 <i>Matsumoto Chiharu</i> 看護学	

総合管理学部		総合管理学科 ビジネス専攻	
准教授 飯島 賢志 <i>Iijima Kenji</i> 社会統計学	教授 黄 在南 <i>Huang Jae Nam</i> 経営組織論	専攻長・教授 望月 信幸 <i>Mochizuki Nobuyuki</i> 管理会計論	
教授 井田 貴志 <i>Ida Takanori</i> 経済の基礎理論	准教授 本田 圭市郎 <i>Honda Keiichiro</i> 計量経済学	准教授 山西 佑季 <i>Yamanishi Yuki</i> 財務会計論	
教授 河西 卓弥 <i>Kawanishi Takuya</i> ファイナンス	教授 丸山 泰 <i>Mariyama Yasushi</i> マーケティング	助教 劉 鶴 <i>Ryu Hato</i> 産業組織論	

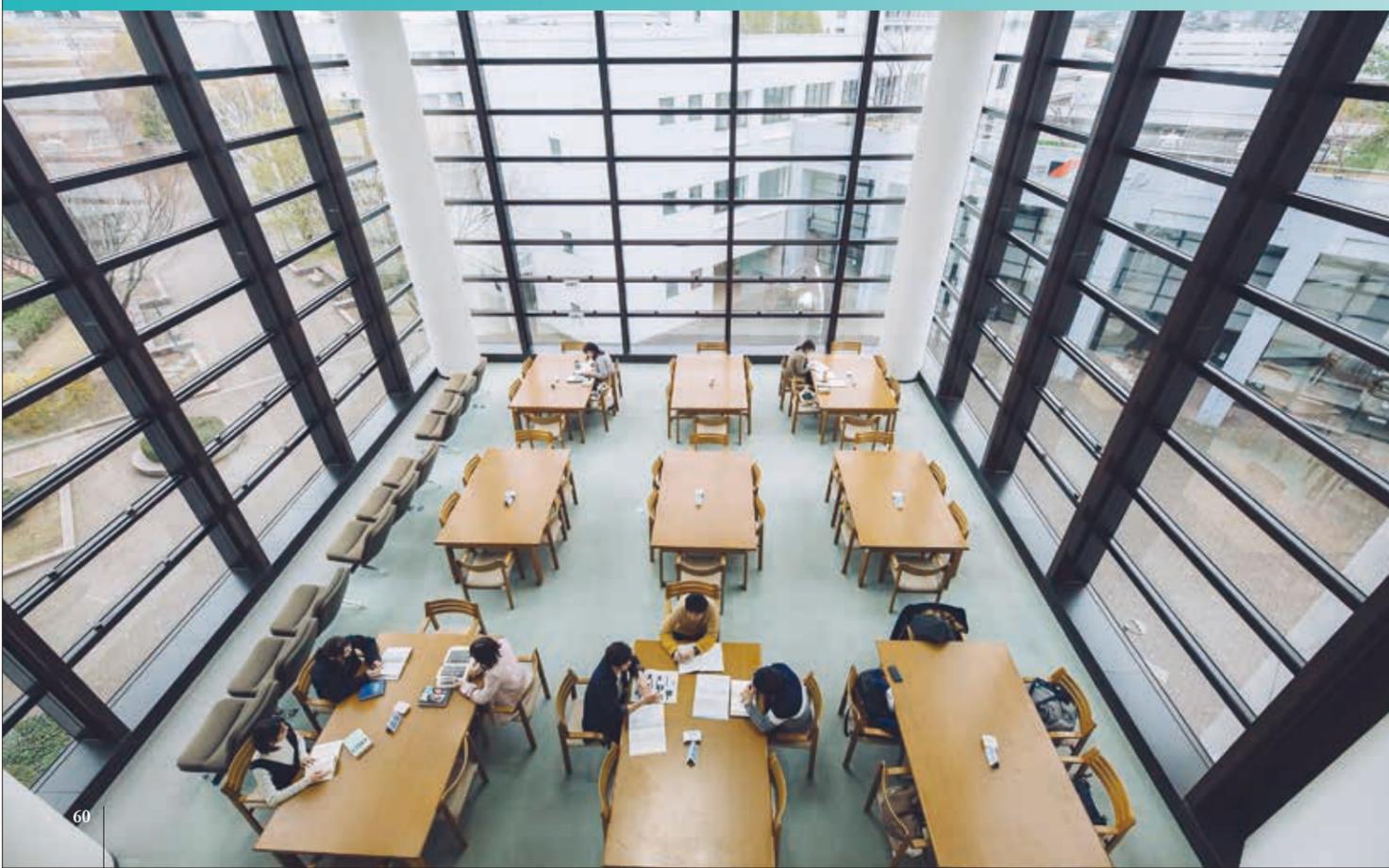
総合管理学部		総合管理学科 情報専攻	
教授 飯村 伊智郎 <i>Iimura Ichiro</i> 知能情報学	助教 エロネン ユーソ カレヴィ クリスティアン 情報工学 <i>Eronen Juuso Kalevi Kristian</i>	准教授 堀 一輝 <i>Hori Kazuki</i> データサイエンス	
准教授 石橋 賢 <i>Ishibashi Ken</i> 情報メディア論	准教授 金井 貴 <i>Kanai Takashi</i> 情報セキュリティ論	学部長・教授 宮園 博光 <i>Miyazono Hiromitsu</i> 情報認知科学	
准教授 岩見 麻子 <i>Iwami Asako</i> 地域情報学	准教授 小藪 和剛 <i>Kozono Kazutake</i> プロジェクト・マネジメント	専攻長・教授 森山 賀文 <i>Moriyama Yoshifumi</i> 情報学	

共通教育センター			
教授 青木 朋子 <i>Aoki Tomoko</i> 身体運動制御学	准教授 小藪 和剛 <i>Kozono Kazutake</i> プロジェクト・マネジメント	准教授 原 紘子 <i>Hara Hiroko</i> 英語・異文化コミュニケーション	准教授 森 裕生 <i>Mori Yuki</i> 初年次教育・学修評価・キャリア教育
教授 阿草 哲郎 <i>Agusa Tetsuro</i> 水環境科学	准教授 武上 富美 <i>Takegami Fumi</i> 英語教育	准教授 堀 一輝 <i>Hori Kazuki</i> データサイエンス	教授 モロー ジェフリー スチュワート 英語教育 <i>Jeffrey Stewart Morrow</i>
教授 石井 佳世 <i>Ishii Kayo</i> 教育心理学	准教授 田中 祐治 <i>Tanaka Yuji</i> 応用言語学	准教授 松田 節郎 <i>Matsuda Setsuro</i> データサイエンス	センター長・教授 山田 俊 <i>Yamada Takashi</i> 中国語・中国文化
教授 石村 秀登 <i>Ishimura Hideto</i> 教育学	准教授 難波 美和子 <i>Namba Miwako</i> 比較文学	教授 松本 直幸 <i>Matsumoto Naoyuki</i> 環境生理学	准教授 李世恩 <i>Ri Seun</i> 英語教育
教授 大島 明秀 <i>Oshima Akihide</i> 歴史学	教授 西本 陽一 <i>Nishimoto Yoichi</i> 地域研究ならびに地域社会学(もやいすと)	教授 宮園 博光 <i>Miyazono Hiromitsu</i> 情報認知科学	助教 劉 鶴 <i>Ryu Hato</i> 産業組織論



キャリアサポート・学修支援

- キャリアセンター
- キャリアサポート
- デジタルイノベーション推進センター
- 図書館
- 学修支援



キャリアセンター

卒業後の自分を思い描き、その実現に向けて頑張るあなたをサポート

熊本県立大学には、就職活動などの支援を行う「キャリアセンター」があります。キャリアセンターでは、センター長やキャリアコーディネーターが中心となり、学生が自分にあった進路・就職先を選択するための様々な支援を行っています。

進路相談

進路は自分自身の問題なので主体的に考え、行動することが重要です。しかし、自己分析→業界・企業研究→会社説明会→採用試験→内定といった一連の就職活動では、様々な疑問、不安や悩みを感じる事が少なくありません。これは就職だけでなく、進学、留学、資格取得などをする場合にも同様のことが言えます。

キャリアセンターでは、進路に関する様々な情報提供を行うとともに、就職相談員やCCA(キャンパス・キャリア・エンジェル)による進路相談を開催するなど、進路選択のサポートを積極的に行っております。

就職相談員

経験豊かな専任の就職アドバイザーがきめ細やかな就職指導、就職相談を行います。企業情報の収集の仕方、自己PRや志望動機を中心とした履歴書の書き方、受験する企業に焦点を合わせた面接や入室のマナーに至るまで、親身になって支援を行います。

CCA (キャンパス・キャリア・エンジェル)

卒業後の進路が決定している4年生(「キャンパス・キャリア・エンジェル」)が、自身の学生生活や就職活動を踏まえて、就職活動や進路選択などに関する相談に応じます。

就活関連情報

キャリアセンターでは、求人情報や企業情報、就活関連の書籍および情報誌、面接対策DVDなど、就活に役立つ様々な情報を閲覧できます。中でも「受験報告書」は、先輩たちの就活の進め方や選考の内容、後輩へのアドバイスなど、活きた就活体験が詰まっているため、自身の就活の際にとっても役に立ちます。就活関連書籍の一部は貸出対応も行っています。

3年生になると、県大生専用の就活サイト「県大就活ナビ」を利用できます。求人情報や企業情報の閲覧、求人へのエントリーはもちろん、インターンシップや学内企業説明会などの就活に関するイベント情報を確認したり参加申込をしたりすることができるほか、先輩方の「受験報告書」も学内外を問わず気軽に閲覧できます。



学生サポート

これまでとは違った環境で過ごす学生生活。自らをコーディネートしていくあなたをサポートします。

学生相談

学業、進路、心と体、生活などに関する相談を受け付けています。内容によって、保健師、臨床心理士、教職員が対応します。また、電話や電子メールでの相談も受け付けています。



下宿・アパート

自宅が遠方の学生にとってアパート・下宿先を探すのは大変です。本学では、本学周辺のアパート・下宿に関する情報を提供しています。仲介手数料がないのもメリットです。

なお、アパート・下宿情報は本学ホームページでも閲覧することができます。



アルバイト

学生支援課では、経済的支援の一環として、学生アルバイトとしてふさわしい仕事のみを厳選し紹介しています。アルバイトは、学業に支障のない範囲で行いましょう。



キャリアサポート

就職や進学に向けたきめ細やかなサポート

年間を通して多くの学生に利用されているキャリアセンターでは「セミナー」や「ガイダンス」などを開催し学生の4年間を強力にサポートします。



学修へのデジタル活用環境



情報処理実習室

- 4つの教室に214台のPCを設置しています。
- 図書館にも50台設置しています。
- 空き時間にも利用できるよう実習室の開放を実施しています。
- ハイスペックなPCを設置し、様々なソフトが利用できます。

実習室・図書館
Microsoft Office Professional Plus 2019
実習室
Adobe(Photoshop, Illustrator等)
Visual Studio 等

LMS 学修管理システム



授業に関する連絡・資料・課題等が一元的に分かるようシステムで支援しています。

無線ネットワーク



私物のPCやスマートフォンでも学内各所でインターネットへWi-Fi接続できます。

Office 365 ライセンス



在学中は私物のPC等にWord、Excel等を無償でインストールして使用できます。

データ保存



OneDrive等の保存領域を利用できます。OneDriveは自宅からでもアクセス可能です。

IT サポート窓口



対面・メール・電話で学修のためのIT関連の質問や相談ができます。

ノートパソコン貸出



1週間や1か月単位で貸出。学生なら誰でも利用できます。(台数に限りがあります。)

デジタルイノベーション推進センター

デジタルによる教育研究環境の刷新を推進します。

あらゆる情報の分析・活用を通して情報の価値を最大限に高めるとともに、デジタルの力により、革新的で魅力ある環境を構築します。

高度な情報リテラシーを習得するための教育支援と環境を提供します。

大学生生活に欠かすことのできないITの活用を支援するため、サポート窓口を運営しています。パソコン・ネットワーク利用に関する相談受付や、パソコン・周辺機器の貸出、在学期間における全学生へのOfficeアプリケーションの無償提供、情報処理実習室(パソコン室)の管理・提供を行なっています。

情報セキュリティに対するリスクマネジメントを行っています。

C S I R T(シーサート Computer Security Incident Response Team)の実働を担っており、セキュリティ情報の収集や有事の際の対応を行います。

図書館

教養から専門まで充実した蔵書と快適な学修環境を提供します。

キャンパスにふりそそぐ柔らかな光をふんだんに取り入れた快適で明るい学習・情報空間です。パソコンコーナー、ラーニングコモンズ、キャレル(個別学習机)など、多様なニーズに応じた学修スペースを用意しています。



雑誌コーナー

三面ガラス張りの明るいくつろげる空間です。国内外の様々な専門誌がそろっています。



パソコンコーナー

50台設置しており、学生は自由に利用できます。図書を手元に置いてのレポート作成等のニーズに応えます。

■図書館概要

- 図書収容能力 41万冊
- 閲覧席 約360席
- 蔵書数
図書 約38万冊
(うち電子書籍 約2千冊)
- 雑誌・紀要数 約6,000種
- 購読雑誌数 約210種

※令和6年(2024年)3月末現在

学修支援

GPA制度

ポイント制による成績評価

成績は、授業科目ごとに、秀、優、良、可、不可の5段階で評価されますが、これに加えて、成績評価システム「GPA (Grade Point Average) 制度」を導入しています。GPA制度は、授業科目ごとの成績評価(試験の得点:100点満点)に対し、一定の計算式に基づきポイントを付与し、1単位当たりの平均を算出し、5点満点で評価するものです。

GPAのポイントが特に高い学生は、成績優秀者として表彰されます。逆にポイントが低い成績不振者に対しては、担当教員が個人指導を行います。



成績優秀者表彰式

オフィスアワー

Face to Faceできめ細やかな指導

学習や将来の進路など学生の様々な相談に対応するため、教員があらかじめ指定する時間に、学生が研究室を訪問し、相談ができるオフィスアワー制度を導入しています。

もちろんオフィスアワー以外の時間でも、教員が在室しているときは、自由に研究室を訪問できます。また、電子メールで相談することもできます。



オフィスアワー



学生生活

- キャンパスライフ
- サークル活動
- キャンパスマップ
- キャンパス周辺情報
- 学費・奨学金
経済支援



キャンパスライフ

Campus Calendar

- 新入生・在学生オリエンテーション
- 入学式
- 前学期授業開始
- 開学記念日(5月2日)
- PUKリンピック(体育祭)(5月上旬)

- 後学期授業開始(9月下旬)

4月
April

5月
May

6月
June

7月
July

8月
August

9月
September

10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

2月
February

3月
March



入学式(4月)



PUKリンピック(5月)

- 海外協定校・研修団受入(韓国)(6月下旬~7月上旬)

- 前学期定期試験
- 夏季休業(8月中旬~9月下旬)
- サマー・ECO・デー(8月中旬)
- 夏季キャリア体験演習(8月中旬~9月下旬)
- Intensive English(8月下旬)



祥明大専攻校研修団(6月~7月)



白亜祭(11月)

- インターシップ発表会

- 白亜祭(学園祭)(11月中旬)

- 冬季休業(12月下旬~1月上旬)

- 卒業式
- 春季休業(3月下旬~4月上旬)

- 後学期定期試験
- 春季キャリア体験演習(2月下旬~3月下旬)
- 海外協定校・研修団派遣(アメリカ)(2月中旬~3月中旬)



Intensive English「英語合宿」(8月~9月)



卒業式(3月)

学生生活

自宅派



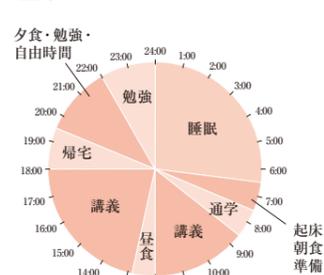
初めは授業時間が長かったり、自分で選択することが増えたりと、戸惑うことが多くありましたが、先輩方に教えていただき、少しずつ大学生活にも順応していきました。課題やレポートに追われる時期もありますが、余裕のあるときは、授業のない時間に友達とカフェに行ったり、趣味の時間を作ったりと自分の好きなことに没頭することもできます。大学生活では学内外問わず、様々な人達と関わることができ、たくさんの学びを得られると思います。ぜひ、いろいろなことに挑戦してみてください!

環境共生学部環境共生学科
食健康環境学専攻4年 田端 郁実さん
(熊本県立鹿本高等学校出身)

3年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限		教育課程論	公衆栄養学	生徒指導の理論と方法	
2時限	食品微生物学	給食経営管理II	健康管理学	疾病論	栄養運動生理学
3時限	栄養機能性学	食品分析学	給食管理実習I	食品分析学実験	臨床栄養治療学
4時限	食品衛生学実験	給食管理実習II	食品分析学実験		
5時限	食品衛生学実験	学校栄養教育論		臨床栄養学実習	臨床治療食実習
6時限				臨床栄養学実習	臨床治療食実習

ある一日のスケジュール



一ヶ月の収支

【収入】	
アルバイト	50,000円
収入合計	50,000円
【支出】	
交際費・趣味	20,000円
車維持費(ガソリン、ETC含む)	10,000円
貯金	20,000円
支出合計	50,000円

一人暮らし派



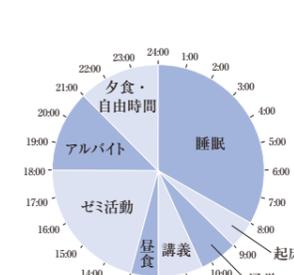
私は、学生生活の大半を研究室で過ごしています。大学周辺で一人暮らしをしていますが、家は寝るための場所です。研究室では、テクノロジーを用いて社会課題解決のための様々なソリューションを研究・開発しています。素晴らしい仲間たちと切磋琢磨しながら、成長できる環境に身を置くことができ、毎日が充実しています。学生生活も残り少なくなってきましたが、悔いが残らぬよう、遊びも学業も全力で頑張りたいと思います。

総合管理学部総合管理学科4年 山田 雄斗さん
(福岡県立八幡高等学校出身)

3年次後期の時間割

	月	火	水	木	金	土
1時限	公会計論		社会保障法			
2時限		人工知能論		インターネット論	情報システムデザイン論	情報システムデザイン論
3時限		アルゴリズム論				公共政策論II
4時限			地域づくりと協働			専門演習II-2
5時限						
6時限			家族システム論			

ある一日のスケジュール



一ヶ月の収支

【収入】	
アルバイト	70,000円
奨学金	60,000円
収入合計	130,000円
【支出】	
食費	40,000円
家賃	30,000円
水道光熱費	10,000円
交際費・趣味	20,000円
貯金	30,000円
支出合計	130,000円

※入学時のカリキュラムの科目です

サークル活動

ともに研ぎ、ともに笑う、仲間たちがここにいる。

学間に励みながら、多くの仲間と出会うのも大学生活の大きな魅力です。
サークル活動を通じて、心身ともに研ぎ合うことのできる友をつくる。学問だけでなく、生きることを学ぶ場でもあります。

体育系サークル(24団体)

- Army Combat Engineers(サバイバルゲーム)
- 一大事(よさこい) ● 弓道部 ● 硬式テニス部 ● サッカー部
- シーズンすぽっつ(スポーツ全般) ● シンパーズ(ソフトボール)
- 女子バスケットボール部 ● 女子バレーボール部 ● 水泳部
- ソフトテニス部 ● ダイビング部 ● 卓球部 ● 探検部
- 男子バレーボール部 ● 男子バスケットボール部
- do DAC(ストリートダンス) ● 軟式野球部 ● バドミントン部
- PUKパド(バドミントン) ● フットサル ● ラグビー部 ● 陸上部
- ワンダーフォーゲル部

体育委員長

総合管理学部総合管理学科3年

立花 祐貴さん
(熊本県立東稜高等学校出身)

体育委員会では主に、体育会系サークルや部活動を代表して、学校側へ学生の要望を伝える架け橋のような役割を担っています。皆さんのお気づきやご要望等、お気軽にお申し付けください。皆さんの学生生活がより豊かなものになるように尽力致します。また、コロナ禍以前に行われていたサマーキャンプを今年度から文化委員会と共同で開催し、学校全体のサークル活動の活性化に繋がるようなイベントを企画しています。皆様のご参加をお待ちしております。



文化系サークル(22団体)

- 歌唄(アカペラ) ● 映像研究部 ● MR研究会 ● 合唱部
- 建築デザイン部 ● 茶道・着物礼法部 ● 写真部 ● 手話サークル
- 植物資源利用研究会 ● 書道部 ● 吹奏楽部 ● 箏曲部
- テーブルゲームサークル ● 天文部 ● 美術部 ● フォークソング研究部
- ぶくはび ● 文芸部 ● Master Information Skills
- Maple Leaves(ボランティア) ● merci(創作いけばな) ● 歴史研究会

文化委員長

総合管理学部総合管理学科3年

増田 佑泉さん
(熊本県立八代高等学校出身)

文化委員会は、熊本県立大学の文化サークルや同好会のサポート、学生自治会からの諸連絡を各サークルへ伝達する役割を担っています。また、新入生歓迎オリエンテーションや白亜祭などの企画・運営にも携わっています。大学生活は俗に人生の夏休みと呼ばれるほど時間がゆとりが持てる期間だと思います。それをより豊かで充実させてくれるものの一つがサークル活動ではないでしょうか。皆さんに興味や湧くサークルが見つかることを祈っています。



※サークル団体数は2024年3月現在

ボランティア活動

ボランティア活動は、公共福祉の観点から共助精神の涵養に資するものとして極めて意義深いものであり、また授業では学べない多くの体験ができるため、自己形成の上で極めて重要です。

ボランティア活動団体の紹介

本学には、様々な目的をもって自主的に活動する複数のボランティア団体があります。

「熊本城マラソン」などの各種イベント運営にボランティアとして参加する「Maple Leaves」、規格外野菜の認知拡大や普及を目的に活動する「SalVage ~規格外野菜を救い隊~」、人吉球磨の地域づくりに取り組む「未来創士」、子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける活動を行っている「チャリティーサンタ」、国内のみならず海外でのボランティア活動にも参加する「ぶくはび」、大学近隣地域にある幼保連携型認定こども園で子供たちとふれあう活動を行う「つばめレンジャー」などが活動しています。

Maple Leaves

SalVege ~規格外野菜を救い隊~

熊本県立大学自主グループ未来創士

チャリティーサンタ

ぶくはび

つばめレンジャー

「チャリティーサンタ」の活動紹介

私たちチャリティーサンタ熊本支部は、クリスマスイブの日に子どもたちにプレゼントを届ける活動を行っている団体です!チャリティー金をいただいた家庭を訪問したり、貧困家庭や災害に被災した家庭に無償でプレゼントを届ける活動を行っています。その他にも幼稚園や施設などのクリスマス会を訪問する活動を行っています!



チャリティーサンタの魅力として、「サンタクロース」になれるということです!プレゼントを届けることを通して「誰かのために何かしたい」を行動に移すことのできる「サンタクロース」のような人になることができます。

その他にも、熊本支部内には熊本学園大学や熊本大学のメンバーが在籍していたり、全国各地に支部が存在しているので、全国の「サンタクロース」と関わることができるということがあります!

ぜひ一緒に「サンタクロース」になってみませんか?

「SalVage ~規格外野菜を救い隊~」の活動紹介

私たちSalVage(サルベジ)は、規格外野菜の認知拡大や普及、熊本の地域理解及び未来創生を目的に活動しています。

主な活動としては、農家さんへの取材やマルシェの開催・お手伝い、小学生向けの講演会を行っています。過去には、食育の日のお弁当を考えたり、花農家さんの取材なども行いました。

SalVageは設立して間もないため、幅広く自由な活動ができます。地元の方や農家さんの声を聞いてみませんか?

ぜひ、私たちと一緒に活動しませんか?興味がある方はInstagramで「熊本県立大学 SalVage(サルベジ)」と検索・ご連絡ください。



食育活動

食に関する体験研修や講義、イベントなどを環境共生学部内にある食育推進室が学生グループとともに学びながら、定期的に開催しています。あなたも参加してみませんか？



たべラボキャラクター
もぐ丸

たべラボ活動

熊本県内のさまざまな地域の食の魅力探し、イベント企画、学食でのメニュー開発・プロデュースなどを行っており、自らの食生活・生活習慣のスキルアップと学内外への食育を実施する学部横断的な学生グループです。



食の魅力発見

一品持ち寄り弁当の日の開催や、野菜・出汁・お菓子作りなど様々なWSを実施しています。



食文化に触れる

日本の食・世界の食。文化的な側面からも楽しめます。



暮らしに生かす

自分で塩麩を作ったり、味わったり。SDGsの観点からも考えます。

食育の日

大学生が地域の食材について学び、その食材を使った学食メニューを考案し提供しています。毎月19日前後に開催しており、学生や教職員に好評です。



地域研修

地域の食材について学びます。



活動プレゼン

弁当提供当日ステージにて、活動のプレゼンテーションも実施します。



学食提供

月替わりテーマに沿って、当日メニューが提供されます。

食に関する講演会・イベント

学生が将来にわたる自分の健康の主体者として健全な食生活を自己管理できることを目指しています。その実現に向けて、さまざまな機会を設けています。



食に関する講演会



学内イベント参加



出張ワークショップ

保健センター

保健センターは、学生が充実した学生生活を送ることができるよう、心身の健康管理を行うとともに、修学上あるいは生活上の様々な悩みごとに関する相談業務を行っています。学内で具合が悪くなったり、怪我をした場合は、休養や簡単な応急手当を受けることができます。

定期健康診断

全学年を対象として定期健康診断を行っています。健康診断は学校保健法により、年1回必ず受診することになっておりますので、生活習慣の改善に役立ててください。必要に応じて、健康管理の支援をします。



学生相談

充実した学生生活を送れるよう、学生相談を行っています。なにか困ったことがあれば、一人で悩まず気軽にご相談ください。保健師と臨床心理士が様々な相談に応じています。必要に応じ教員や事務局と連携してサポートします。



地域・研究連携センター

地域に根差した質の高い研究の推進や、公開講座の開催など、本学の教育研究資源を地域と繋ぎ、大学の地域貢献に取り組むセンターです。



地域連携部門

地域からの様々な相談に対応し、本学の教育研究資源とのマッチングを図ります。また、包括協定の締結や産学官連携など地域連携の取組を推進します。

研究支援部門

国の科学研究費助成事業を活用した研究や、企業、団体、自治体等の外部資金を活用した受託研究・共同研究の円滑な推進を支援します。

地域学習部門

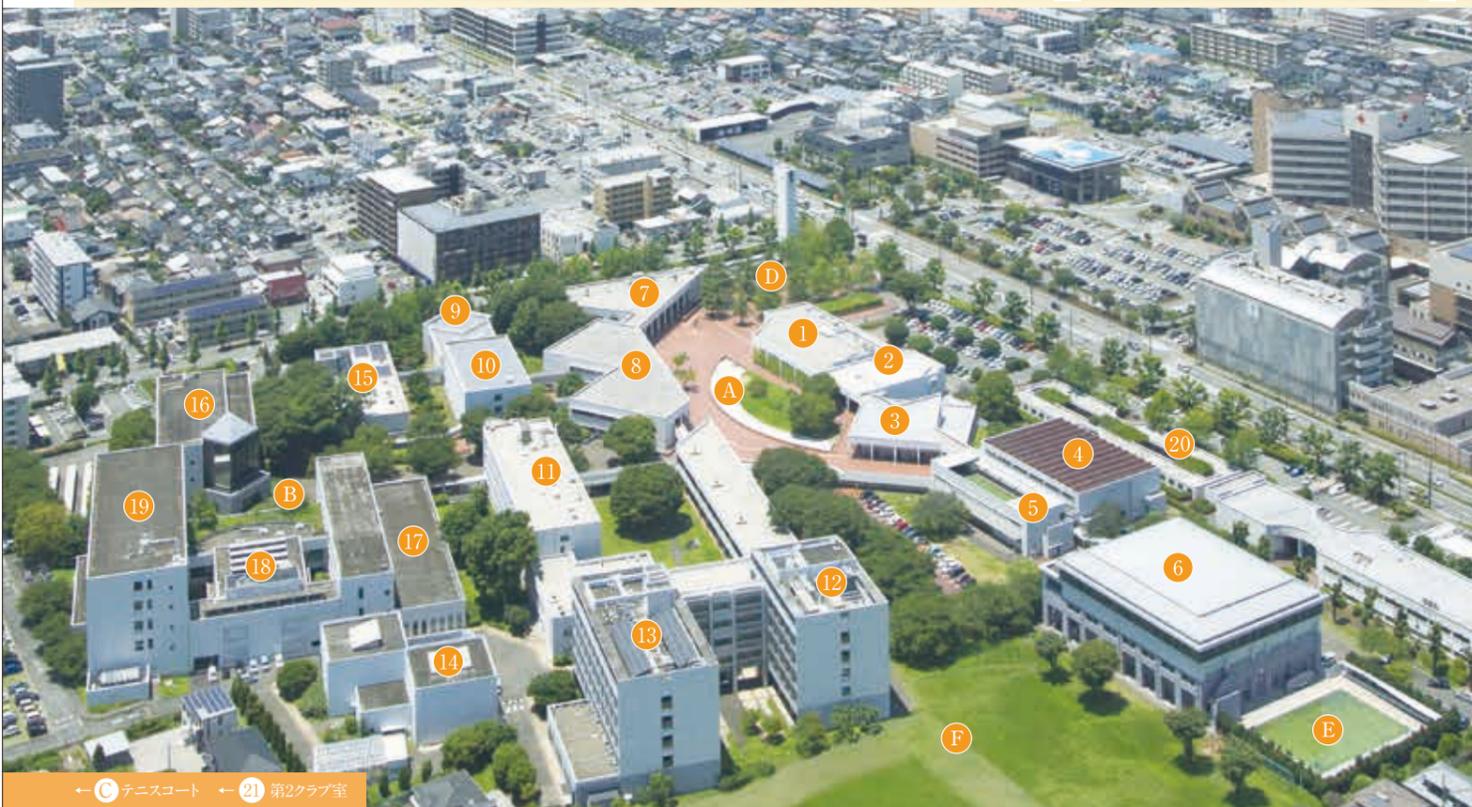
授業公開講座、各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPDプログラム(Continuing Professional Development 継続的専門職能開発)を推進します。

県大の研究室や地域貢献活動を
紹介するサイトです。
是非ご覧ください。



キャンパスマップ

Campus Map



← C テニスコート ← 21 第2クラブ室

1 本部棟

事務局各課・室(1階に教務入試課、学生支援課、2階に総務課、企画調整室)などがあります。

2 中ホール

300人収容のホールです。国際会議に対応するため、同時通訳ブースを設置しています。

3 キャリアセンター

キャリアセンター、トレーニングルームなどがあります。
■キャリアセンター
 就職情報などの提供ときめ細やかな相談・指導など、学生一人ひとりの夢の実現に向けた(総合的な)キャリアサポートを行っています。→P59
■トレーニングルーム
 学生・教職員の健康増進のためウエイトや各種マシンでトレーニングができます。

4 サブアリーナ 5 CPDホール

サブアリーナは1階に体育館、2階に弓道場があります。CPDホールは、収容人数が105人(うち固定席60席)規模の講義室で、150インチスクリーンを備えています。



6 アリーナ



1階には、柔剣道場などがあります。2階にはバレーボールコート2面分のスペースを有するアリーナがあります。

7 学生会館

学生食堂、書籍・売店、共通教育センター(→P21)があります。



■学生食堂
 カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けとなっている明るい学食です。人気メニューは、日替りのランチやカレーです。

■書籍・売店
 書籍や文具、事務用品の販売はもちろん、引越、旅行の予約・貸衣装、自動車学校の申込など便利な取次サービスも行っています。

8 講義棟1号館



小規模の講義室が12室あり、1階に学生ロビーと食育推進室、ボランティアステーションがあります。

9 小ホール・保健センター

中規模ながらフォーラムなども開催できる140人収容のホールです。また、応急手当や休養、学生相談ができる保健センターがあります。

10 文学部棟



文学部の教員研究室、ゼミ室、資料室などがあります。

11 環境共生学部西棟

環境共生学部(主に居住環境学専攻・食健康環境学専攻)の教員研究室、各種実験実習室などがあります。

学内を網羅するデジタル環境

学内無線LANのアクセスポイントは、教室や演習室、研究室など約420箇所に設置しており、うち300箇所は最新のWi-fi6(IEEE 802.11ax)対応になっていますので、安定して快適に使用できます。また、各教室にはWeb配信・収録設備を設置しており、対面・遠隔併用のハイブリッド授業の実施が可能です。



モニュメント「宙(sora)」

児玉士洋氏作。
 物質社会(柱)と精神社会(球)のバランスのとれた様を表し、若者の無限の可能性が宙へと伸びるようという願いがこめられています。



モニュメント「大地」

児玉士洋氏作。
 自然と文明の融合による緊張と安定を表現。大地や水などの自然のパワーとエネルギーがテーマとなっています。



モニュメント「オーバルカラム」

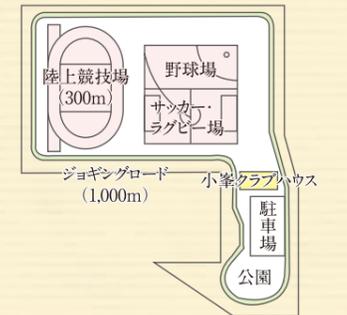
松尾光伸氏作。
 土筆をイメージしたフォルムが若者の成長を、32面の楕円球がアルファベットと記号を表現しています。



ブロンズ像「視」

石原昌一氏作。
 1980年に、創立30周年と新キャンパス建設を祝って同窓会紫苑会から贈られたブロンズ像です。

小峯グラウンド (所在地 熊本市東区小峯3丁目2613-1)



キャンパスから約2kmの近距離にある野球場、サッカー兼ラグビー場、300mトラックを兼ね備えたグラウンドです。また、グラウンドを囲って同窓会紫苑会から贈られた1,000mのジョギングロードがあり、一般にも開放しています。

12 18 環境共生学部北棟・南棟



北棟と南棟からなり、環境共生学部(主に環境資源学専攻)の教員研究室、各種実験室などがあります。太陽光発電と雨水利用システムを備えるなど環境に配慮した施設です。

14 構造実験棟

環境共生学部の構造実験室、材料実験室があります。

15 グローバル棟

1階には地域・研究連携センターと緑の流域治水研究室があり、2階には国際教育交流センターがあります。

16 図書館

ガラス張りの塔が印象的な図書館は、収容能力41万冊、蔵書数約38万冊を誇ります。1階にはオンラインでの会議・授業・面接等で活用できるパーソナルブース3台が設置されています。本学の学生や教職員をはじめ広く一般にも公開し、地域の図書館として利用されています。→P65

17 講義棟2号館

4つの中講義室と5つの小講義室があるほか、情報処理実習室1室があります。

18 大ホール



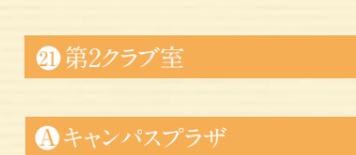
350人収容のホールです。200インチスクリーンによりPCなどを利用した講義が可能です。

19 総合管理学部棟



総合管理学部の教員研究室、ゼミ室、資料室などがあります。また、1階には情報ネットワークの中枢であるデジタルイノベーション推進センターのほか、IR室、情報処理実習室2室があります。

20 第1クラブ室



A キャンパスプラザ

本部棟と講義棟1号館、学生会館の間に広がるオープンスペース。赤レンガと草木のコントラストの美しさが自慢です。モニュメント「大地」やブロンズ像「視」もあります。

B アカデミックプラザ



図書館と大ホールの間にひろがる、憩いと語らいのオープンスペース。図書館のガラス張りの塔とモニュメント「宙(sora)」が印象的な空間です。

C テニスコート



夜間照明を備えたテニスコートが6面あります。

D キャンパスギャラリー



E プール

アリーナに併設されている屋外プール(25m・7コース)です。

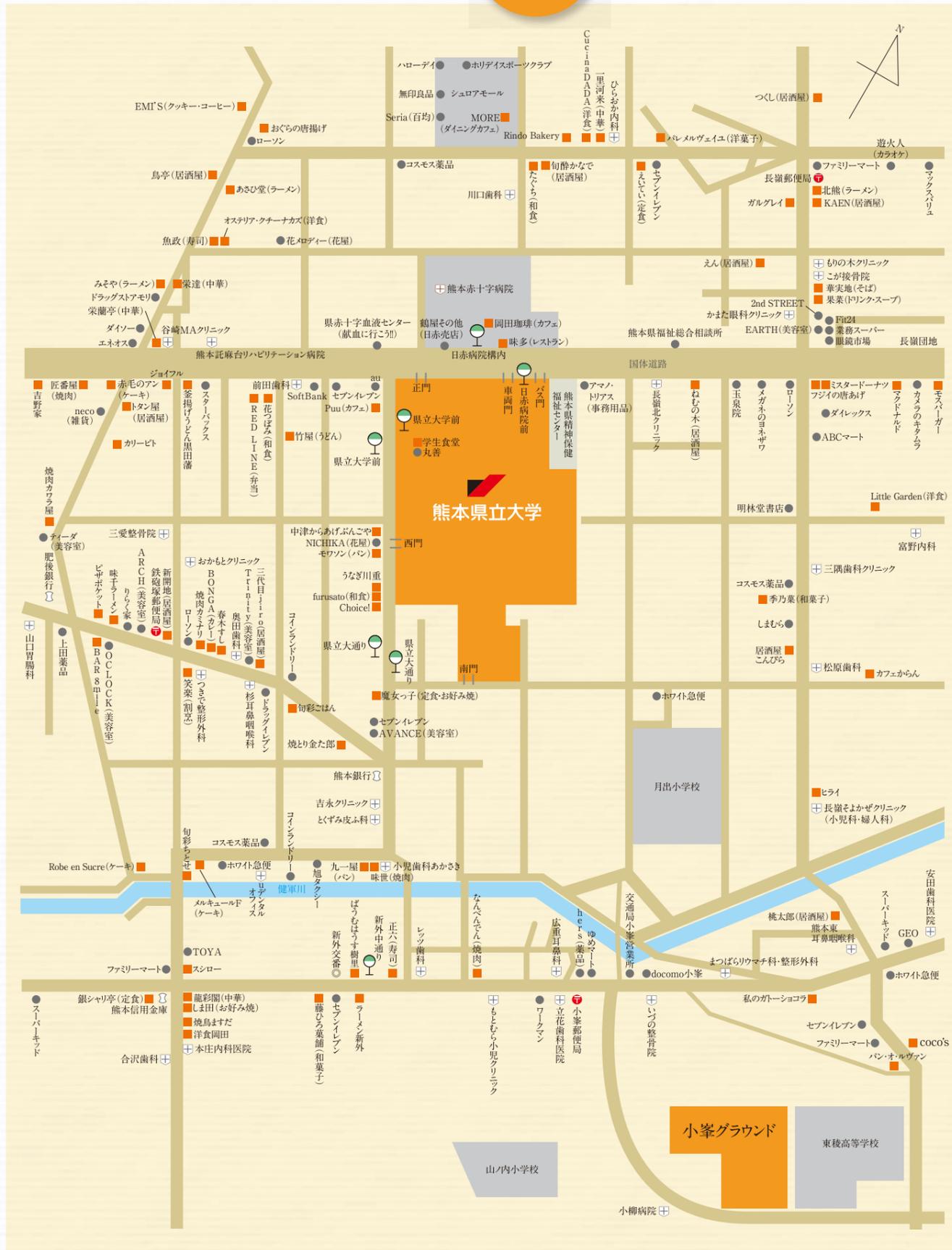
F 月出フィールド

緑の流域治水研究室実験棟と雨水を地中に浸透させる「雨庭」、実験用水路等が併設されています。

キャンパス周辺情報

熊本市
東区月出
エリア

熊本県立大学がある月出界隈は、衣・食・住のバランスのとれたアメニティタウンです！



学費・奨学金・経済支援

大学で学ぶには、何かとお金がかかるもの。熊本県立大学では、独自の奨学金制度「熊本県立大学奨学金」を創設するなど支援制度の充実に取り組んでいます。併せて授業料徴収猶予・減免制度など、経済支援制度も設けています。

◎学費

種別	入学金 (入学手続き時に納入)	授業料 2期に分けて口座引き落とし
県内	207,000円	年額 535,800円 (各期267,900円×2期)
県外	414,000円	

※上記の金額は、2022年度のものです。
※入学金、授業料のほか、後援会費として67,000円(4年間分を入学時に一括納入)が必要です。他に学部により実習費、学会費や保険料(5,000円程度)が必要です。

◎授業料徴収猶予・月額払・減免制度

経済的理由、不慮の事故、疾病、その他やむを得ない特別な事情により、期限までに授業料の納付が困難な場合、徴収猶予(納付期限の延長)又は月額による納付(年額の12分の1を毎月納付)の許可を受けることができます。

また、一定の成績基準や家計基準を満たしている場合、申請により授業料が免除される場合があります。

さらに、学費負担者が年度途中で死亡、又は災害、事故、長期療養などにより生活に困窮し、授業料の納付が困難になった場合の減免制度もあります。

◎入学金納付時期猶予制度

日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金を受給する学生や、修学支援法の予約採用者については、入学金の納付時期が猶予されます。

◎大学院入学金免除制度

本学の学部を卒業し、本学大学院への進学を希望する者のうち、一定の条件を満たす者については入学金が免除されます。

◎熊本県立大学奨学金

本学では有為な人材を育成するため、熊本県立大学未来基金への寄附金等を活用しながら、本学独自の奨学金制度を設け、学生の修学を支援しています。

名称	対象	金額	期間
同窓会紫苑会奨学金	学業成績・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由から修学が困難と認められる者(学部全学年より毎年10人程度)	年額20万円	1年
短期派遣留学生支援奨学金	学生交流に関する協定に基づき、1年以内の期間派遣される者(毎年度3人以内、ただし米国への1ヶ月未満の派遣はこの限りではない)	月額6万円から10万円 ※派遣先大学の所在地による	派遣先で修学する期間
小江梅子奨学金	文学部英語英米文学科又は文学研究科英語英米文学専攻に在籍する者で一定期間以上の海外留学・研修を行うもの	1回5万円から10万円 ※同一学生の奨学金は、文学部在籍時と文学研究科在籍時のそれぞれについて、10万円をその上限額とする。	30日以上

※熊本県立大学奨学金の併給は認められませんが、日本学生支援機構奨学金等との併給は可能です。

◎日本学生支援機構奨学金

(独)日本学生支援機構が実施している奨学金制度です。

名称	種類	対象	金額	期間
貸与奨学金	第一種奨学金 (無利子)	学部*1 (H30年度以降入学者)	自宅通学 月額20,000円、30,000円または45,000円*2 自宅外通学 月額20,000円、30,000円、40,000円または51,000円*2	4年
		大学院	博士前期 月額50,000円または88,000円 博士後期 月額80,000円または122,000円	2年 3年
	第二種奨学金 (有利子)	学部	月額2万円～12万円(1万円刻み)	4年
		大学院	博士前期 月額5万円、8万円、10万円、13万円または15万円 博士後期 月額5万円、8万円、10万円、13万円または15万円	2年 3年
給付奨学金	給付*3	学部	自宅通学 月額29,200円(市町村民税所得割非課税世帯の場合)*4 自宅外通学 月額66,700円(市町村民税所得割非課税世帯の場合)*4	4年

※1. 学部の第一種奨学金は、修学支援法に基づく給付奨学金受給中、貸与額が減額(または増額)される場合があります。

※2. 申込時の家計収入が一定額以上の場合は、最高月額を選択不可。

※3. 給付奨学金受給者は、申請により、給付奨学金の支援区分に応じ授業料等が減免されます(修学支援法に基づく授業料減免)。

※4. 市町村民税所得割課税世帯の場合は、課税額に応じて2/3・1/3の給付奨学金を受けられる場合があります。

◎その他の奨学金

熊本県有英資金、熊本市奨学金など各都道府県・民間団体の奨学金制度がありますので学生支援課へお気軽にご相談ください。

入試情報

熊本県立大学の入試情報は、ホームページに集約されています。
出願期間、合格発表はもちろん、過去5年間の志願者数、競争率などの気になる情報が満載です。
入試について調べたい場合は是非ホームページをご覧ください。

熊本県立大学
入試情報ホームページ

<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/>



入試の日程 (インターネットによる出願手続を実施しています。)

	一般選抜 (個別学力検査)	自己推薦型選抜		特別選抜	
		環境共生学部 環境共生学科 居住環境学専攻	総合管理学部 総合管理学科	学校推薦型選抜 社会人選抜 帰国生徒選抜	私費外国人留学生選抜
出願期間	2025年1月27日(月) 2025年2月5日(水)	2024年9月5日(木) 2024年9月13日(金)		〈学校推薦型選抜〉 2024年11月5日(火) 2024年11月11日(月) 〈社会人選抜・帰国生徒選抜〉 2024年11月1日(金) 2024年11月8日(金)	
選抜期日	前期日程 2025年2月25日(火) 後期日程 2025年3月12日(水)	2024年10月19日(土) 10月20日(日) (注)	第一次選考 2024年10月19日(土) 第二次選考 2024年10月20日(日) (注)	2024年12月1日(日)	2025年2月8日(土)
合格発表	前期日程 2025年3月5日(水) 後期日程 2025年3月20日(木)	2024年11月1日(金)		2024年12月9日(月)	2025年2月17日(月)
入学手続	前期日程 2025年3月7日(金) 後期日程 2025年3月15日(土) 2025年3月21日(金) 2025年3月27日(木)	合格通知書到着日 2024年11月11日(月)		合格通知書到着日 2024年12月18日(水)	2025年3月13日(木) 2025年3月19日(水)
募集期間	11月上旬(予定)	7月上旬(予定)		8月上旬(予定)	8月上旬(予定)

注…不測の事態の発生により上記期日に試験実施が困難になった場合に備え、2024年10月26日(土)、27日(日)を選抜予備日とします。

入学定員及び募集人員

学部	学専攻	入学定員	募集人員						
			一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜			
			前期日程	後期日程		学校推薦型選抜		社会人選抜・ 帰国生徒選抜・ 私費外国人留学生選抜	
文学部	日本語日本文学科	45	30	10	-	5	-	-	若干名
	英語英米文学科	45	28	10	-	7	-	-	若干名
環境共生学部	環境資源学専攻	110	15	12	-	3 (うち2名以上は熊本県内 高等学校卒※1)		若干名 ※2	県内 2名 以内
	居住環境学専攻		20	12	4	-	-		
	食健康環境学専攻		28	8	-	4	-	-	
総合管理学部	総合管理学科	280	A方式30 B方式60	A方式40 B方式50	50	50	-	-	若干名
合計		480	211	142	54	73	若干名	若干名	若干名

※1…熊本県内高等学校卒業見込みの者

※2…高等学校及び中等教育学校の農業、林業、水産又は工業に関する学科を卒業見込みで一定の要件を満たす者

一般選抜結果(2022~2024年度)

学部	学専攻	日方式	2024年度					2023年度	2022年度	2024年度				
			募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	実質競争率(A/B)	実質競争率	実質競争率	満点	合格者 最高点	合格者 最低点	合格者 平均点	
文学部	日本語日本文学科	前期	30	91	89	34	2.6	2.3	3.3	900	643.4	538.6	577.0	
		後期	10	71	29	12	2.4	2.2	3.0	800	551.4	465.0	501.7	
		学科計	40	162	118	46	2.6	2.2	3.2					
	英語英米文学科	前期	28	64	61	34	1.8	1.5	2.3	900	629.8	512.8	562.9	
		後期	10	108	31	17	1.8	1.7	2.8	900	669.2	546.2	594.6	
		学科計	38	172	92	51	1.8	1.6	2.4					
学部計			78	334	210	97	2.2	1.9	2.8					
環境共生学部	環境資源学専攻	前期	15	46	43	17	2.5	2.1	2.7	1300	872.2	715.1	775.3	
		後期	12	117	50	14	3.6	2.7	4.1	1200	856.8	701.7	756.0	
		専攻計	27	163	93	31	3.0	2.4	3.3					
	居住環境学専攻	前期	20	42	37	22	1.7	2.0	3.9	1300	892.5	724.8	791.5	
		後期	12	114	37	14	2.6	2.4	5.1	1300	918.0	808.2	850.0	
		専攻計	32	156	74	36	2.1	2.2	4.4					
食健康環境学専攻	前期	28	60	56	31	1.8	1.5	2.3	1300	894.8	737.8	784.4		
	後期	8	78	26	10	2.6	2.2	2.8	1300	830.8	752.7	784.5		
	専攻計	36	138	82	41	2.0	1.7	2.4						
学部計			95	457	249	108	2.3	2.1	3.3					
総合管理学部	総合管理学科	前期A	30	96	93	33	2.8	2.5	3.9	600	400.1	343.0	369.0	
		前期B	60	179	174	71	2.5	2.0	2.4	600	454.3	376.0	405.0	
		後期A	40	197	99	52	1.9	1.7	2.8	600	435.5	334.5	372.2	
		後期B	50	275	139	61	2.3	1.5	1.7	600	466.2	358.5	392.5	
	学部計			180	747	505	217	2.3	1.9	2.5				
合計			前期	211	578	553	242	2.3	2.0	2.8				
			後期	142	960	441	180	2.3	1.9	2.7				
			計	353	1538	964	422	2.3	1.9	2.8				

※大学入学共通テストと個別学力検査の合計点です。調査書得点は含みません。
※追加合格者については数値に含めていません。

自己推薦型選抜結果(2024年度)

学部	学専攻	募集人員	志願者数	受験者数	第1次選考		第2次選考	
					合格者数	競争率	合格者数	競争率
環境共生学部	環境共生学科居住環境学専攻	4	15	15	4	3.8	-	-
総合管理学部	総合管理学科	50	189	188	87	2.2	50	3.8

特別選抜(学校推薦型選抜)結果(2024年度)

学部	学専攻	志願者数	受験者数	合格者数
文学部	日本語日本文学科	10	10	5
	英語英米文学科	12	12	7
環境共生学部	環境資源学専攻	11	11	6
	居住環境学専攻	8	8	5
	食健康環境学専攻	16	16	4
総合管理学部	総合管理学科	79	79	51
合計		136	136	78

※農業・林業・水産・工業科学校推薦型選抜、“くまもと夢実現”学校推薦型選抜を含む。

よくある質問

Q1. 熊本県内高校出身者の割合はどのくらいですか。

2024年度入学者全体でみると、熊本県内高校出身者が占める割合は81.2%です。

九州・沖縄地区出身高校の入学生数

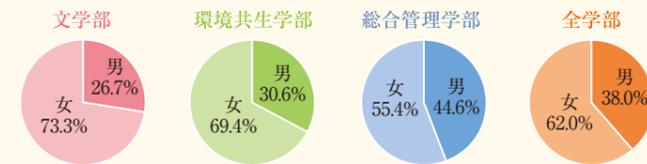
※2024年度入学生

■入学者出身高校の所在地別データ(2024年度)

		九州・沖縄地区										合計	
		九州 圏外	九州 圏内	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		その他
全学部	男	7	192	7	0	3	169	3	2	7	1	1	200
	女	12	315	7	3	8	259	7	12	15	4	0	327
	合計	19	507	14	3	11	428	10	14	22	5	1	527

※その他は、外国の学校卒、高卒認定等

■入学者の男女の割合(2024年度)



Q2. 資料請求をしたいのですが、どのような方法がありますか。

大学案内(本冊子)及び入学者選抜概要は次の3つの方法で入手できます。

① テレメールで請求

パソコン・スマホ・携帯電話を利用して請求できます。
<https://telemail.jp>

スマホ・携帯電話でQRコードをよみとってアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。



①の請求方法についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター
電話 **050-8601-0102**
(受付時間: 9時30分~18時)

② 本学に郵便で請求

角型2号(A4サイズの冊子が入るもの)の返信用封筒に、送料分の切手(大学案内は215円、入学者選抜概要は180円、両方の場合は310円)を貼付の上、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記し、裏表紙記載の住所までお送りください。なお、返信用封筒の表に「大学案内請求」又は「入学者選抜概要請求」(両方の場合は「大学案内及び入学者選抜概要請求」と朱書きしてください)。

③ 本学教務入試課で入手

本部棟ロビーで配布(設置)しております。土日祝日も来学の上、自由にお持ち帰りください。なお、各入学者選抜の募集要項の公表時期は次のとおりです。冊子での配布は行いませんので、本学のホームページからダウンロードしてください。

●自己推薦型選抜 7月上旬(予定) ●学校推薦型選抜 8月上旬(予定) ●一般選抜 11月上旬(予定)

Q3. 過去の入試問題は閲覧できますか。

本学教務入試課までお越しいただければ、閲覧いただくことは可能ですので、教務入試課入試班に電話(096-321-6610)でお問い合わせください。

熊本県立大学をもっと知りたい方へ

本学では、高校生の皆さんや保護者の方々及び先生方に、本学をさらにご理解いただけるような様々な入試広報を展開しております。

申し込み条件・手順等、詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

オープンキャンパス

2024年7月14日(日)・15日(月・祝)(予定)

進学相談会 4月~10月

高校訪問 5月~9月

出張講義 5月~8月

学内見学(団体) 5月~10月 ※個人見学は随時

※各入試広報は、中止・延期・内容変更などの可能性があります。最新の情報は、本学ホームページにてご確認ください。

WEBオープンキャンパス

絶賛
公開中!



いつでもどこからでも参加できるオープンキャンパスとして、「熊本県立大学WEBオープンキャンパス」ホームページを公開中です。高校生の皆さんに向けた大学教員による模擬授業や学生インタビューのほか、熊本県立大学のキャンパスを360°体感できる360°キャンパスツアーやサークル紹介など、熊本県立大学をさらに知っていただけるような様々なコンテンツをご用意しています。

※2024年5月現在の掲載情報です。

大学教員による模擬授業

学生インタビュー



アクセスはこちらから
熊本県立大学WEBオープンキャンパス
URL <https://puk-oc.jp>



アクセスマップ



マイカー・タクシーによるアクセス

- 熊本ICから 約15分(約4.3km)
- JR熊本駅から 約25分(約8.2km)
- 益城熊本空港ICから 約10分(約4km)
- JR水前寺駅から 約15分(約4.2km)
- 阿蘇くまもと空港から 約25分(約13km)

バスによるアクセス

桜町バスターミナルから

15番のりば

- 都市バス「長嶺小学校・免許センター」行(〔G1-4〕、〔G1-5〕表示)
「日赤病院前」バス停下車(約30分)。
そこから徒歩1分

26番のりば

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行(〔H1-1〕、〔H2-1〕、〔H3-1〕表示)
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車(約40分)。
そこから徒歩1分

JR熊本駅方面から

1番のりば

- 都市バス「免許センター」行(〔G1-5〕表示)
「日赤病院前」バス停下車(約40分)。
そこから徒歩1分

6番のりば

- 都市バス「長嶺団地」行(〔H4-1〕表示)
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車(約40分)。
そこから徒歩1分
- 都市バス「長嶺小学校」行(〔G1-6〕表示)
「日赤病院前」バス停下車(約30分)。
そこから徒歩1分

その他

- バスにより桜町バスターミナル下車(約10分)
- 市電により辛島町電停下車(約10分)。
その後桜町バスターミナルまで徒歩約2分

JR新水前寺駅方面「水前寺駅通り」バス停(スーパーマーケット前)から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車(〔H2-1〕、〔H3-1〕表示)
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面南口「水前寺駅前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車(〔H2-1〕表示)
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面北口「熊高正門前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車(〔H1-1〕、〔H4-1〕表示)
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分



〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL 096-383-2929(代) FAX 096-384-6765

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/>
E-mail: kyoumu@pu-kumamoto.ac.jp

熊本県立大学

検索



この印刷物は環境に
配慮して植物油インキを
使用しています。